ELUGA P

P-03E

取扱説明書　’13.6

はじめに

「P-03E」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

操作説明

P-03Eの操作は、以下の方法で説明しています。

■「クイックスタートガイド」（本体付属品）

基本的な機能の操作について説明しています。

■[取扱説明書]（本端末のアプリ）

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ホーム画面▶[ツール]▶[取扱説明書]

- はじめてご利用される際には、本アプリをGoogle Play ストアからインストールする必要があります。

■「取扱説明書」（PDFファイル）

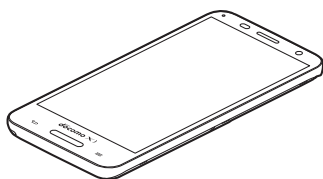
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ドコモのホームページでダウンロード
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の操作説明は、ホームアプリを[docomo シンプル UI]に設定し、[本体設定]を[詳細]タブに切り替えた状態の操作で説明しています。ホームアプリや[詳細]タブを[シンプル]タブに変更した場合は、操作手順などが本書の説明と異なる場合があります。
- 本書に記載している画面およびアイコンは本体色「Black」で記載しています。本体色により画面およびアイコンの色が異なる場合があります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書では、操作手順のボタンを簡略したデザインで表現しています。

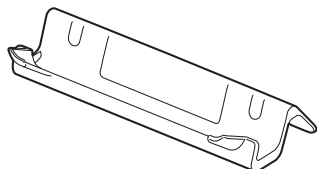
本体付属品

■本体付属品

- P-03E本体（保証書付き）

- リアカバー P60

- 電池パック P30

- クイックスタートガイド

- 卓上ホルダ P53

- ワイヤレスチャージャー P03（保証書付き）

＜ワイヤレスチャージャー＞

＜専用ACアダプタ＞

目次

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM ／ GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、XiサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM ／ GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- 本端末は、Xiエリア、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用になるアプリなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 本端末はｉモードのサイト（番組）への接続、ｉアプリなどには対応しておりません。

- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- 本端末では、マナーモードに設定中でも、着信音、操作音、各種通知音以外の動作音声（カメラのシャッター音など）は消音されません。
- お客様の電話番号（マイプロフィール）の確認については☞P.126
- ご利用の端末のソフトウェアバージョンについては☞P.248
- 本端末は、ソフトウェア更新やAndroid バージョンアップを行うと、機能や操作方法が変わることがあります。
- Android をバージョンアップすると、古いバージョンのAndroid で使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- Google™ が提供するサービスについては、Google Inc. の利用規約をお読みください。またその他のウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- Google アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- 紛失に備え、画面ロックを設定し端末のセキュリティを確保してください（☞P.239）。
- 万が一紛失した場合は、Google トーク™、Gmail™ 、Google Play ™ などのGoogle のサービスなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- microSDカードを挿入しなくても本端末をお使いいただくことはできますが、microSDカードにしか保存できないデータがございます。このため、本端末をご利用になるときは、microSDカードを挿入することをおすすめします。
- テザリングのご利用にはspモードのご契約が必要です。
- テザリングを有効にした状態では、インターネット接続・メールサービス以外のspモードの機能をご利用になれません。
- テザリングを利用してインターネットに接続した場合、ご利用の環境によっては外部機器においてアプリ（ブラウジング・ゲームなど）が正常に動作しない場合があります。

- ご利用の料金プランにより、テザリングご利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- モバキャスは通信と連携したサービスであるため、サービスのご利用にはパケット通信料が発生します。パケット定額サービスの加入をおすすめします。
- ご利用時の料金など詳細については、http://www.nttdocomo.co.jp/をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁 止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

指 示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の7項目に分けて説明しています。

本端末、電池パック、アダプタ、ワイヤレスチャージャー、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードの取り扱いについて <共通>

危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。
防水性能については下記をご参照ください。
☞P.32「防水／防塵性能」

指示

本端末に使用する電池パック、アダプタおよびワイヤレスチャージャーは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

外部接続端子やイヤホンマイク端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

禁止

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

禁止

ワイヤレスチャージャーの表面や本端末のリアカバー、電池パックに金属製のもの（金属を含む材質のシールなど）を貼り付けないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

ワイヤレスチャージャーと、本端末や電池パックの間に、金属製のもの（金属を含む材質のストラップやクリップなど）を置かないでください。また、ワイヤレスチャージャーのそばに金属製のものを置かないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

指示

ワイヤレスチャージャーで充電する場合は、本端末に装着しているカバーなどは取り外してください。
カバーの材質や厚み、本端末とカバーの間に挟まったゴミなどの異物によって、正常に充電ができず、火災、やけど、けがの原因となります。

指 示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。
（NFC／おサイフケータイ ロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）

指 示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **本端末をワイヤレスチャージャーから取り外す。**
- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **本端末の電源を切る。**
- **電池パックを本端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

注意

禁 止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁 止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁 止

水で濡れた本端末を充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指 示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指 示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながら電話やワンセグ視聴、アプリの利用などを長時間行うと本端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

本端末の取り扱いについて

警告

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に悪影響を及ぼす原因となります。

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

本端末内のドコモminiUIMカードやmicroSDカード挿入部に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

本端末は受話口とスピーカーが兼用になっているため、スピーカーを「ON」にして通話する際は必ず本端末を耳から離してください。
近接センサーで音量調節をしていますが、大きな音が直接耳に入る恐れがあり、難聴の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ内部やカメラのレンズの表面には耐衝撃性の樹脂を使用し、ガラスやレンズが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

注意

禁止

アンテナ、ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

禁 止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

指 示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指 示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
各箇所の材質については☞P.20「材質一覧」

指 示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

電池パックの取り扱いについて

■ **電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。**

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

危険

禁 止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁 止

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁 止

火の中に投下しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁 止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指 示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

警告

禁 止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指 示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指 示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

注意

禁 止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

禁 止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指 示

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

アダプタ、ワイヤレスチャージャー、卓上ホルダの取り扱いについて

警告

アダプタやワイヤレスチャージャーのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタ、ワイヤレスチャージャー、卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アダプタやワイヤレスチャージャーには触れないでください。
感電の原因となります。

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

アダプタやワイヤレスチャージャーのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ワイヤレスチャージャーに海外旅行用の変圧器（トラベルコンバーター）を使用しないでください。
発火、発熱、感電の原因となります。

濡れた手でアダプタのコード、ワイヤレスチャージャー、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

水で濡れたものをワイヤレスチャージャーで充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。
指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタやワイヤレスチャージャーのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、ワイヤレスチャージャーのご使用にあたって医師とよく相談してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ドコモminiUIMカードの取り扱いについて

注意

指示

ドコモminiUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。

けがの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

警告

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づく恐れがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

材質一覧

■ P-03E本体・リアカバー P60・電池パック P30

使用箇所		材質	表面処理
イヤホンマイク端子（樹脂部分）		PA	ー
外装ケース	背面	PC	スズ蒸着、UV塗装
	リアカバー	PC、シリコンゴム	UV塗装
外部接続端子		ステンレス鋼	ニッケルメッキ、スズメッキ
外部接続端子カバー		PC、ポリエステル系エラストマー、シリコンゴム	インジウム蒸着、UV塗装
カメラレンズ部	リング部	アクリルウレタン	ー
	レンズ部	PMMA	ハードコート
受話口／スピーカー部		ステンレス鋼	焼付け塗装
赤外線ポート部、フラッシュ部		PMMA	ー
ディスプレイパネル		ガラス	AFコート
電源ボタン、音量ボタン		ABS	UV塗装
電源ボタン、音量ボタン周囲		PC	UV塗装
電池収納部	金属部分	アルミ	ニッケルメッキ
	樹脂部分	PA、ABS	ー
電池端子	金属部分	チタン銅合金	金メッキ
	樹脂部分	LCP	ー
電池パック	樹脂部分	PC	ー
	水没判定シール	紙	PET
	端子部	ガラスエポキシ	ニッケルメッキ、金メッキ
	ラベル	PET	UV塗装
ドコモminiUIMカード挿入部	基板部分	ポリイミド	ポリイミド
	金属部分（端子）	コルソン合金	ニッケルメッキ、金メッキ
	金属部分（プレート）	ステンレス鋼	ニッケルメッキ
	樹脂部分	LCP	ー

使用箇所		材質	表面処理
ネジ		鉄	3価クロメート
ホームボタン		セラミックス（ジルコニア）	ー
ラベル（電池収納面）		ポリエステル	ー
ワンセグ／モバキャスアンテナ	先端部（樹脂部分）	PC＋ABS	インジウム蒸着、UV塗装
	先端部（金属部分）	黄銅	クロムメッキ
	パイプ部	ステンレス鋼	ー
	根元部	ニッケルチタン合金	ー
	ヒンジ部（ヒンジ部分、ピン部分）	ステンレス鋼	ニッケルメッキ
	ヒンジ部（ストッパー部分）	ステンレス鋼	クロムメッキ
	ホルダ部	亜鉛	ニッケルメッキ
	アンテナ収納部	PA	ー
microSDカード挿入部	基板部分	ポリイミド	ポリイミド
	金属部分（コンタクトピン）	りん青銅	ニッケルメッキ
	金属部分（プレート）	ステンレス鋼	ニッケルメッキ
	樹脂部分	LCP	ー

■ワイヤレスチャージャー P03

使用箇所		材質	表面処理
コード		スチレン系エラストマー	ー
専用ACアダプタ本体		PC	ー
チャージインフォメーション		PMMA	ー
電源プラグ	金属部分	黄銅	ニッケルメッキ
	樹脂部分	PA	ー
ネジ		鉄	亜鉛メッキ、3価クロメート
プラグ	金属部分	黄銅	ニッケルメッキ
	樹脂部分	PBT	ー
プラグ端子（樹脂部分）		PA	ー

使用箇所	材質	表面処理
ラベル（コード部分のタグ）	PET	PP
ラベル（専用ACアダプタ本体、ワイヤレスチャージャー本体）	PET	PET
ワイヤレスチャージャー本体	PC	ー

■ 卓上ホルダ P53

使用箇所	材質	表面処理
クッション	ウレタン	ー
本体	ABS	ー
ラベル	PP合成紙	PET

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■ **P-03Eは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水や粉塵を浸入させたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。**

電池パック、アダプタ、ワイヤレスチャージャー、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■ **お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。**

- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■ **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■ **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ **本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**

多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子やイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■ **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**

傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

■ **オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

本端末についてのお願い

■ **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**

タッチパネルが破損する原因となります。

■ **極端な高温、低温は避けてください。**

温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

■ **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**

■ **お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**

万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ **本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**

故障、破損の原因となります。

■ **外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**

故障、破損の原因となります。

■ **使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**

素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■ **通常は外部接続端子カバーを閉じた状態でご使用ください。**

ほこり、水などが入り故障の原因となります。

■ **リアカバーを外したまま使用しないでください。**

電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。

■ **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**

データの消失、故障の原因となります。

■ **磁気カードなどを本端末に近づけないでください。**

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■ **本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**

強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

■ **シールなどで本端末を装飾しないでください。**

ワイヤレスチャージャーで充電できないことがあります。

電池パックについてのお願い

■ **電池パックは消耗品です。**

使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

■ **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**

■ **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**

■ **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**

■ **電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。**

- フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。

保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

アダプタ、ワイヤレスチャージャーについてのお願い

■ 充電は、適正な周囲温度（5℃〜35℃）の場所で行ってください。

■ 次のような場所では、充電しないでください。

- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■ 充電中、アダプタやワイヤレスチャージャーが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■ DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。

自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■ 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

■ 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。

故障の原因となります。

■ 毛布などを被せた状態でワイヤレスチャージャーを使用しないでください。

■ 指定の機器や専用ACアダプタ以外は、ワイヤレスチャージャーに使用しないでください。

■ 本端末にアダプタやmicroUSB接続ケーブル 01（別売）を接続している状態でワイヤレスチャージャーに置かないでください。

■ 磁気カードなどをワイヤレスチャージャーに近づけないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■ ワイヤレスチャージャーに磁気を帯びたものを近づけないでください。

強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

ドコモminiUIMカードについてのお願い

- **ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**
- **他のICカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**
- **IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**
- **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- **お客様ご自身で、ドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**

  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**
- **ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**

  データの消失、故障の原因となります。
- **ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**

  故障の原因となります。
- **ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**

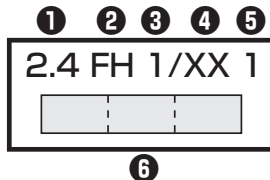
  故障の原因となります。
- **ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。**

  故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

■ **本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。**

■ **Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**

■ **周波数帯について**
本端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

❶ 2.4 ： 2400MHz帯を使用する無線設備を表します。

❷ FH ： 変調方式がFH-SS方式であることを示します。

❸ 1 ： 想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。

❹ XX ： 変調方式がその他の方式であることを示します。

❺ 1 ： 想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。

❻ ▭ ： 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
ご利用の国によってはBluetoothの使用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■ **Bluetooth機器使用上の注意事項**

本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

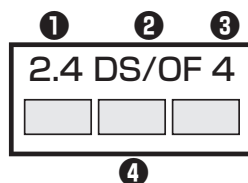
1. **本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。**
2. **万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。**
3. **その他、ご不明な点につきましては、「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください（☞P.339）。**

無線LAN（WLAN）についてのお願い

■ **無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。**

■ **無線LANについて**
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

■ **周波数帯について**
WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

❶ 2.4　：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。

❷ DS/OF　：変調方式がDS-SS方式、OFDM方式であることを示します。

❸ 4　：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

❹ ▭▭▭　：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャネルは国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
ご利用の国によっては無線LANの使用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■ 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください（☞P.339）。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください（☞P.339）。

■ 5GHz機器使用上の注意事項

5GHzの周波数帯においては、5.2GHz／5.3GHz／5.6GHz帯（W52／W53／W56）の3種類の帯域を使用することができます。

- W52（5.2GHz帯／36、38、40、44、46、48ch）
- W53（5.3GHz帯／52、54、56、60、62、64ch）
- W56（5.6GHz帯／100、102、104、108、110、112、116、118、120、124、126、128、132、134、136、140ch）

本端末に内蔵の無線LANを5.2/5.3GHzでご使用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。

FeliCa リーダー／ライターについてのお願い

■ 本端末の FeliCa リーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。

■ 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

注意

■ **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。**

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定を受けており、その証として「技適マーク」が本端末の銘板シールに表示されております。
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■ **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

■ **FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。**

本端末の FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。

■ **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**

ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵性能

P-03Eは、外部接続端子カバーをしっかりと閉じ、リアカバーを取り付けて隙間や浮きがない状態でIPX5※1、IPX7※2の防水性能、IP5X※3の防塵性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mの水槽にP-03Eを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

※3 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

（注）実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。浸水や異物混入を防ぎ、安全にお使いいただくために、本書をよくお読みになってからご使用ください。

P-03Eが有する防水／防塵性能

■ 雨の中

- 雨の中で傘をささずに濡れた手で通話できます。（1時間の雨量が20mm未満、地面からの跳ね返りで足元が濡れる程度）

※ 手が濡れているときや端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子カバーの開閉は行わないでください。

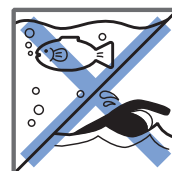
■ 洗う

石けん･洗剤

- 端末が汚れた場合は、洗面器などに張った真水・常温の水道水につけて静かに振り洗いをしたり、蛇口から弱めに流れる水道水に当てながら手で洗うことができます。
- リアカバーをしっかりと取り付けた状態で、外部接続端子カバーを押さえたまま洗ってください。
- 洗うときは、ブラシやスポンジ、石けん、洗剤などを使用しないでください。
- 洗い流したあとは表面を乾いた布でよく拭いて、水抜き（☞P.39）を行ったのち、自然乾燥させてください。

■ レジャー

海水･プール

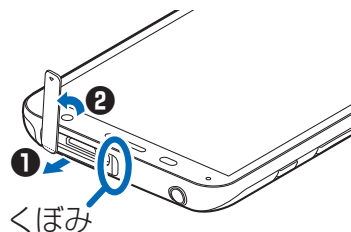
- プールの水や海水に浸けたり、落下させたりしないでください。また、水中で使用しないでください。
- プールの水や海水がかかった場合は所定の方法（☞P.33）で洗ってください。

■ キッチン

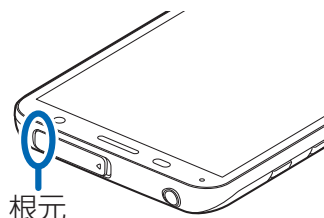
- 常温の真水や水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- お湯や冷水をかけたり、浸けたりしないでください。

ご使用にあたっての重要事項

- ご使用前に、外部接続端子カバーをしっかりと閉じ、リアカバーを確実に取り付けている状態にしてください。微細なゴミ（微細な繊維、髪の毛、砂など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。外部接続端子カバーを閉じるときやリアカバーを取り付けるときは、カバー周辺（特にパッキン）にゴミや汚れが付着していないことを確認してください。
- 外部接続端子カバーが浮いていないようにしっかりと閉じていることを確認してください。また、リアカバーは防水性能を維持するため、特に電池パック収納部周辺が浮いていないようにしっかりと閉じていることを確認してください。確実に閉じていないと浸水の恐れがあります。
- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

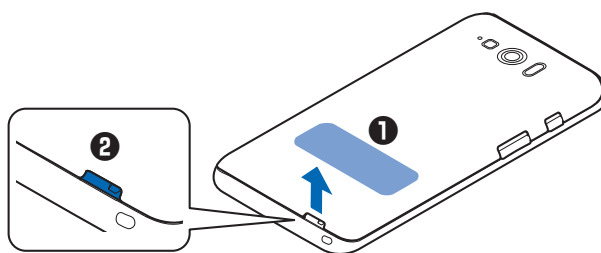
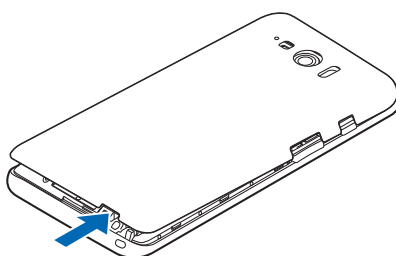
外部接続端子カバーを開ける

1 くぼみに指先をかけて❶の方向に引っ張り出したあと、❷の方向へ回転させる

外部接続端子カバーを閉じる

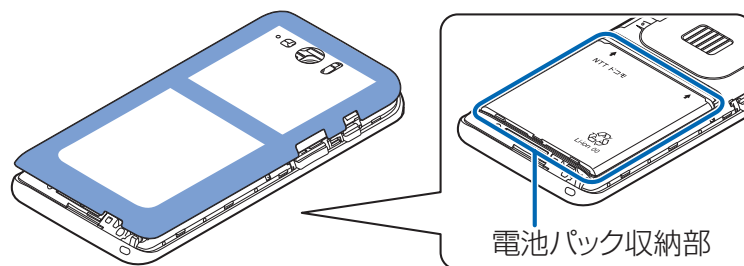
1 **端末と平行に揃えて外部接続端子カバーの根元部分をしっかり押さえながら、外部接続端子カバー全体を押し込む**

2 **外部接続端子カバー全体に浮きがないことを確認する**

リアカバーを取り外す

1 **❶部分に指を添えて、❷部分に指先をかけてリアカバーを矢印の方向に持ち上げる**

- リアカバーは防水性能を維持するため、しっかりと閉じる構造になっております。無理に開けようとすると爪や指などを傷つける場合がありますので、ご注意ください。

2 **すき間に指先を入れ、無理な力を加えないように取り外す**

リアカバーを取り付ける

1 **リアカバーの向きを確認して端末に合わせるように装着したあと、リアカバーの外周部分と中央部分をしっかりと押して取り付ける**

- 端末とリアカバーの間に浮きがないことを確認してください。
- リアカバーは防水性能を維持するため、特に電池パック収納部周辺がしっかりと閉じる構造になっております。電池パック収納部に浸水がなければ問題ありません。

注意事項

■端末について

- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 濡れている状態で絶対に充電しないでください。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。
  ・外部接続端子やイヤホンマイク端子がショートする恐れがあります。
  ・ボタンなどの隙間から水分が入り込む場合があります。また、寒冷地では、端末に水滴が付着していると、凍結し故障の原因となります。

  水で濡れた場合は、リアカバーを取り付けた状態で外部接続端子カバーを閉じたまま水抜き（☞P.39）を行い、端末から出た水分を乾いたきれいな布で直ちに拭き取ってください。
- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。破損により防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- お湯に浸けたり、サウナで使用したり、ドライヤーなどの温風を当てたりしないでください。
- 本端末は水に浮きません。
- 規定以上の強い水流に当てたり、水中に沈めたりしないでください。
- 砂浜などの上に直接置かないでください。
  ・送話口、受話口／スピーカー、アウトマイクの穴などに水滴や砂などが入り、音が小さくなったり音が割れたりする恐れがあります。
  ・ボタンなどの隙間に砂などがわずかでも挟まると、操作性を損なう恐れがあります。
  ・外部接続端子カバー、リアカバーに砂などがわずかでも挟まると浸水の原因となります。

  砂などが付着した場合はボタン操作をせず、所定の方法（☞P.33）で洗ってください。

■外部接続端子カバー・リアカバーについて

- 手袋などをしたまま開閉しないでください。パッキンの接着面に微細なゴミが付着する場合があります。
- 乾いたきれいな布で水分を拭き取る際は、パッキンに繊維が付着しないようにご注意ください。
- パッキンをはがさないでください。また、外部接続端子カバーの隙間に先の尖ったものを差し込まないでください。パッキンが傷つき、浸水の原因となります。
- 外部接続端子カバーのパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取り替えください。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水などの液体が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 外部接続端子カバーまたはリアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。

■送話口、受話口／スピーカー、アウトマイク、イヤホンマイク端子について

- 送話口、受話口／スピーカー、アウトマイク、イヤホンマイク端子の穴を尖ったものでつつかないでください。
- 水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。

■その他

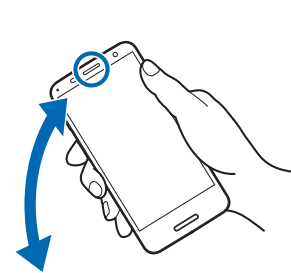
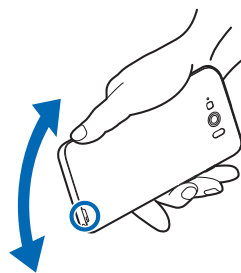
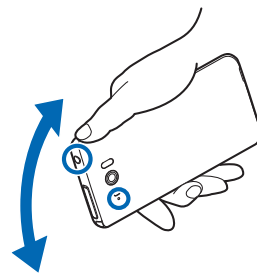
- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。付属のワイヤレスチャージャーや卓上ホルダに本端末を置いた状態でワンセグ視聴などをする場合、専用ACアダプタを接続しない状態でも、風呂場、シャワー室、キッチン、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

水に濡れたときの水抜きについて

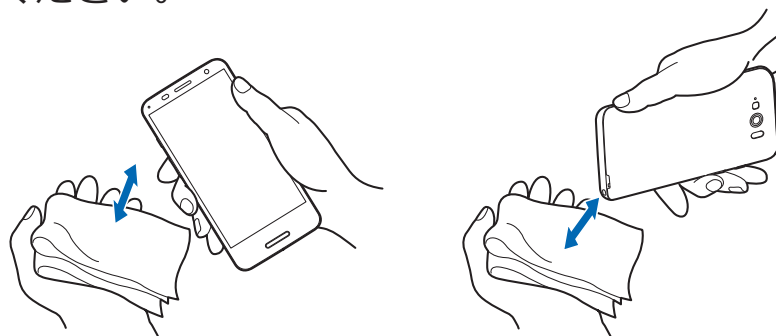
- 端末に水滴が付着したままご使用になると、スピーカーなどの音量が小さくなったり、音質が変化する場合があります。
- ボタンなどの隙間から水分が入り込んでいる場合があります。

下記の手順で端末の水分を取り除いてください。

1 **端末表面の水分を乾いたきれいな布でよく拭き取る**

2 **端末を確実に持って、各面を少なくとも20回程度、水滴が飛ばなくなるまでしっかり振る**

<受話口／スピーカーの水抜き>

<送話口の水抜き>

<イヤホンマイク端子、アウトマイクの水抜き>

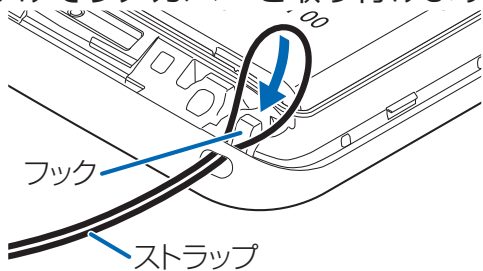
3 乾いたきれいな布に端末を軽く押し当て、送話口、受話口／スピーカー、ボタン、イヤホンマイク端子、アウトマイクなどの隙間に入った水分を拭き取る

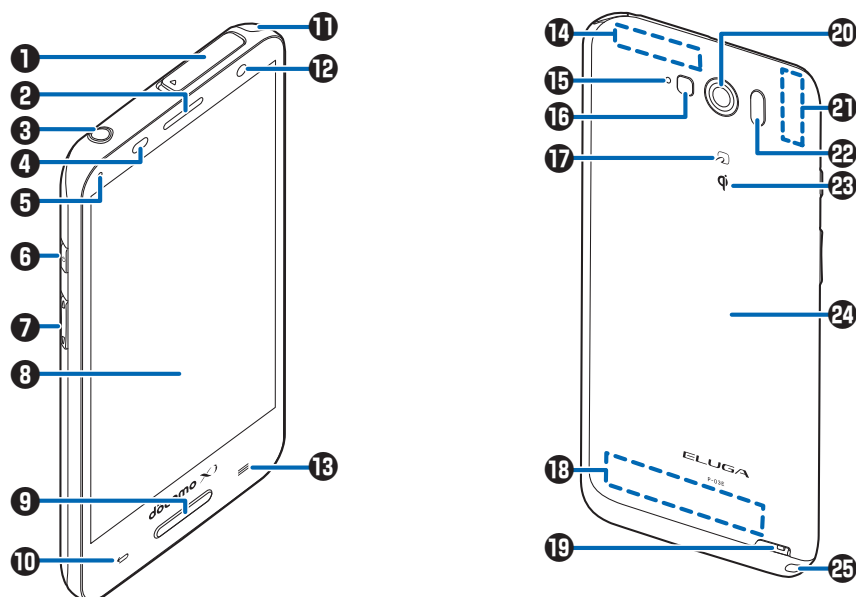
- 隙間に溜まった水分を綿棒などで直接拭き取らないでください。

4 十分に水分を取り除いてからご使用ください

- 上記の手順を行っても、端末に水分が残っている場合がありますので、しばらく自然乾燥させてからご使用ください。また、水が染み出ることがありますので濡れては困るものをそばに置かないようにご注意ください。

充電のときには

付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点を確認してください。

- 端末が濡れた状態では絶対に充電しないでください。端末が濡れたときはよく水抜きをして乾いたきれいな布で拭き取ってから充電してください。
- 外部接続端子カバーを開けて充電した場合には、充電後はしっかりと外部接続端子カバーを閉じてください。外部接続端子からの水や粉塵の浸入を防ぐため、付属のワイヤレスチャージャーを使用して充電することをおすすめします。
- 濡れた手でACアダプタ、ワイヤレスチャージャー、卓上ホルダに触れないでください。
- ACアダプタ、ワイヤレスチャージャー、卓上ホルダは、風呂場、シャワー室、キッチン、洗面所などの水周りで使用しないでください。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能

	名称	説明
❶	外部接続端子	充電時や外部機器接続時に使用します。
❷	受話口／スピーカー	通話時に相手の声がここから聞こえます。また、着信音や音楽の再生音なども聞こえます。
❸	イヤホンマイク端子	―
❹	光センサー	周囲の明るさを検知して、画面の明るさを自動調節します。センサーが誤動作するためセンサー部分を手で覆ったり、保護シートやシールなどを貼ったりしないでください。
	近接センサー	通話中にタッチパネルの誤動作を防ぐためのセンサーです。センサーが誤動作するためセンサー部分を手で覆ったり、保護シートやシールなどを貼ったりしないでください。
❺	着信／充電ランプ	電話やメールの着信時などに点滅します。充電中に点灯します。

	名称	説明
❻	電源ボタン	2秒以上押して電源をONにします（☞P.54）。 電源がONのときはスリープモードを設定／解除します（☞P.54）。 1秒以上押すと、マナーモードや機内モードの設定／解除、画面キャプチャ、端末の再起動、電源OFFの操作をします。
❼	／音量ボタン	相手の声やスピーカーの音量を調節します（☞P.113、P.221）。 を1秒以上押すとマナーモード（バイブレーション）を設定／解除します（☞P.112）。
❽	ディスプレイ（タッチパネル）	項目をタップして選択したり、指でなぞって画面をスクロールします（☞P.56）。
❾	[ホーム]ホームボタン	ホーム画面に戻ります（☞P.97）。 1秒以上押すとしゃべってコンシェルまたはGoogle を起動します。 すばやく2回続けて押すと、タスクマネージャーPLUSを開きます（☞P.94）。
❿	バックボタン	直前の画面に戻ります。
⓫	ワンセグ／モバキャスアンテナ	ワンセグやモバキャスを視聴するときに伸ばします（☞P.158）。
⓬	インカメラ	静止画や動画を撮影します（☞P.172）。
⓭	メニューボタン	現在の画面で使用できるオプションメニューを表示します。
⓮	Xiアンテナ	アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。
⓯	アウトマイク	通話相手が聞き取りやすいようにノイズを抑制します。
⓰	フラッシュ	カメラ撮影時に点灯します。
⓱	マーク	このマークを読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器にかざして、おサイフケータイの機能を利用したり、対応するアプリをダウンロードするとiC通信でデータを送受信したりできます。なお、ICカードは取り外しできません。

	名称	説明
⓲	FOMA／Xiアンテナ	アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。
⓳	送話口	自分の声をここから送ります。録音するときはマイクになります。
⓴	アウトカメラ	静止画や動画を撮影します（☞P.172）。
㉑	Wi-Fi／Bluetooth／GPSアンテナ	アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。
㉒	赤外線ポート	赤外線通信に使用します（☞P.252）。
㉓	Qiマーク	ワイヤレスチャージャーを使用して充電するときに、このマークを下にしてワイヤレスチャージャーに置きます。
㉔	リアカバー	―
㉕	ストラップ取り付け穴	ストラップを取り付ける場合は、リアカバーを取り外してストラップ取り付け穴にストラップを通し、中のフックにストラップをかけてリアカバーを取り付けます。

ドコモminiUIMカード

ドコモminiUIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。ドコモminiUIMカードが取り付けられていないと、本端末で電話の発着信やメール の送受信、データ通信、モバキャスなどの通信が利用できません。

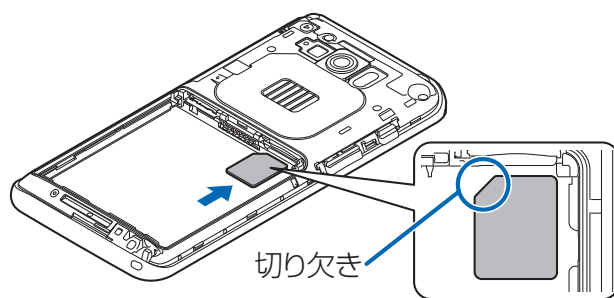
- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモminiUIMカードについて詳しくは、ドコモminiUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外し

- ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しは、端末の電源を切り、リアカバーと電池パックを取り外してから行ってください（☞P.35、P.46）。
- ドコモminiUIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、ドコモminiUIMカードを無理に取り付けたり取り外そうとすると、ドコモminiUIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。

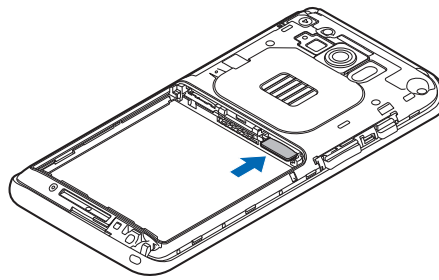
ドコモminiUIMカードを取り付ける

1 金色のIC面を下にして、イラストの向きでドコモminiUIMカード挿入部にロックするまで差し込む

- 「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

ドコモminiUIMカードを取り外す

- ドコモminiUIMカードを取り外すとき、ドコモminiUIMカードが端末から飛び出す場合がありますのでご注意ください。

1 ドコモminiUIMカードを軽く押し込む

ドコモminiUIMカードが少し出ます。

2 ドコモminiUIMカードをまっすぐ引き出す

ドコモminiUIMカードの暗証番号について

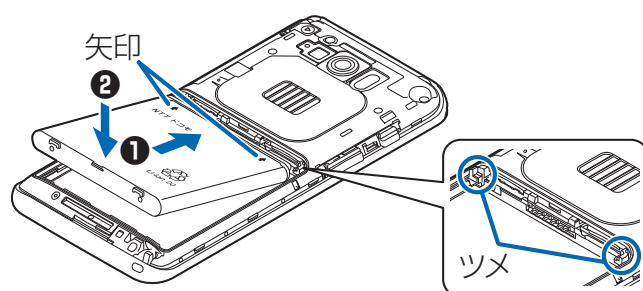
ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます（☞P.237）。

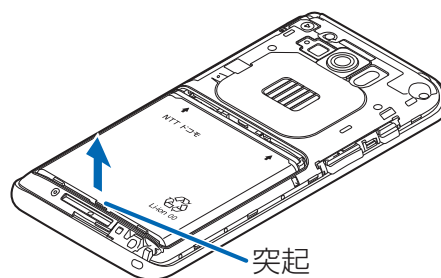
電池パック

電池パックの取り付け／取り外し

- 電池パックの取り付け／取り外しは、端末の電源を切り、リアカバーを取り外してから行ってください（☞P.35）。

電池パックを取り付ける

1 矢印面を上にして、電池パックと端末のツメを確実に合わせ、❶の方向に押し付けながら、❷の方向に押し込む

電池パックを取り外す

1 電池パックの突起を利用して、矢印の方向に持ち上げる

充電

■充電時のご注意

- ACアダプタ 04（別売）のプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。海外で利用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。また、ワイヤレスチャージャーは海外で使用しないでください。
- 端末を使用しながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、充電が完了しなかったりすることがあります。また、データ通信や通話など消費電流の大きい機能を連続して使用すると、充電中でも電池が減り続け、電池切れに至る場合があります。
- 電池切れの状態で充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。また、電池切れの状態ではパソコンから充電できません。ワイヤレスチャージャーまたはACアダプタで充電してください。
- 充電したまま端末を長時間おくと、充電を繰り返すことがあります。また、充電が終わったあと端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れの警告が表示されてしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を開始してください。再充電の際は、端末を一度ACアダプタ、DCアダプタ、ワイヤレスチャージャーから外して再度セットし直してください。
- 充電中にモバキャスを視聴したり、コンテンツの受信などを行う場合は、端末をACアダプタ（DCアダプタ）の電源プラグ部からなるべく離してご使用ください。
- 充電中にモバキャスなどを視聴する場合は、ワンセグ／モバキャスアンテナの向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。
- 充電中にモバキャスなどを視聴すると充電が停止する場合があります。その場合は、モバキャスなどの視聴を停止してから再度充電を行ってください。
- 充電時間については☞P.308

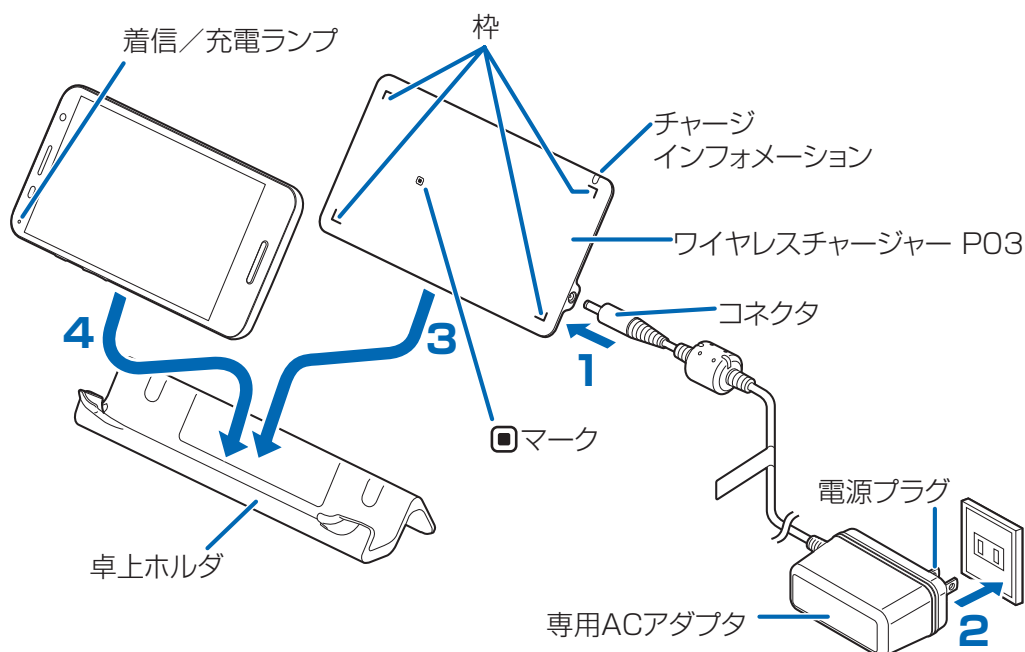
■電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが、問題ありません。
- 充電しながら電話やワンセグの視聴などを長時間行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。

Li-ion 00

ワイヤレスチャージャー P03と卓上ホルダ P53を使って充電する

本端末をワイヤレスチャージャー P03で充電できます。

- 電池パックのみを置いて充電することはできません。
- 市販の マークがある製品で端末を充電すると、充電中に着信しない場合があります。
- マークがある製品は、ワイヤレスパワーコンソーシアム（WPC）による無接点充電規格に適合しています。

1 専用ACアダプタのコネクタをワイヤレスチャージャーに差し込む

- ワイヤレスチャージャー P03に付属の専用ACアダプタ以外は使用しないでください。

2 専用ACアダプタの電源プラグを家庭用などのAC100Vのコンセントに差し込む

3 ワイヤレスチャージャーの向きを確認し、ワイヤレスチャージャーを卓上ホルダの奥側に置く

4 端末の向きを確認し、端末を卓上ホルダの手前側に置く

チャージインフォメーションが点滅し、端末を認識後に点灯します。

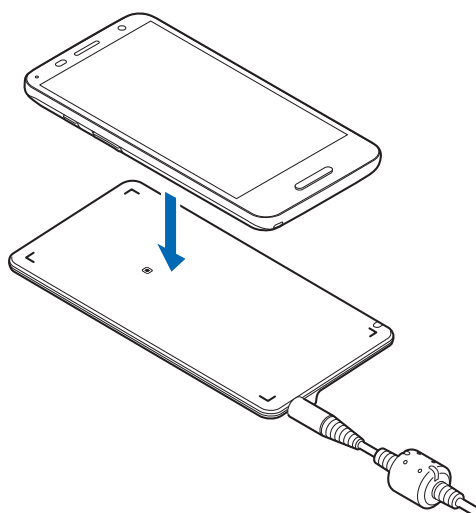
- 端末のディスプレイ側を前にして、端末のマークとワイヤレスチャージャーのマークが重なるように置いてください。

5 充電が完了したら、端末を取り外す

6 専用ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜き、専用ACアダプタのコネクタをワイヤレスチャージャーから抜く

■ワイヤレスチャージャー P03だけで充電するには

ワイヤレスチャージャーを安定した水平な場所に置いて、端末の向きを確認し、端末をワイヤレスチャージャーの四隅の枠に合わせて置いてください。

- 端末のディスプレイ側を上にして、端末のマークとワイヤレスチャージャーのマークが重なるように置いてください。
- 端末がワイヤレスチャージャーの四隅の枠からはみ出さないように置いてください。

お知らせ

- 長時間充電しない場合は、専用ACアダプタをコンセントから抜いてください。
- 端末を充電するときは、バイブレーションを動作させないでください。振動により端末が動き、充電が完了できなかったり、落下したりする恐れがあります。
- 一度に複数の端末を充電することはできません。
- テレビやラジオなどに雑音が入る場合があるので、なるべく離れた場所でワイヤレスチャージャーをご使用ください。
- ワイヤレスチャージャーで端末を充電する際は、他の無接点充電対応機器などを含む電子機器から30cm以上離してください。正しく検出できず、充電できない場合があります。
- ワイヤレスチャージャーで端末を充電中、通話品質やワンセグなどの受信状態が悪くなったり、カメラの撮影画面や撮影した画像にノイズが生じたりすることがあります。

■ 充電中・充電完了時の表示について

	チャージインフォメーション	着信／充電ランプ	電池アイコン
充電中	青色で点灯	赤色で点灯	～
充電完了	消灯	消灯	

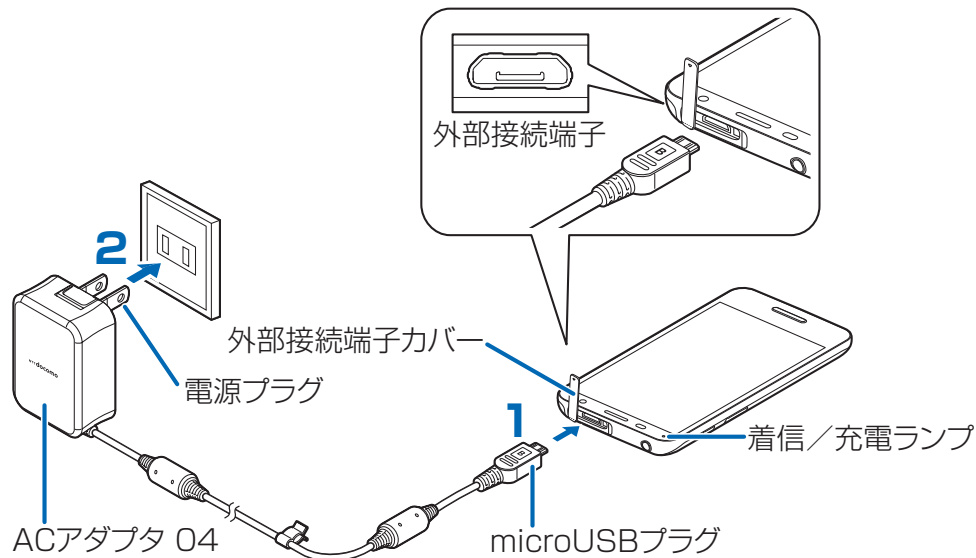
- チャージインフォメーションが早く点滅（約0.2秒間隔）する場合は、充電異常または故障の可能性があります。ワイヤレスチャージャーと端末の間に異物がないか確認して、チャージインフォメーションが消灯した後に端末を置き直したり電源プラグをコンセントに差し込み直したりしてください。
- 端末の温度が高すぎる、または低すぎる場合は、チャージインフォメーションがゆっくり点滅（約1秒間隔）し、充電完了前でも自動的に充電を停止します。充電可能な温度になると、自動的に充電を再開します。
- 端末の電源を切っているときやスリープモード時は、電池アイコンは表示されません。
  電池が切れた状態で充電を開始すると、着信／充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電自体は開始されています。もし、充電開始後に着信／充電ランプが長時間点灯しない場合は、端末から電池パックを一度外し、再度取り付けてから充電をやり直してください。再び同じ動作をする場合はワイヤレスチャージャーや電池パックの異常や故障が考えられますので、ドコモショップなど窓口までご相談ください。

■ 電池が切れそうになると（充電お知らせ）

電池残量が15%を切ると、電池が残り少なくなっている旨のメッセージが表示され、充電をお知らせします。電池残量がなくなると、電源を切る旨のメッセージが表示され、電源が切れます。

ACアダプタ 04を使って充電する

ACアダプタ 04（別売）は、家庭用などのコンセント（100V～240V）から充電するための電源を供給するアダプタです。

- 詳しくはACアダプタ 04の取扱説明書をご覧ください。

1 ACアダプタのmicroUSBプラグを、Bの刻印面を上にして外部接続端子に水平に差し込む

- microUSBプラグの向き（表裏）をよく確かめ、水平に差し込んでください。
- 外部接続端子カバーの開けかたについては☞P.34

2 ACアダプタの電源プラグを起こし、家庭用などのAC100Vのコンセントへ差し込む

3 充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

4 ACアダプタのmicroUSBプラグを端末から水平に抜く

DCアダプタ 03を使って充電する

DCアダプタ 03（別売）は、自動車のシガーライターソケット（12V／24V）から充電するための電源を供給するアダプタです。

- 詳しくはDCアダプタ 03の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- DCアダプタで充電中、ヒューズが切れたときは、必ず指定のヒューズをご使用ください。ヒューズは消耗品ですので、交換に際しては、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

パソコンを使って充電する

本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル 01（別売）で接続すると、本端末をパソコンから充電することができます。

- パソコンとの接続方法については☞P.260

電源

電源を入れる

1 **を2秒以上押す**

しばらくすると、ロック画面が表示されます。

電源を切る

1 **を1秒以上押す**

- を10秒以上押すと、強制的に電源が切れます。

2 **[電源を切る]▶[OK]**

- 電源を切る際に時間がかかる場合がありますが、そのまましばらくお待ちください。

再起動する

1 **を1秒以上押す**

2 **[端末を再起動する]▶[OK]**

ディスプレイの表示が消えたら

本端末を一定時間操作しなかったときは、自動的にディスプレイの表示が消えてスリープモードになります。

1 **または[ホーム]を押す**

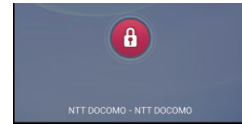
スリープモードが解除され、ロック画面が表示されます。

- 手動でスリープモードにする場合は、ディスプレイ表示中にを押します。

ロック画面を解除する

ロック画面

1 をタップ

- [画面ロック]を設定している場合は、設定した解除方法を行います。
- [画面ロック]を[タッチ]に設定している場合は、通知パネルを開くことができます。

基本操作

タッチパネルの操作

本端末のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- お買い上げ時にタッチパネルに貼られているシートをはがしてからお使いください。
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  ・手袋をしたままでの操作
  ・爪の先での操作
  ・異物を操作面に乗せたままでの操作
  ・保護シートやシールなどを貼っての操作
  ・タッチパネルが濡れたままでの操作
  ・指が汗や水などで濡れた状態での操作

■タップする

画面の項目やアイコンをトンとたたいて選択します。

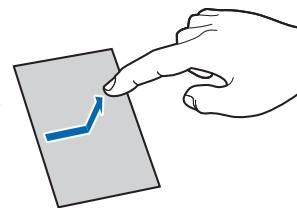
■ダブルタップする

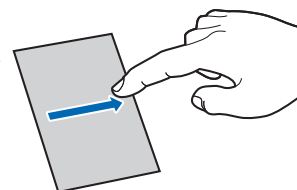
ウェブページを拡大したいときなどにすばやく2回続けてタップします。

■ロングタッチする

画面の項目やアイコンを指で押さえたままにします。ポップアップメニューなどを表示する場合に使います。

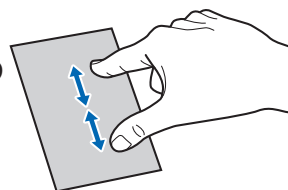
■フリックする

複数のページやデータがあるときに画面をすばやくはらうように触れると、前後の画面に切り替わります。

■ドラッグする

画面の項目やアイコンを指で押さえながら移動します。

■スクロールする

画面を上下左右方向にフリック／ドラッグして、隠れている部分を表示します。

■ピンチする（広げる・狭める）

ウェブページや静止画などの表示中に、画面を2本の指で広げる（ピンチアウト）と拡大し、つまむ（ピンチイン）と縮小します。

お知らせ

- 確認メッセージなどがポップアップ表示されているときにメッセージ表示枠の外（ステータスバーを除く）をタップすると、操作を中止します。

タッチアシスト

画面に触れる前に、操作に必要なメニューやガイドを表示したりします。

- あらかじめホーム画面▶[本体設定]▶[おすすめ設定]▶[タッチアシスト]▶[アプリ設定]でタッチアシストを使用するアプリを有効にしてください。
  タッチアシストの設定については☞P.228
- アプリやホームアプリによっては動作しない場合があります。

■画面に指を近づけてしばらく静止する

- ウェブページ表示中はズームバーが表示されます。また、画面に触れたままフリックしてスクロールを開始したあと、そのまま指を近づけてしばらく静止すると、自動でスクロールします。

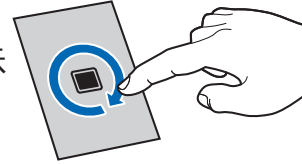
■画面に指を近づける

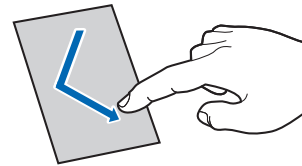
- 文字入力時は、入力対象の文字や変換候補を見やすい位置に拡大表示します。
- ピクチャアルバムでは、フォルダに指を近づけるとフォルダ内の画像をプレビュー表示します。

タッチレス

画面に触れなくても、ロック画面の解除、ウェブページの操作、電話着信の応答が行えます。

■画面に触れずにアイコンやリンクの周りを囲む

- 電話着信画面、ロック画面、ウェブページで表示されているアイコンやリンクを選択します。

■画面に触れずに「<」を描く

- ウェブページ表示中は直前の画面に戻ります。

■画面に触れずに大きくスライドする

- ウェブページ表示中はスクロールします。

お知らせ

- 画面に指を近づけ検知された状態で操作を開始してください。検知されていない状態で操作を開始すると、操作に失敗する場合があります。
- 一度画面の中央付近に指を近づけ検知されたあと、同じ高さのまま指を画面の端へ移動させると、途中で検知されなくなる場合があります。

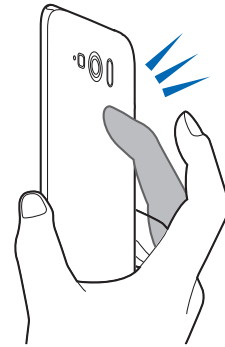
フィンガータップ

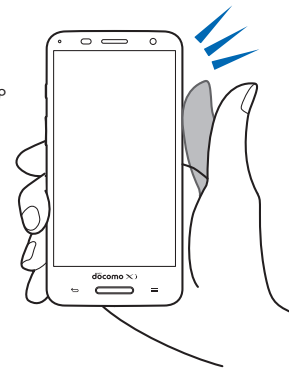
本体の背面や側面をダブルタップすることでディスプレイの再点灯や縦／横画面表示切り替えなどが行えます。

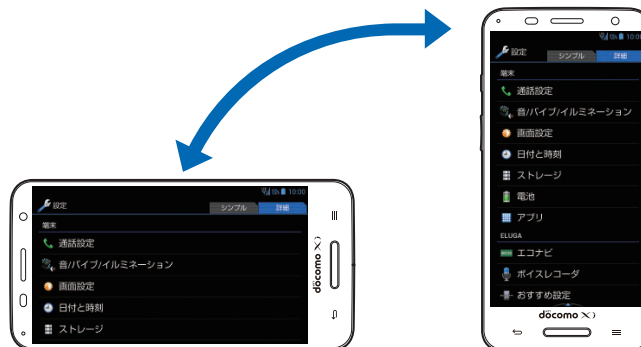
- あらかじめホーム画面▶[本体設定]▶[おすすめ設定]▶[フィンガータップ設定]でフィンガータップ設定の項目を有効にしてください。
  フィンガータップの設定については☞P.230

■ 本体背面をダブルタップする

- ディスプレイが微灯または消灯した直後にダブルタップすると、ディスプレイが再点灯します。※
- 通話中は音量が上がります。
- 着信中は着信音を消します。
- アラーム鳴動中はスヌーズになります。

※画面ロックの設定によっては、消灯した直後にダブルタップしても再点灯しない場合があります。

■ 本体側面をダブルタップする

- 画面が自動回転した直後にダブルタップすると、縦／横画面表示が切り替わり表示方向が固定され、が表示されます。固定中はダブルタップするたびに縦／横画面表示を切り替えます。
- 通話中は音量が下がります。

縦／横画面表示を切り替える

端末の向きや動きを検知するモーションセンサーによって、端末を縦または横に持ち替えて、画面表示を切り替えることができます。

お知らせ

- 端末を垂直に近い状態で操作してください。水平に寝かせると向きや動きの変化を正しく検知できず、画面表示が切り替わらない場合があります。
- 表示中の画面によっては、端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

表示中の画面を保存する

表示中の画面を画像として保存します。保存した画像は「ピクチャアルバム」で表示することができます。

1 ⏻と▮を同時に1秒以上押す

シャッター音が鳴り、表示中の画面が本端末のメモリに保存され表示されます。
[戻る]：保存した画像を閉じます。
[共有]：保存した画像をメールやBluetooth通信などで送信します。
[手書きメモ]：手書きメモが起動します（☞P.184）。

- ⏻を1秒以上押し、[画面キャプチャ]をタップしても操作できます。

お知らせ

- 著作権で保護されたコンテンツなどを表示中の場合は、画面キャプチャできなかったりコンテンツの画像部分が保存できない場合があります。

文字入力

入力方法を切り替える

本端末では、入力方法を「フィットキー（☞P.61）」、「ケータイキー（☞P.66）」、「クイック手書き（☞P.67）」、「Androidキーボード」から選択できます。

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[言語と入力]

2 [デフォルト]▶利用したい入力方法を選択

- ステータスバーにが表示されている状態で通知パネルを開いても入力方法を切り替えることができます。

フィットキーで入力する

以下の2種類のキーボードを使って文字を入力できます。

■テンキーキーボード

日本語をかな入力する場合に使用します。

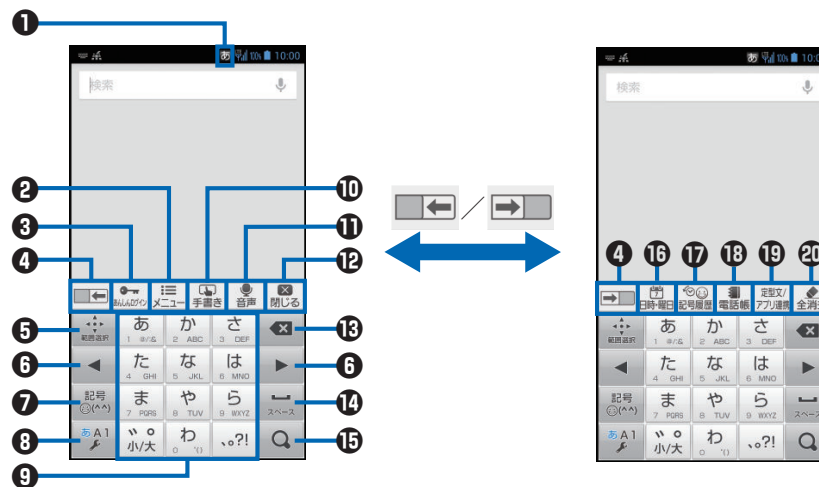
■PCキーボード

日本語をローマ字入力する場合に使用します。

■キーボードを切り替えるには

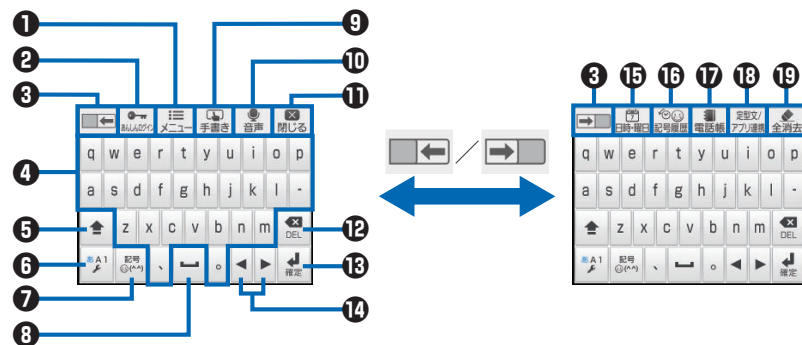
1 文字入力欄をタップ▶メニュー▶[テンキー⇔PCキーボード配列]

テンキーキーボードで文字を入力する

1 文字入力欄をタップ

❶	現在使用している入力モードを表示します。 あ：ひらがな漢字　A：全角英字　12：半角数字 カ：全角カタカナ　AB：半角英字　☺(^^)：絵文字／記号 ｶﾅ：半角カタカナ　1：全角数字
❷	フィットキーのメニューが表示され、設定を変更したり、定型文などを利用したりできます。また、あA1をロングタッチしてもフィットキーのメニューが表示されます。
❸	あんしんログインを起動します（☞P.205）。 • あんしんログインが有効な画面（IDやパスワードが入力できる画面）では、青色に変わります。
❹	タップするごとにワンタッチバーのボタンが切り替わります。
❺	十字キーを使った、コピー、切り取り、貼り付けの操作ができる画面に切り替えます。 • 使用中のアプリによっては、十字キーが正しく動作しない場合があります。 文字入力時に逆トグルをタップすると、文字を逆順で表示します。 入力した文字を確定した直後にUndoをタップすると、確定前の表示に戻ります。
❻	カーソルを左右に移動します。

❼	絵文字／記号入力モードに切り替えます（☞P.65）。 ロングタッチすると、定型文などを利用できます。 文字入力時に英数カナをタップすると、英数カナの変換候補を表示します。
❽	タップするたびに半角英字／半角数字／ひらがな漢字入力モードを切り替えます。また、ロングタッチ▶[入力モード／全半角切替]をタップして、全角／半角を切り替えたりできます。
❾	キーに割り当てられている文字を入力します。 目的の文字が表示されるまで続けてタップする方法や、文字入力キーをタッチしたまま、目的の文字の方向にフリックする方法があります。 文字を入力すると、予測変換候補が表示されます。
❿	手書き入力になります。
⓫	音声入力を利用します。 • フィットキー設定の「音声入力」を有効にしている場合のみタップできます。
⓬	キーボードを閉じます。
⓭	カーソルの左側にある文字を削除します。
⓮	スペースを入力します。 文字入力時にタップすると、変換候補を表示します。
⓯	入力した文字を確定したり、改行したりします。 起動している機能を、入力した文字で実行します。
⓰	日時や曜日に関する文字を入力するのに適したパレットを表示します。
⓱	絵文字や記号などの入力履歴を表示し、履歴から絵文字や記号を入力できます。
⓲	電話帳に登録されている名前やメールアドレスを引用して入力できます。
⓳	定型文や外部アプリを利用できます。
⓴	文字をすべて削除したり、カーソルの右側にある文字を削除したりできます。

PCキーボードで文字を入力する

1 文字入力欄をタップ

❶	フィットキーのメニューが表示され、設定を変更したり、定型文などを利用したりできます。また、 をロングタッチしてもフィットキーのメニューが表示されます。
❷	あんしんログインを起動します（☞P.205）。 • あんしんログインが有効な画面（IDやパスワードが入力できる画面）では、青色に変わります。
❸	タップするごとにワンタッチバーのボタンが切り替わります。
❹	キーに表示されている文字を入力します。 文字を入力すると、予測変換候補が表示されます。
❺	大文字／小文字を切り替えます。
❻	タップするたびに半角英字／半角数字／ローマ字入力モードを切り替えます。また、ロングタッチ▶[入力モード／全半角切替]をタップして、全角／半角を切り替えたりできます。
❼	絵文字／記号入力モードに切り替えます（☞P.65）。 ロングタッチすると、定型文などを利用できます。
❽	スペースを入力します。 文字入力時にタップすると、変換候補を表示します。
❾	手書き入力になります。
❿	音声入力を利用します。 • フィットキー設定の「音声入力」を有効にしている場合のみタップできます。
⓫	キーボードを閉じます。
⓬	カーソルの左側にある文字を削除します。
⓭	入力した文字を確定したり、改行したりします。 起動している機能を、入力した文字で実行します。
⓮	カーソルを左右に移動します。

⓯	日時や曜日に関する文字を入力するのに適したパレットを表示します。
⓰	絵文字や記号などの入力履歴を表示し、履歴から絵文字や記号を入力できます。
⓱	電話帳に登録されている名前やメールアドレスを引用して入力できます。
⓲	定型文や外部アプリを利用できます。
⓳	文字をすべて削除したり、カーソルの右側にある文字を削除したりできます。

絵文字や記号を入力する

絵文字／記号入力モードでは、絵文字D／絵文字／記号／顔文字入力を利用できます。文字入力欄によっては、絵文字D／絵文字が入力できない場合があります。

1 記号(^^)をタップして絵文字／記号入力モードに切り替える

❶	絵文字D／絵文字／記号／顔文字入力を切り替えます。
❷	画面を上下にスクロールして、入力したい絵文字D／絵文字／記号／顔文字をタップします。 • 最近使用した絵文字や記号が一覧上部に表示されます。
❸	絵文字／記号入力モードを終了します。
❹	画面を上下にスクロールします。 • 絵文字D一覧、絵文字一覧、顔文字一覧ではカテゴリ単位で画面を上下にスクロールできます。
❺	カーソルの左側にある文字を削除します。

ケータイキーで入力する

1 文字入力欄をタップ▶ メニュー ▶[ケータイキー切替]

❶	キー表示位置を変更します。
❷	絵文字／記号入力モードに切り替えます（☞P.65）。
❸	手書き入力になります。 文字入力時に 逆トグル をタップすると、文字を逆順で表示します。 入力した文字を確定した直後に 戻る をタップすると、確定前の表示に戻ります。
❹	キーに割り当てられている文字、数字や記号を入力します。 文字を入力すると、予測変換候補が表示されます。
❺	改行します。 文字入力時にタップすると、濁点・半濁点を入力したり、大文字・小文字を切り替えます。
❻	タップするたびに半角カタカナ／半角英字／半角数字／ひらがな漢字入力モードを切り替えます。また、ロングタッチして全角／半角を切り替えたりできます。 文字入力時にタップすると、変換候補を表示します。
❼	▲：カーソルを上へ移動します。 ▼：カーソルを下へ移動します。 ◀：カーソルを左へ移動します。 ▶：カーソルを右へ移動します。 ○：確定します。
❽	ケータイキーのメニューが表示され、設定を変更したり、定型文などを利用したりできます。 文字入力時に 英数カナ をタップすると、英数カナの変換候補を表示します。
❾	顔文字入力画面を表示します（☞P.65）。
❿	スペースを入力します。

⓫	カーソルの右側の文字を削除します。 ロングタッチすると、カーソルの右側の文字をすべて削除します。 カーソルの右側に文字がない場合は、カーソルの左側の文字を削除し、ロングタッチするとすべての文字を削除します。
⓬	句読点などを入力します。

手書きで文字を入力する

1 文字入力欄をタップ▶[手書き]または[手書き]

2 文字入力枠に手書きで入力

❶	入力可能な文字を表示します。 [漢]：漢字／ひらがな／カタカナ／英字／数字／記号 [A1]：英字／数字／記号 [12]：数字／記号 • 利用するアプリによって自動で切り替わります。
❷	クイック手書きのメニューが表示され、設定を変更したり、定型文などを利用したりできます。また、[%#& 記号]をロングタッチしてもクイック手書きのメニューが表示されます。
❸	あんしんログインを起動します（☞P.205）。 • あんしんログインが有効な画面（IDやパスワードが入力できる画面）では、青色に変わります。
❹	文字をすべて削除したり、カーソルの右側にある文字を削除したりできます。

❺	文字入力枠内に手書きで文字を入力します。 文字を入力すると、上部に認識された文字と予測変換候補が表示されます。 • 認識された文字をタップすると、認識候補一覧が表示され、文字を訂正することができます。文字を訂正した場合、以降同様の文字（筆跡）を入力すると訂正した文字で認識されます。 • 文字入力枠をピンチアウト／ピンチインすると、枠を1マス／2マス／6マスに切り替えます。
❻	カーソルの左側にある文字を削除します。
❼	スペースを入力します。 文字入力時にタップすると、変換候補を表示します。
❽	絵文字／記号入力モードに切り替えます（☞P.65）。 文字入力時にタップすると、全角／半角を切り替えます。 ロングタッチするとクイック手書きのメニューが表示され、設定を変更したり、定型文などを利用したりできます。
❾	カーソルを左右に移動します。 • 文字入力時にカーソルを移動すると、認識候補一覧が表示され、文字を訂正することができます。文字を訂正した場合、同様の文字（筆跡）を入力すると訂正した文字で認識されます。
❿	入力した文字を確定したり、改行したりします。 起動している機能を、入力した文字で実行します。
⓫	フィットキー入力になります。ただし、ケータイキーの時はケータイキー入力になります。
⓬	英数／記号をキーボードで入力します。
⓭	キーボードを閉じます。

文字入力時のメニュー

文字のコピー／切り取り

1 文字を入力▶入力した文字をロングタッチ

2 スライダーを上下左右にドラッグして文字を選択▶（コピー）／（切り取り）

- すべての文字を選択するにはをタップします。

■十字キーモードを利用する場合（フィットキー使用時のみ）

1 文字入力欄をタップ▶[範囲選択]

2 ▲／▼／◀／▶をタップしてカーソルを移動▶[範囲選択]

- すべての文字を選択するには[全選択]をタップします。

3 ▲／▼／◀／▶をタップして範囲を選択▶[コピー]／[切り取り]

■メニューから操作する場合（クイック手書き使用時）

1 文字入力欄をタップ▶メニュー▶[コピー]／[切り取り]

2 ▲／▼／◀／▶をタップしてカーソルを移動▶[始点]

3 ▲／▼／◀／▶をタップして範囲を選択▶[終点]

■メニューから操作する場合（ケータイキー使用時）

1 文字入力欄をタップ▶機能▶[コピー]／[切り取り]

2 ▲／▼／◀／▶をタップしてカーソルを移動▶[始点]

3 ▲／▼／◀／▶をタップして範囲を選択▶[終点]

文字の貼り付け

1 **文字入力欄をロングタッチ▶貼り付けたい位置にカーソルを移動▶[貼り付け]**

- [貼り付け]が表示されていない場合は、スライダーをタップして表示します。
- 入力した文字をロングタッチすると、範囲を選択して貼り付けることができます。スライダーで文字を選択し、をタップします。

■ **十字キーモードを利用する場合（フィットキー使用時のみ）**

1 **文字入力欄をタップ▶[範囲選択]**

2 **▲／▼／◀／▶をタップして貼り付けたい位置にカーソルを移動▶[貼り付け]**

■ **メニューから操作する場合（クイック手書き／ケータイキー使用時）**

1 **文字入力欄をタップ▶貼り付けたい位置にカーソルを移動**

2 **メニュー▶[貼り付け]**

- ケータイキーの場合はをタップします。

定型文を登録する

1 **文字入力欄をタップ**

2 **メニュー▶[定型文／外部アプリ連携]▶[定型文入力]**

- ケータイキーの場合はをタップします。
- [外部アプリ連携機能（マッシュルーム）]を[使用する]に設定しておく必要があります。

3 **[ユーザーオリジナル]▶≡▶[新規登録]**

4 **登録したい定型文を入力▶[保存]**

電話帳を引用する

1 文字入力欄をタップ

2 メニュー▶[電話帳引用]

- ケータイキーの場合は機能をタップします。

3 連絡先を選択▶項目を選択▶[OK]

文字入力の設定

文字入力に関する各種設定を行うことができます。

フィットキーの設定

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[言語と入力]

- フィットキーで文字を入力中にメニュー▶[フィットキー設定]をタップしても設定できます。

2 [フィットキー]のをタップ▶以下の操作を行う

キー操作音	キーをタップするたびに音を鳴らします。
キー操作バイブ	キーを操作したときに振動します。
フリックガイド	フリックガイドを表示します。
タッチアシスト	タッチアシストを有効にするかどうかを設定します。また、タッチアシスト有効時にガイド表示やアシスト機能を有効にするかどうかも設定できます。
自動大文字変換	英字入力時に文頭文字を大文字にします。
自動スペース入力	英字入力モードで予測候補を選択したときに、スペースを自動で入力するかどうかを設定します。
キーボードタイプ	画面の向き、入力モードごとにキーボードのタイプを設定します。
音声入力	音声入力を利用するかどうかを設定します。
フルスクリーンモード	横画面表示のとき、文字入力欄を広げて表示します。
フリック入力	フリック方式の入力を有効にします。
フリック感度	フリック入力時のスライド感度を指定します。

トグル入力	フリック入力有効時もトグル入力を有効にします。
自動カーソル移動	文字入力時に自動でカーソルが移動する速度を設定します。
候補学習	変換で確定した語句を学習します。
予測変換	文字を入力すると変換候補を表示します。
入力ミス補正	入力間違いの修正候補を表示します。
絞込み予測	読みの文字数から変換候補を推測します。
候補表示行数	候補表示の行数を設定します。
外部アプリ連携機能（マッシュルーム）	マッシュルーム拡張を使用します。
日本語ユーザー辞書	☞P.75
英語ユーザー辞書	☞P.75
学習辞書リセット	☞P.76
ダウンロード辞書	ダウンロード辞書を有効にするかどうかを設定します。
フィットキー	フィットキーのバージョンなどが表示されています。

ケータイキーの設定

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[言語と入力]

- ケータイキーで文字を入力中に機能▶[ケータイキー設定]をタップしても設定できます。

2 [ケータイキー]のをタップ▶以下の操作を行う

キー操作音	キーをタップするたびに音を鳴らします。
キー操作バイブ	キーを操作したときに振動します。
フリックガイド	フリックガイドを表示します。
タッチアシスト	タッチアシストを有効にするかどうかを設定します。また、タッチアシスト有効時にアシスト機能を有効にするかどうかも設定できます。
自動大文字変換	英字入力時に文頭文字を大文字にします。
自動スペース入力	英字入力モードで予測候補を選択したときに、スペースを自動で入力するかどうかを設定します。

フルスクリーンモード	横画面表示のとき、文字入力欄を広げて表示します。
フリック入力	フリック方式の入力を有効にします。
フリック感度	フリック入力時のスライド感度を指定します。
トグル入力	フリック入力有効時もトグル入力を有効にします。
自動カーソル移動	文字入力時に自動でカーソルが移動する速度を設定します。
候補学習	変換で確定した語句を学習します。
予測変換	文字を入力すると変換候補を表示します。
絞込み予測	読みの文字数から変換候補を予測します。
外部アプリ連携機能（マッシュルーム）	マッシュルーム拡張を使用します。
日本語ユーザー辞書	☞P.75
英語ユーザー辞書	☞P.75
学習辞書リセット	☞P.76
ダウンロード辞書	ダウンロード辞書を有効にするかどうかを設定します。
ケータイキー	ケータイキーのバージョンなどが表示されています。

クイック手書きの設定

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[言語と入力]

- クイック手書きで文字を入力中に[メニュー]▶[クイック手書き設定]をタップしても設定できます。

2 [クイック手書き]のをタップ▶以下の操作を行う

入力	入力マス設定	文字入力枠数を設定します。
	文脈補正	文字認識時に、文脈補正機能を利用するかどうかを設定します。
	自動確定	入力した文字が確定するまでの速度を設定します。 • 入力方式が1マス入力のときのみ設定できます。
	文字入力枠位置	文字入力枠の位置を設定します。 • 入力方式が1マス入力のときのみ設定できます。
	日本語アドレス入力	URL／Eメールアドレス入力時に、日本語入力を有効にします。
	全角空白入力	文字入力時に、スペースを全角で入力するかどうかを設定します。
	全角半角優先設定	文字入力時の全角／半角入力を、文字種や記号ごとに個別に設定します。
	英数ダイレクト入力	英数入力時のキーボード配列を設定します。
変換	予測変換	文字を入力すると変換候補を表示します。
	候補学習	変換で確定した語句を学習します。
	誤認識補正	認識間違いの修正候補も含めて、変換候補を表示します。
	ユーザー辞書	☞P.75
	候補学習リセット	☞P.76
操作音	キー操作音	キーをタップするたびに音を鳴らします。

バイブレーション	文字記入バイブ	文字入力枠に記入したときに、振動させるかどうかを設定します。
	キー操作バイブ	キーをタップしたときに、振動させるかどうかを設定します。
デザイン	キーポップアップ	タップやロングタッチで選択したキーを拡大表示します。
外部アプリ連携機能(マッシュルーム)		マッシュルーム拡張を使用します。
ダウンロード辞書		ダウンロード辞書を有効にするかどうかを設定します。
初期化		クイック手書きの設定をお買い上げ時の設定に戻します。 • ユーザー辞書と候補学習はリセットされません。
クイック手書き		クイック手書きのバージョンなどが表示されています。

ユーザー辞書に登録する

よく使う単語をユーザー辞書に登録しておくと、その読みを入力したとき変換候補として優先的に表示されます。

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[言語と入力]

- 文字を入力中にメニュー／機能▶[フィットキー設定]／[ケータイキー設定]／[クイック手書き設定]をタップしてもユーザー辞書に登録できます。

2 フィットキー／ケータイキーの場合

[フィットキー]／[ケータイキー]ののをタップ▶[日本語ユーザー辞書]／[英語ユーザー辞書]

- ひらがな漢字入力モードで使用する単語は[日本語ユーザー辞書]に、半角英字入力モードで使用する単語は[英語ユーザー辞書]に登録します。

クイック手書きの場合

[クイック手書き]のをタップ▶[変換]▶[ユーザー辞書]

3 ≡▶[登録]

4 [読み]の文字入力欄をタップ▶読みを入力

5 [表記]の文字入力欄をタップ▶単語を入力

6 [保存]

学習辞書をリセットする

一度入力した語句は自動的に記憶され、予測変換で変換候補として表示されます。学習辞書をリセットすると、学習した内容がすべて消去され、お買い上げ時の状態に戻ります。ただし、デコ絵文字（絵文字D）の履歴は削除されません。

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[言語と入力]

- 文字を入力中に メニュー／機能▶[フィットキー設定]／[ケータイキー設定]／[クイック手書き設定]をタップしても学習辞書をリセットできます。

2 フィットキー／ケータイキーの場合

[フィットキー]／[ケータイキー]のをタップ▶[学習辞書リセット]

クイック手書きの場合

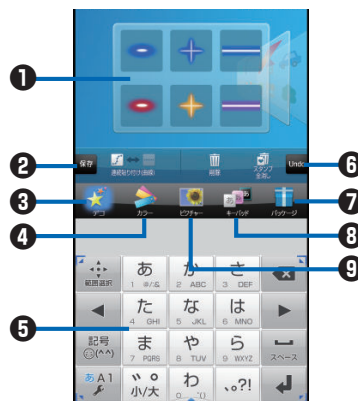
[クイック手書き]のをタップ▶[変換]▶[候補学習リセット]

3 [OK]

フィットキーのカスタマイズ

自分の手に合わせてキーボードのサイズや位置を調節できます。また、キーボードをスタンプでデコレーションしたり、色や背景、キー形状を変更できます。

1 文字入力欄をタップ

2 メニュー▶[カスタムキーボード]

❶ パレット
左右にフリックして選択します。

❷ 編集データを保存します。

❸ スタンプ設定画面に切り替えます。

❹ カラー設定画面に切り替えます。

❺ キーボードプレビュー

❻ キーボードを1つ前の状態に戻します。

❼ パッケージ設定画面に切り替えます。

❽ キー形状設定画面に切り替えます。

❾ 背景設定画面に切り替えます。

3 キーボードのサイズ／位置を調整する場合

キーボードプレビューの四隅にあるガイドアイコンを外側／内側へドラッグしてサイズを決める▶キーボードプレビューをドラッグして位置を決める

- 文字入力欄がキーボードや候補表示で隠れてしまう場合、キーボードのサイズを縮小することで文字入力欄を表示させることができます。

スタンプを貼り付ける場合

[デコ]▶パレットを選択▶貼り付けたいスタンプをタップ▶キーボードプレビューで貼り付けたい位置をタップ▶必要に応じてスタンプの操作を行う(☞P.80)

色を変更する場合

[カラー]▶パレットを選択

- スライダーをドラッグして、色の透過率を調節します。
- [グラデーションON／OFF]をタップして、グラデーション／単色を切り替えます。

背景を変更する場合

[ピクチャー]▶パレットを選択

- 最近保存した静止画から選択できます。他の静止画を選択したい場合は、[すべて見る]をタップします。
- [背景写真をアクティブ]をタップすると、静止画の表示位置を調節できます。
- 静止画を撮影して背景に設定するには、[カメラ起動]▶被写体をキーボードプレビューに表示▶[撮影アイコン]をタップします。

キーボードの形状、デザインを変更する場合

[キーパッド]▶パレットを選択

カスタマイズしたキーボードに切り替える場合

[パッケージ]▶パレットを選択

- [初期状態に戻す]▶[はい]をタップすると、キーボードがお買い上げ時の状態に戻ります。
- [SDカードから読み込み]をタップすると、パッケージをmicroSDカードから読み込んで選択することができます。
- [SDカードに保存]をタップすると、パッケージがmicroSDカードのKeyboardCustomizeフォルダにあるPackagesフォルダに保存され、保存した日時がファイル名になります（たとえば、2013年9月19日午前10時0分5秒に保存したファイルは「2013-09-19_10_00_05.pkg」となります）。
- 本端末をパソコンに接続すると、microSDカードに保存したパッケージデータを削除することができます（☞P.260）。

4 編集が完了したら[保存]▶[はい]

編集データがパッケージとして保存され、キーボードに反映されます。

- パッケージは本端末に5つ保存できます。

■キーボードプレビューでのスタンプの操作

スタンプをタップすると、スタンプの周囲にスタンプガイドが表示されます。

操作	手順
移動	スタンプガイドを表示▶スタンプガイドの中央をドラッグ
等倍に拡大／縮小	スタンプガイドを表示▶スタンプガイドの周辺に指を置き、ピンチアウト／ピンチイン
縦／横に拡大／縮小	スタンプガイドを表示▶スタンプガイドの隅を拡大／縮小したい方向にドラッグ
回転	スタンプガイドを表示▶スタンプガイドの隅の外側を回転したい方向になぞる
コピー＆ペースト	スタンプガイドを表示▶スタンプガイドの中央をロングタッチ▶貼り付けたい位置をタップ • タップするたびにスタンプが貼り付けられます。終了するには[コピー]をタップします。
削除	スタンプガイドを表示▶[削除] • [削除]▶削除したいスタンプをタップしても削除できます。
すべて削除	[スタンプ全消し]▶[はい]
連続貼り付け	[連続貼り付け]をタップして（直線）／（曲線）を選択▶パレットを選択▶貼り付けたいスタンプをタップ▶キーボードプレビューを指でなぞる

初期設定

お買い上げ後、はじめて本端末の電源を入れた場合は、画面の指示に従ってGoogle アカウントやGPSの位置情報の設定を行います。

1 **言語を選択▶[次へ]▶[次へ]**

2 **文字入力の方法を選択▶[次へ]**

3 **[Googleアカウント設定]▶[新しいアカウント]**

- Google アカウントを設定しない場合は、[次へ]をタップして手順12へ進みます。
- すでにGoogle アカウントをお持ちの場合は、[既存のアカウント]をタップします。

4 **Google アカウントに登録する姓名を入力▶**

5 **希望するユーザー名（@gmail.comの前の部分）を入力▶**

6 **パスワードを入力▶確認のためパスワードを再入力▶**

7 **セキュリティ保護用の質問欄で質問を選択▶回答欄に任意の答えを入力▶予備のメールアドレス欄にすでにお持ちのメールアドレスを入力▶**

- パスワードをお忘れになった場合、Google のホームページでセキュリティ保護用の質問に回答するか、予備のメールアドレスにパスワード再設定用のリンクを送信すればパスワードを再度設定できます。

8 **[Google+に参加する]▶Google+™の説明を確認▶**

- Google+に参加しない場合は、[今は設定しない]をタップします。

9 **性別を選択▶Google 利用規約などを確認▶**

10 **図で表示されている文字を入力▶**

11 **バックアップについての内容を確認▶ ▶[次へ]**

12 **位置情報についての内容を確認▶[次へ]**

- 位置情報を使用する場合は[ON]にします。

13 **スリープまでの時間を選択▶[次へ]**

14 **ネットワークモードを選択▶[次へ]**

15 **タッチアシストについて確認▶[次へ]**

- タッチアシストの設定については☞P.228

16 **フィンガータップについて確認▶[完了]▶[はい]／[いいえ]**

- フィンガータップの設定については☞P.230
- 端末エラー情報送信やソフトウェア更新の案内画面が表示されます。[OK]をタップしてドコモサービスについての設定を行います。

Google アカウント

Google アカウントを設定すると、Google Play ストアからのアプリのダウンロードなどが可能となります。すでにGoogle アカウントをお持ちの場合は、既存のアカウントを本端末でご利用いただけます。

1 **ホーム画面▶[本体設定]▶[アカウントと同期]**

2 **[アカウントを追加]▶[Google]▶[新しいアカウント]**

- すでにGoogle アカウントをお持ちの場合は、[既存のアカウント]をタップします。

3 **P.81「初期設定」手順4～10の操作を行う**

4 **[クレジットカードをセットアップ]▶カード情報を入力▶[保存]**

- 設定しない場合は[後で行う]または[スキップ]をタップします。

5 同期するデータにチェックを付ける▶

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード、mopera U）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

- お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。ただし、契約内容によっては設定が異なる場合があります。

利用中のアクセスポイントを確認する

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[その他...]

2 [モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]

アクセスポイントを追加で設定する

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[その他...]

2 [モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]▶[≡]▶[新しいAPN]▶[OK]

3 [名前]▶作成するネットワークプロファイルの名前を入力▶[OK]

4 [APN]▶アクセスポイント名を入力▶[OK]

5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力▶[≡]▶[保存]

- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 **ホーム画面▶[本体設定]▶[その他...]**

2 **[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]▶ ≡ ▶[初期設定にリセット]**

spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、ｉモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

mopera U

mopera UはNTTドコモのISPです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

■mopera Uを設定する

1 **ホーム画面▶[本体設定]▶[その他...]**

2 **[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]▶[mopera U]／[mopera U設定]にチェックを付ける**

お知らせ

- [mopera U設定]は、mopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

Eメール設定

mopera Uや一般のプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、Eメールを利用できます。

- あらかじめアクセスポイントを設定してください（☞P.83）。

mopera Uのメールアカウントを設定する

mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、mopera Uメールをご利用になれます。

■ POPサーバーを利用する場合

1 **ホーム画面▶[アプリ]▶[メール]**

2 **mopera Uメールアドレスとmopera Uのパスワードを入力▶[次へ]▶[POP3]**

3 **mopera Uのユーザー名とパスワードを入力▶POP3サーバーに[mail.mopera.net]を入力**

4 **セキュリティの種類欄で[なし]またはセキュリティを選択▶入力内容を確認▶[次へ]**

5 **SMTPサーバーに[mail.mopera.net]を入力▶mopera Uのユーザー名を確認▶[次へ]**

6 **メール自動確認の頻度などを設定▶[次へ]**

7 **アカウント名と送信メールに表示される名前を入力▶[次へ]**

一般プロバイダのメールアカウントを設定する

- あらかじめご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。

1 **ホーム画面▶[アプリ]▶[メール]**

- メールアカウントが登録済みで、別のメールアカウントを追加したい場合は、メール一覧画面▶[≡]▶[設定]▶[アカウントを追加]をタップします。

2 **メールアドレスとパスワードを入力▶[次へ]**

3 **画面に従って操作する**

お知らせ

- メールアカウントの自動設定が完了しない場合、手順2で[手動セットアップ]をタップし、アカウント設定を手動で入力します。

Wi-Fi

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[Wi-Fi]

2 「Wi-Fi」をONにする

検出されたWi-Fiネットワークのネットワーク名とセキュリティ設定（オープンネットワークまたはセキュリティで保護）がWi-Fiネットワークリストに表示されます。

- 手動でWi-Fiネットワークを登録する場合は、▶必要な情報を入力▶[保存]をタップします。
  セキュリティは[なし]／[WEP]／[WPA/WPA2 PSK]／[802.1x EAP]から選択します。
- 再度Wi-Fiネットワークを検索したい場合は、▶[スキャン]をタップします。

3 Wi-Fiネットワークを選択

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークを選択した場合、パスワード（セキュリティキー）を入力し、[接続]をタップします。
- [パスワードを表示する]にチェックを付けると、入力中のパスワードが表示されます。
- [詳細オプションを表示]にチェックを付けると、詳細な設定を行うことができます。
- 接続中のWi-Fiネットワークを切断する場合は、Wi-Fiネットワークを選択して[切断]をタップします。

お知らせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的にLTE／3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用される場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。
- 圏外等でWi-Fiネットワークが切断された場合、圏内に戻ったあとの自動接続に時間がかかることがあります。
- アクセスポイントを選択して接続するときに誤ったパスワード（セキュリティキー）を入力した場合、[認証に問題]と表示されます。パスワード（セキュリティキー）をご確認ください。なお、[インターネット接続不良により無効]と表示されるときは、正しいIPアドレスを取得できていない場合があります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。
- Wi-Fi利用時にドコモサービスをWi-Fi経由で利用する場合は「Wi-Fiオプションパスワード」の設定が必要です。
  ホーム画面▶[本体設定]▶[ドコモサービス]▶[ドコモアプリWi-Fi利用設定]から設定ができます。

■ WPSについて

アクセスポイントが「WPS」に対応しているときは、簡単な操作でアクセスポイントに接続できます。

WPSボタン方式で接続する場合は、手順3でをタップし、アクセスポイントのWPSボタンを押します。
WPS PINコード方式で接続する場合は、手順3で▶[WPS PIN入力]をタップし、端末に表示されたPINコードをアクセスポイントに入力します。

■ Bluetooth機器との電波干渉について

無線LAN（IEEE802.11b/g/n）とBluetooth機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、Bluetoothを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- Bluetooth機器は10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth機器の電源を切ってください。

Wi-Fiのメニュー

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[Wi-Fi]

2 [≡]▶以下の操作を行う

スキャン		再度Wi-Fiネットワークを検索します。
WPS PIN入力		WPS PINコードをアクセスポイントに入力して接続します（☞P.87）。
Wi-Fi Direct		☞P.268
詳細設定	**ネットワークの通知**	Wi-Fiのオープンネットワークが検出されたら通知するように設定します。
	画面OFF時の動作	スリープモード時や、充電中のWi-Fi機能の動作を設定します。
	Wi-Fi周波数帯域	Wi-Fiで使用する周波数帯域を設定します。
	MACアドレス	MACアドレスが表示されます。
	IPアドレス	IPアドレスが表示されます。

オンラインサービスのアカウント

Facebookなどオンラインサービスのアカウントを設定し、本端末と各サービスのサーバーとの間でデータの同期や送受信ができます。

- Exchangeアカウントを設定する場合は、設定情報などをネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[アカウントと同期]

2 [アカウントを追加]▶追加したいアカウントの種類を選択

3 画面に従って操作する

アカウントが追加されます。

- アカウントをタップすると、各アカウントの設定ができます。

イルミネーション

充電時や着信時、不在着信やメール受信などの新しい通知がある場合に着信／充電ランプが光ります。

- 充電時の着信／充電ランプについては☞P.51
- 光るパターンとカラーを設定するには☞P.220
- 電話帳に登録されている連絡先ごとに光るパターンやカラーを設定することもできます。

画面表示とアイコン

通知アイコン／ステータスアイコン

ステータスバーには端末の状態を示すアイコンが表示されます。ステータスバーの左側には通知アイコン、右側にはステータスアイコンが表示されます。

ステータスバー 10:00

■主な通知アイコン

アイコン	説明	アイコン	説明
	新着Gmail		新着Eメール
	新着spモードメール		新着メッセージ（SMS）
	メッセージ（SMS）の送信失敗		留守番メッセージ
talk	新着インスタントメッセージ		新着エリアメール
	カレンダーの予定		メディアプレイヤーで楽曲再生中
	Wi-Fiのオープンネットワークが利用可能		Bluetooth通信でファイル着信
	伝言メモあり		VPN接続中
	USB接続中		MHL接続中
	USBテザリング利用中		Wi-Fiテザリング利用中
	USBテザリングとWi-Fiテザリング利用中		Miracast利用中
	GPS測位中		エラーメッセージ
	本体の空き容量低下／空き容量なし		通話中／着信中
	不在着信		通話保留中
	データのアップロード		データのダウンロード
	Google Play ストアなどからのアプリがインストール完了		Google Play ストアのアプリがアップデート可能
	画面キャプチャの保存		モバキャス電波状態

アイコン	説明	アイコン	説明
	ワンセグ通知		データ放送のセキュリティ保護ページに接続中
	おまかせロック設定中		エコナビ中
	タッチアシスト／タッチレスのガイド		パーソナルプロテクトのロック解除
	Psmartの更新通知あり		外からDIGA接続の接続中
	外からDIGA接続の切断時		温度異常
	充電異常		

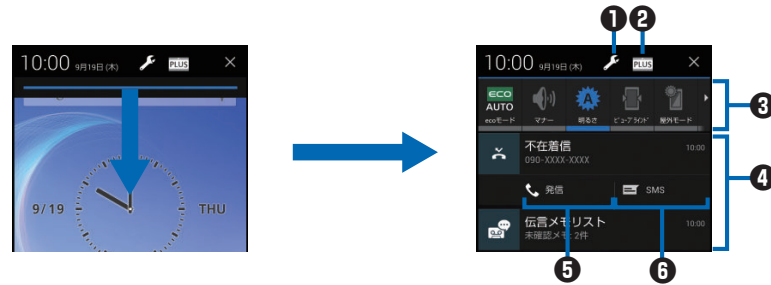
■主なステータスアイコン

アイコン	説明	アイコン	説明
	電波状態		ローミング中
	圏外		通信中
	3G（パケット）使用可能		HSPA使用可能
	LTE使用可能		機内モード
	Wi-Fi接続中	（グレー）	Bluetooth機能ON
（青色）	Bluetooth機器接続中		伝言メモ設定中
	本端末またはドコモminiUIMカードにNFC／おサイフケータイ ロックを設定中		本端末とドコモminiUIMカードにNFC／おサイフケータイ ロックを設定中
	ドコモminiUIMカード未挿入		時計のアラーム設定中
	マナーモード（サイレント）		マナーモード（バイブレーション）
	要充電		電池残量が少ない
	電池残量十分		充電中

通知パネル

通知アイコンが表示されたら、通知パネルを開いてメッセージや予定などの通知を確認できます。通知パネルから設定メニューを表示したり、各種設定を変更したりすることもできます。

通知パネルを開く

1 ステータスバーを下にドラッグ

❶ 設定メニューを表示します（☞P.211）。

❷ タスクマネージャーPLUSを起動します（☞P.94）。

❸ 各種設定を変更します。
[ecoモード]：ecoモードの状態を切り替えます（☞P.226）。
[マナー]：マナーモードを設定／解除します（☞P.112）。
[明るさ]：画面の明るさを変更します（☞P.221）。
[ビューブラインド]：ビューブラインドのON／OFFを切り替えます（☞P.222）。
[屋外モード]：周囲の明るさに応じて色調を自動補正して画面を見やすくします（☞P.221）。
[Wi-Fi]：Wi-FiのON／OFFを切り替えます（☞P.86）。
[GPS]：GPS機能のON／OFFを切り替えます（☞P.234）。
[タッチアシスト]：タッチアシストのON／OFFを切り替えます（☞P.228）。
[画面キャプチャ]：通知パネルを閉じて表示中の画面を保存します（☞P.60）。
[自動回転]:画面の自動回転のON／OFFを切り替えます(☞P.222)。
[再起動]：本端末を再起動します。
[アプリ終了]：起動中のアプリをすべて終了します。
[カスタマイズ]：各種設定項目の表示／非表示切り替えや並べ替えなどを行います。

❹ タップすると、詳細を確認したり必要な設定を行ったりすることができます。

❺ 不在着信のあった番号へコールバックします。

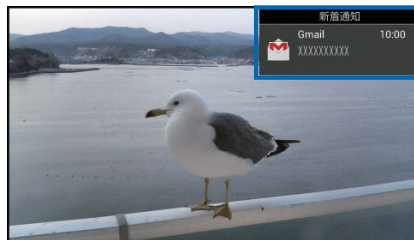
❻ 不在着信のあった番号宛へメッセージ（SMS）を送信します。

- [×]をタップすると、通知パネル内の表示が消去されます。ただし、通知内容によっては消去できない場合があります。

通知パネルを閉じる

1 通知パネル下のバーを上にドラッグ、または[⮌]をタップ

ポップアップ通知

動画再生中などにspモードメールやEメールなどを受信すると、ポップアップ通知が表示されます。

- タップすると、通知元アプリを起動できます。
- ドラッグして表示位置を変更できます。
- 左右にフリックすると、ポップアップ通知を消去できます。
- ポップアップ通知の設定については☞P.222

タスクマネージャーPLUS

いつでもインストール済みアプリやお気に入りアプリを表示して起動したり、現在起動中のアプリを確認して終了させることもできます。また、ウィンドウPLUSの画面を表示すると、地図を見ながらウェブページを閲覧したり、メールを確認しながら動画を視聴するなど便利に利用できます。

タスクマネージャーPLUSを開く

1 [ホーム]をすばやく2回続けて押す

タスクマネージャーPLUS画面が表示されます。

- 通知パネルでPLUSをタップしても表示できます。

❶ ウィンドウPLUS
ウィンドウPLUSの画面ではウェブブラウザ、YouTube™ 、ワンセグ、動画再生、持ち出し番組の機能を利用できます（☞P.95）。

❷ 起動中アプリの終了
起動中のアプリとメモリの使用量が表示されます。アプリをタップするか[アプリ一括終了]をタップすると、アプリを終了できます。

❸ アプリの切り替え
お気に入りアプリの一覧とインストール済みアプリの一覧が表示されます。

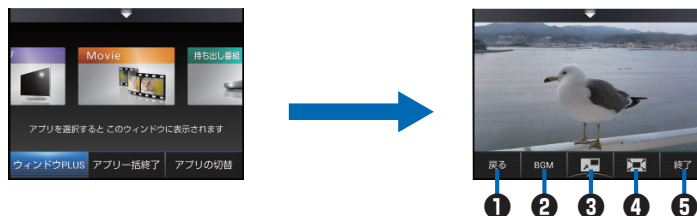
- お気に入りアプリ一覧では、アプリをタップすると起動できます。アプリをロングタッチすると、ドラッグして並べ替えたり削除したりできます。
- インストール済みアプリ一覧では、左右にスライドしてアプリを表示し、アプリをタップすると起動できます。アプリをロングタッチしてお気に入りアプリ一覧にドラッグすると、お気に入りに登録できます。

タスクマネージャーPLUSを閉じる

1 タスクマネージャーPLUS上のバーまたは［⇐］をタップ、または［　　］[ホーム]を押す

ウィンドウPLUSを利用する

1 タスクマネージャーPLUS画面▶[ウィンドウPLUS]▶アプリを選択▶必要に応じてファイルなどを選択

動画再生時／ワンセグ視聴時は、ウィンドウPLUSの画面をタップするとコントローラーが表示されます。
ウェブページ表示時は、ウィンドウPLUSの画面をダブルタップまたはピンチアウト／ピンチインするとウェブページを拡大／縮小できます。

❶ [戻る]：直前の画面に戻ります。
　：直前のウェブページに戻ります（ウェブページ表示時のみ）。

❷ [BGM]：BGM再生にします（動画再生中※／ワンセグ視聴中のみ）。
※YouTube を除く
　：直前のウェブページに進みます（ウェブページ表示時のみ）。

❸ ：小画面を表示します（動画再生中／ワンセグ視聴中のみ）。
- 小画面をピンチアウト／ピンチインでサイズ変更、ドラッグで位置を変更できます。小画面をタップして[解除]をタップするとウィンドウPLUSの画面に戻ります。

　：検索を行います（ウェブページ表示時のみ）。

❹ ：横大画面で表示します（動画再生中／ワンセグ視聴中のみ）。
　：ウィンドウPLUSの画面を大きくします（ウェブページ表示時のみ）。

❺ [終了]：ウィンドウPLUSを終了します。

お知らせ

- 動画再生中／ワンセグ視聴中にウィンドウPLUSの画面上のバーをタップ、または[ホーム]を押してウィンドウPLUSを閉じた場合は、BGM再生となります（YouTube を除く）。

ホーム画面

ホーム画面はアプリを使用するためのスタート画面で、[ホーム]を押すと表示されます。
ホームアプリには、docomo シンプル UI、docomo Palette UI、フィットホームの3種類があります。ここではdocomo シンプル UIの操作を説明します。

❶ インジケーター
ホーム画面の現在位置が表示されます。最大11シート（発着信履歴シート含む）まで表示され、画面を左右にフリックして切り替えられます。

❷ クイック検索ボックス（☞P.100）

❸ ショートカット、ウィジェット、フォルダを自由に配置できます。

❹ 各アプリを起動します。

❺ アプリ一覧画面を表示します。

❻ ツール一覧画面を表示します。

❼ 設定メニューを表示します。

❽ ワンハンドPLUS（☞P.227）

お知らせ

- ホームアプリを別の種類に切り替えた場合、ホーム画面のレイアウトなどによっては、画面上のウィジェットなどが正しく表示されない場合があります。

ホーム画面にショートカットなどを追加する

1 **ホーム画面▶背景部分をロングタッチ**

- アプリ一覧画面やツール一覧画面で対象のアプリをロングタッチし、[ホームへ追加]をタップしても追加できます。

2 **[ショートカットの追加]／[ウィジェットの追加]／[フォルダの作成]**

3 **追加したいショートカットなどを選択**

4 **ホーム画面に追加されたショートカットなどをロングタッチして、配置したい場所にドラッグ**

フォルダ名を変更する

1 **フォルダをロングタッチ▶[名称変更]**

- フォルダをタップし、タイトルバーをタップしても変更できます。

2 **フォルダ名を入力▶[OK]**

ショートカットなどを削除する

1 **ホーム画面▶削除したいショートカットなどをロングタッチして、[削除]をタップ**

アプリやウィジェットをアンインストールする

1 **ホーム画面▶アンインストールしたいアプリやウィジェットをロングタッチ▶[アンインストール]▶[OK]**

- アプリ一覧画面やツール一覧画面で対象のアプリをロングタッチし、[アンインストール]▶[OK]をタップしてもアンインストールできます。

ホーム画面の壁紙を変更する

1 **ホーム画面▶背景部分をロングタッチ▶[壁紙の変更]**

2 **壁紙の種類をタップ▶画像を選択**

- [ピクチャアルバム]で画像を選択した場合は、トリミングする位置を決定し、[OK]をタップして設定完了です。

3 **[壁紙に設定]**

ホーム画面を追加する

1 **ホーム画面▶背景部分をロングタッチ▶[画面の追加・削除]▶[＋追加]**

- [＋追加]はホーム画面が10シート以下の場合に表示されます。
- ホーム画面を削除するには、[×]をタップします。

マチキャラの設定を変更する

1 **ホーム画面▶背景部分をロングタッチ▶[マチキャラ表示設定]**

- ホーム画面でマチキャラをロングタッチしても設定を変更できます。

発着信履歴を表示する

1 **ホーム画面▶右にフリック**

- 各履歴をタップすると電話をかけることができます。
- [編集（削除・電話帳登録）]をタップすると、[電話]アプリが起動します（☞P.114）。

端末内のアプリやウェブページの情報を検索する

1 ホーム画面▶クイック検索ボックスの入力欄をタップ

- をタップすると、音声検索ができます。
- Google Now の案内画面が表示された場合は、画面に従って操作します。
- ▶[設定]をタップすると、検索対象の種類や設定を変更できます。

2 キーワードを入力

入力中の文字を含む検索候補が表示されます。

3

- 表示されるアイコンは入力方法によって異なります。
- 候補リストから起動したいアプリや、表示したいウェブページを選択しても検索できます。

バージョン情報

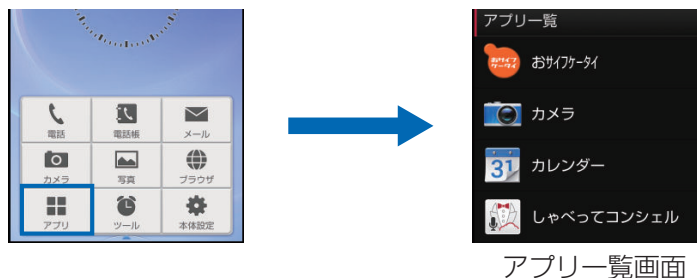
1 ホーム画面▶▶[アプリケーション情報]

ホームアプリのバージョンなどを表示します。

アプリ画面

アプリ一覧画面を表示する

アプリ一覧画面では、インストールされているアプリが表示されます。

1 ホーム画面▶[アプリ]

アプリ一覧画面

アプリ一覧

お買い上げ時に搭載されているアプリの一覧です。

- この一覧は、お買い上げ時にプリインストールされているアプリの一覧です。プリインストールされているアプリには一部アンインストールできるものがあります。アンインストールした場合でもGoogle Play ストア（☞P.150）から再度ダウンロードできる場合があります。
- ソフトウェア更新やAndroid バージョンアップを行うと、アプリの内容やアイコンの位置が変わることがあります。
- 一部のアプリの使用には、別途お申し込み（有料）が必要となるものがございます。
- アプリの初回使用時、Google Play ストアからのアプリのインストールが必要となる場合があります。
- アプリによっては、microSDカードを挿入していないと動作しないものがあります。microSDカードを挿入してご利用ください。

アイコン	アプリ	概要	参照先
	おサイフケータイ	おサイフケータイを利用できます。	P.152
	カメラ	静止画や動画を撮影できます。	P.172
	カレンダー	スケジュールを管理できます。	P.192
	しゃべってコンシェル	「調べたいこと」や「やりたいこと」などを端末に話しかけると、その言葉の意図を読み取り、最適な回答を表示するアプリです。	－

アイコン	アプリ	概要	参照先
	スケジュール	スケジュールを作成・管理できるアプリです。 i コンシェルサービスに対応しています。	－
	ダウンロード	ウェブサイトからダウンロードしたファイルの一覧を表示できます。	－
	トーク	Google トークを使用してチャットができます。	P.139
	ドコモバックアップ	「ケータイデータお預かりサービス」、「電話帳バックアップ」もしくは「SDカードバックアップ」をご利用いただくためのアプリです。電話帳などのデータをバックアップしたり、復元したりすることができます。 ドコモバックアップ（microSDカードへ保存）の内容については☞P.197	－
	ドコモ電話帳	電話帳の登録、管理ができます。	P.120
	トルカ	トルカの取得・表示・検索・更新などができます。	P.156
	ナビ	目的地への道案内を取得できます。	P.189
	パーソナルプロテクト	他人に見られたくないファイルを管理すること、および、カメラで撮影した画像を秘匿することやセキュリティアカウントでEメールを利用することができます。	P.199
	パナソニック スマート	スマート家電と連携して、より快適で便利な暮らしを提案するアプリです。	P.208
	ピクチャアルバム	静止画や動画を表示します。また、ピクチャジャンプを利用してファイルのアップロードなどを行ったりできます。	P.179
	フォトコレクション	写真や動画をクラウドにアップロードして管理できる無料ストレージサービスです。	－
	ブラウザ	パソコンと同じようにウェブページを閲覧できます。	P.142
	マップ	Google マップで現在地を確認したり、場所や経路を検索したりできます。	P.188

アイコン	アプリ	概要	参照先
	メール	パソコンなどとEメールの送受信ができます。	P.131
	メッセージ	メッセージ（SMS）の送受信ができます。	P.128
	メッセンジャー	Google+と連携して、グループでチャットができます。	−
	メディアプレイヤー	音楽や動画を再生することができるアプリです。	P.185
	メモ	メモを作成・管理できるアプリです。 iコンシェルサービスに対応しています。	P.195
	ローカル	近くにあるお店や施設をジャンル別に検索できます。	P.188
	ワンセグ	ワンセグの視聴や録画ができます。	P.163
	遠隔サポート	「スマートフォンあんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「スマートフォンあんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの端末の画面を、専用のコールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです。	P.294
	音声検索	Google 音声検索™で端末内のアプリやウェブページの情報を音声で検索できます。	P.100
	災害用キット	緊急速報「エリアメール」の受信メール確認と各種設定、災害用伝言板にメッセージの登録や確認などができるアプリです。	P.137
	時計／アラーム	時刻を表示したり、アラームを設定したりできます。	P.190
	取扱説明書	本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。	P.1
	赤外線	電話帳などのデータを赤外線通信により送受信できるアプリです。	P.252
	設定	本端末の各種設定を行います。	P.211
	電卓	加算、減算、乗算、除算などの計算ができます。	P.196

アイコン	アプリ	概要	参照先
	電話	電話をかけることができます。	P.108
	熱帯楽園	熱帯魚の世界を楽しめるゲームアプリです。指をかざすと画面を拡大できます。 ©UNBALANCE Corporation	–
	Chrome	スピーディーでシンプルなウェブブラウザです。Chrome™ にログインして開いているタブやブックマークなどをパソコンと同期できます。	–
	dマーケット	dマーケットを起動するアプリです。dマーケットでは、音楽や動画、書籍などのコンテンツを購入することができます。また、Google Play ストア上のアプリを紹介しています。	P.149
	dメニュー	ｉモードで利用できたコンテンツをはじめ、スマートフォンならではの楽しく便利なコンテンツを簡単に探せる「dメニュー」へのショートカットアプリです。	P.148
	docomo Wi-Fiかんたん接続	ドコモの公衆無線LANサービス「docomo Wi-Fi」もしくは自宅のWi-Fi環境を便利に利用するためのアプリです。ウィジェットによりWi-Fiエリア内では、ワンタッチでWi-Fiへの接続／切断ができます。	–
	Earth	Google Earth™ で世界中の衛星写真を地球儀をまわしているように閲覧することができます。	–
	ELUGA Link	DLNA、Miracast、持ち出し番組、スマートアーチなどの機能を利用して外部機器とデータのやりとりができます。	P.207
	Gmail	Google アカウントのメールを送受信できます。	P.134
	Google	端末内のアプリやウェブページの情報を検索できます。	P.100

アイコン	アプリ	概要	参照先
	Google+	Google+にログインして、他のユーザーとリンクや写真などを共有したり、メッセンジャーを利用してグループでチャットを行ったりできます。	−
	Google設定	Google 関連サービスの設定ができます。	−
	ｉコンシェル	ｉコンシェルを利用するためのアプリです。ｉコンシェルは､ケータイがまるで「執事」や「コンシェルジュ」のように､あなたの生活をサポートしてくれるサービスです。	−
	ｉチャネル	ｉチャネルを利用するためのアプリです。	−
	ICタグ・バーコードリーダー	ICタグとバーコードを読み取るためのアプリです。	−
	iDアプリ	電子マネーiDを利用するための設定などを行うアプリです。	−
	Movie Studio	動画を編集できます。	−
	NOTTV	モバキャスを視聴できます。「NOTTV」などの放送局の番組・コンテンツをお楽しみいただけます。	P.157
	Playストア	Google Play ストアを利用できます。	P.150
	Playブックス	Google Play ストア上で電子書籍を購入して、Google Play ブックスで閲覧できます。	−
	Playミュージック	Google Play ミュージックで音楽を再生できます。	−
	Playムービー	Google Play ストア上の映画をレンタルして、Google Play ムービーで視聴できます。	−
	Polaris Office 4.0	Officeドキュメントなどの閲覧／編集ができます。	P.209
	Psmart	メーカーサイトに接続して､コンテンツや情報が入手できます。	−

アイコン	アプリ	概要	参照先
	spモードメール	ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。	P.127
	YouTube	YouTube の動画の再生、投稿ができます。	−

アプリを並べ替える

1 **アプリ一覧画面▶ ≡ ▶[並べ替え]▶並び順を選択**

ホームアプリの切り替えかた

docomo シンプル UI、docomo Palette UI、フィットホームの3種類から選択できます。

- [フィットホーム]に切り替えた場合、ホーム画面▶ ≡ ▶[ケータイモード]をタップするとケータイモードに切り替えることができます。ケータイモードではｉモードケータイのように操作できます。

1 **ホーム画面▶[本体設定]▶[ホーム切替]**

2 **ホームアプリを選択**

電話

電話

電話をかける

1 **ホーム画面▶[電話]**

2 **相手の電話番号を入力**

- 電話番号を間違えたときは、 をタップして入力した番号を消します。

3

4 **通話が終了したら[終了]**

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

- 日本国内ではドコモminiUIMカードを取り付けていない場合、PINコードロック・PUKロック中には緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
  110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
  また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 登録外着信拒否機能をONにした状態で緊急通報を行うと登録外着信拒否機能の設定がOFFになります。

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

- 発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際にはご注意ください。

1 ホーム画面▶[電話]

2 相手の電話番号を入力

3 [≡]▶[発信者番号通知]▶[通知する]／[通知しない]▶[📞]

プッシュ信号を入力する

自宅の留守番電話、チケットの予約、銀行の残高照会などのサービスに利用します。
通話中に番号を追加入力する必要があるサービスを利用する際、[2秒間の停止を追加]または[待機を追加]を使用すると電話番号と追加番号をまとめて入力して発信できます。
[2秒間の停止を追加]（,）：電話番号をダイヤルしたあと自動的に2秒間停止してから追加番号を発信します。
[待機を追加]（;）：電話番号をダイヤルしたあと自動的に待機し、追加番号を送信するかどうかのメッセージが表示されます。[はい]をタップすると追加番号を発信します。

1 ホーム画面▶[電話]

2 電話番号を入力

3 [≡]▶[2秒間の停止を追加]

「,」が入力されます。

4 送信するプッシュ信号を入力▶[📞]

電話がつながって約2秒後にプッシュ信号が自動的に送信されます。

- 手動でプッシュ信号を送信する場合は、手順3で[≡]▶[待機を追加]をタップして、「；」を入力します。手順4のあと送信操作を行ってください。

国際電話の利用

- 海外での利用については☞P.272
- WORLD CALLについてのご不明な点は、「総合お問い合わせ先」（☞P.339）までお問い合わせください。

1 ホーム画面▶[電話]

2 ＋（[0]をロングタッチ）▶国番号→地域番号（市外局番）→電話番号の順に入力

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- 「＋」や国番号を入力せずに、[≡]▶[国際電話発信]をタップすると国番号や国際プレフィックスを選択して発信できます。

3 [📞]

- [国際ダイヤルアシスト]（☞P.281）で[自動変換機能]にチェックを付けている場合は、「＋」を国際プレフィックスに変換して発信できます。

電話を受ける

1 電話がかかってくる▶[タッチで操作開始]▶[通話]

- 応答を保留する場合は、[≡]▶[応答保留]をタップします。
- 応答を拒否して相手にメッセージ（SMS）を送信する場合は、[タッチで操作開始]▶[拒否してSMS送信]▶メッセージをタップします。
- 応答を拒否する場合は、[タッチで操作開始]▶[拒否]をタップします。
- 伝言メモで応答する場合は、[タッチで操作開始]▶[伝言メモ]をタップします。

2 通話が終了したら[終了]

電話着信中に着信音を一時的に消す

1 **着信中▶[音量上]／[音量下]または[電源]**

マナーモード

マナーモードを設定すると、着信音、操作音、各種通知音を消すことができます。

- 音楽や動画、カメラのシャッター音などは消音されません。

1 **[電源]を1秒以上押す▶[サイレント]（サイレント）または[バイブ]（バイブレーション）**

ステータスバーに[サイレント]または[バイブ]が表示されます。

- [音量下]を1秒以上押してもマナーモード（バイブレーション）を設定できます。再度[音量下]を1秒以上押すとマナーモード（バイブレーション）が解除されます。
- マナーモード（バイブレーション）設定中は、[音量上]／[音量下]を押しても音量調整できません。
- 伝言メモ設定が[マナーモード連動]に設定されていると、着信時に伝言メモが有効になり、伝言メモの設定に従って動作します。

■マナーモードを解除する

1 **マナーモード設定中▶[電源]を1秒以上押す▶[音]**

通話中の操作

❶ 好みの音質を選択します※1。

❷ 相手の声の速度をゆっくりにします※1。

❸ 別の相手に電話をかけます※2。

❹ 通話を一時保留します※3。
[通話を追加]で別の相手に電話をかけてマルチ接続したときは、通話相手を切り替えることができます※2※3。

❺ 自分の声が相手に聞こえないようにします※3。

❻ 通話品質の説明を表示します。

❼ 周囲の雑音を抑え、自分の声が相手にクリアに聞こえるようにします※1。

❽ 通話を終了します。

❾ ダイヤルキーを表示し、プッシュ信号を送信します※3。

❿ 相手の声をスピーカーから流して、ハンズフリーで通話します※3。
Bluetooth接続時は、タップすると以下の項目が表示されます。
[スピーカー]：相手の声をスピーカーから流します。
[携帯端末のイヤホン]：相手の声を受話口から流します。
[有線ヘッドセット]：イヤホン接続時に、相手の声をイヤホンから流します。
[Bluetooth]：ワイヤレスイヤホンセットを使用したハンズフリー通話に切り替えます。

※1 タップするたびにレベルや種類を選択できます。

※2 キャッチホンのご契約が必要です。

※3 再度タップするとタップ前の状態に戻ります。

お知らせ

- 通話中に他の機能を使用するとステータスバーに[タッチして通話に戻る]が表示され、タップすると通話に戻ります。タップする際に近接センサー付近に手をかざすと画面が消灯してしまいますのでご注意ください。

相手の声の大きさを調節する

1 通話中▶▲（音量大）／▼（音量小）

通話履歴

1 ホーム画面▶[電話]

2 [発着信履歴]タブ

通話履歴画面が表示されます。[着信]、[発信]をタップするとそれぞれの履歴を表示します。

- 履歴を1件削除する場合は、削除したい履歴をロングタッチ▶[通話履歴から削除]▶[OK]をタップします。
  履歴を全件削除する場合は、通話履歴画面▶ ≡ ▶[全件削除]▶[OK]をタップします。

通話履歴画面

❶ 名前や電話番号
タップして電話発信やメッセージ（SMS）の送信、連絡先の詳細表示／追加などができます。

❷ To➡：発信履歴
From⬅：着信履歴
✖⬅：不在着信履歴

❸ ：通知あり発信（[発信者番号通知]（☞P.110）を[通知する]に設定、または「186」を付加した発信）
：通知なし発信（[発信者番号通知]（☞P.110）を[通知しない]に設定、または「184」を付加した発信）
：国際電話発着信

❹ タップして電話を発信

❺ タップして電話帳アプリを起動

伝言メモ

伝言メモを設定しておくと、留守番電話サービスを契約されていなくても、電話に出られないときに応答メッセージを再生し、相手の用件を録音できます。1件につき約60秒間で20件まで録音できます。

1 ホーム画面▶[電話]

2 ≡▶[通話設定]▶[伝言メモ]▶以下の操作を行う

伝言メモリスト	伝言メモの再生・削除などができます。
伝言メモ設定	伝言メモを設定します。
応答メッセージ設定	応答メッセージを選択します。
応答時間設定	伝言メモで応答する時間を設定します。

お知らせ

- 留守番電話サービス・転送でんわサービスを同時に設定している場合は、呼び出し時間の短い設定が優先されます。

通話設定

1 ホーム画面▶[電話]

2 [≡]▶[通話設定]▶以下の操作を行う

伝言メモ		☞P.115
通話品質設定※1	しっかりトーク	周囲の騒音を感知し、相手の声を聞きとりやすくします。
	ゆったりトーク	相手の声の速度をゆっくりにします。
	トークイコライザ	好みの音質を選択します。
	ナチュラルトーク	相手の声をより自然な音声にします。
	ノイズキャンセラ	周囲の雑音を抑え、自分の声が相手にクリアに聞こえるようにします。
ネットワークサービス	声の宅配便	音声メッセージを相手に届けます。
	留守番電話サービス	電波の届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、電話をかけてきた相手の伝言メッセージをお預かりします。
	転送でんわサービス	電波の届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、電話を転送します。
	キャッチホン	通話中に別の電話がかかってきたときに、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができます。また、通話中の電話を保留にして、別の相手へ電話をかけることもできます。
	発信者番号通知	電話をかけたとき、自分の電話番号を相手の電話機に表示させることができます。 ● 電話番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際にはご注意ください。
	迷惑電話ストップサービス	いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように登録できます。

ネットワークサービス	**番号通知お願いサービス**	電話番号が通知されない電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答します。
	通話中着信設定	通話中にかかってきた電話に対して、ネットワークサービスで事前に設定しておいた方法で対応します。
	着信通知	電源が入っていないときや圏外にいたとき、通話中に着信があった場合、着信の情報をメッセージ（SMS）でお知らせします。 [全着信]：すべての着信を通知します。 [発番号あり]：番号を通知している着信のみ通知します。
	英語ガイダンス	各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定できます。
	遠隔操作設定	留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。
	公共モード（電源OFF）設定	電源を切っている場合や機内モード設定中の場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。
海外設定		☞P.281
通話詳細設定	**サブアドレス設定**	電話番号の「*」以降をサブアドレスとして認識し、特定の電話機やデータ端末を呼び出します。 • サブアドレスとは、1つのISDN回線に接続された複数のISDN端末を呼び分けるために付けられた番号です。

通話詳細設定	プレフィックス設定	電話番号の先頭に付くプレフィックス番号を登録し、電話をかけるときに付加します。 ▶ ≡ ▶[追加]▶名称と番号を入力▶[OK] • 電話をかけるときにプレフィックス番号を付加するには、≡ ▶[プレフィックス選択]▶プレフィックスを選択します。
	着信拒否	電話帳に登録していない電話番号、指定した電話番号、非通知／通知不可の電話番号、公衆電話からの着信を拒否できます。
音・バイブレーション設定	着信音	電話着信音を設定します。
	着信バイブレーション	着信音が鳴るときにバイブレーションを動作させるかどうかを設定します。 • Gmail を受信した際のバイブレーション動作はGmail アプリの設定に従います。
	ダイヤルパッド操作音	電話のダイヤルパッド操作音のON／OFFを設定します。
応答拒否SMS		応答拒否SMSを編集します。
オープンソースライセンス		オープンソースライセンスを確認できます。
アカウント		[アカウントを追加]をタップして、インターネット通話を行うためのSIPアカウントを設定します。また、インターネット通話で着信を受けたい場合は、[着信を許可]にチェックを付けます。
インターネット通話を使用		インターネット通話を利用して電話をかけるかどうかを設定します。

※1 イヤホンやBluetooth機器接続時はご利用になれません。また、ご利用環境や通話相手の話しかたにより効果に差が生じる場合があります。

起動画面に設定

電話を起動した時の画面を発着信履歴・お気に入り・ダイヤルのいずれかに設定できます。

1. **ホーム画面▶[電話]**
2. **任意のタブを選択**
3. **[≡]▶[起動画面に設定]**

お知らせ

- ご使用のホームアプリによって、起動画面の設定が反映されない場合があります。

電話帳

- クラウドの利用には、ドコモ電話帳アプリが必要となり、クラウドの利用開始を行う必要があります。
- 電話帳について詳しくは、電話帳のヘルプをご覧ください（☞P.123）。

電話帳に登録する

電話帳には名前や電話番号、メールアドレスなどを登録できます。

1 ホーム画面▶[電話帳]

- 「クラウドの利用について」の画面が表示されます。

2 [登録]

- [登録]が表示されていない場合は、[連絡先]タブをタップします。
- 複数のアカウントがある場合は、登録するアカウントを選択します。

3 必要な項目を入力

- 画像の[設定]をタップすると、画像を登録できます。
- [追加]／[削除]をタップすると、入力欄の追加／削除ができます。

4 [登録完了]

- 連絡先が表示されない場合は、[表示するアカウント]（☞P.123）の設定を変更します。

お知らせ

- 登録した連絡先のバックアップ、復元については☞P.197

連絡先をお気に入りに追加する

ドコモアカウントやGoogle アカウントなどの連絡先をお気に入りに追加できます。

1 ホーム画面▶[電話帳]

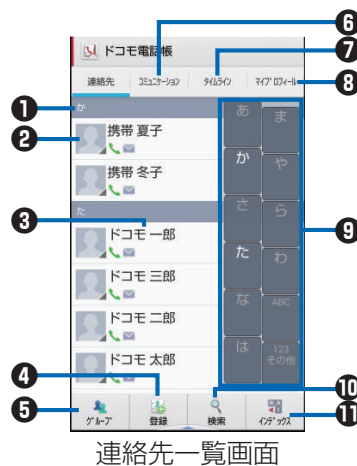
2 追加したい連絡先をタップ▶ ☆ （グレー）

☆ が黄色に変わり、追加した連絡先が[電話]の[お気に入り]タブの一覧に表示されます。

連絡先を確認する

1 ホーム画面▶[電話帳]

連絡先一覧画面が表示されます。

連絡先一覧画面

❶ インデックスバー

❷ タップして電話発信やメッセージ（SMS）の送信などができます。

❸ 名前
タップして連絡先の詳細を確認できます。連絡先の詳細を表示中に、[編集]をタップして連絡先を編集できます。

❹ タップして連絡先を登録します（☞P.120）。

❺ タップしてグループを選択し、グループごとの連絡先を表示します（☞P.125）。

❻ 発着信、SMSの送受信※1、spモードメール※1、SNSのメッセージの送受信履歴※2が表示されます。
※1 [コミュニケーション]タブ▶ ≡ ▶[取得設定]をタップして、SMSとspモードメールの取得を設定する必要があります。
※2 クラウドを利用開始の上、「マイSNS」機能を利用している場合のみ表示されます。マイプロフィールでSNS連携機能の設定をしておく必要があります（☞P.126）。

❼「フレンドNEWS」機能、および「マイSNS」機能によるSNS・ブログのタイムラインが表示されます。
※ 表示するためにはクラウドを利用開始している必要があります。

❽ タップしてマイプロフィールを表示します（☞P.126）。

❾ インデックス

❿ タップして検索欄にキーワードを入力し、連絡先を絞り込みます。

⓫ タップするとインデックスが表示されます。インデックスをタップすると、タップした文字のインデックスバーが先頭に表示されます。

連絡先一覧画面のメニュー

1 **連絡先一覧画面▶ ≡ ▶以下の操作を行う**

削除		連絡先を削除します。
全体設定	ドコモ電話帳の海外利用設定	通信が発生する機能を海外でも利用するかどうかを設定します。
	Wi-Fi利用設定	Wi-Fi経由でドコモサービスを利用するための設定を行います。
クラウドメニュー		クラウドメニューを表示します。
インフォメーション		iコンシェルのお知らせなどを表示します。
電話帳変更お知らせ一覧		メールアドレスなどを変更した相手からのお知らせを一覧で表示します。
ヘルプ		電話帳のヘルプを表示します。
その他	インポート／エクスポート	☞P.124
	お預かりセンターと同期	連絡先をバックアップセンターにバックアップします。
	赤外線送信	赤外線通信で連絡先を送信します。
	連絡先の表示順	表示順を変更します。
	表示するアカウント	ドコモアカウント／Google アカウントそれぞれの連絡先のみを表示したり、[カスタマイズ...]をタップして特定アカウントのグループに含まれる連絡先の表示／非表示を設定します。
	アプリケーション情報	電話帳アプリのバージョンなどを表示します。
	オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを確認できます。

連絡先をインポート／エクスポートする

ドコモminiUIMカードやmicroSDカードと本端末の間で連絡先をインポート／エクスポートできます。

- Bluetooth通信やメールでエクスポートする場合は、[表示可能な電話帳を共有]をタップしてアプリを選択します。

■連絡先をインポートする

1 連絡先一覧画面▶ ≡ ▶[その他]▶[インポート／エクスポート]

2 [SIMカードからインポート]／[SDカードからインポート]▶アカウントを選択

- [SDカードからインポート]をタップした場合に、インポートできる電話帳のデータがmicroSDカードに1件しか保存されていないときは、手順3の操作は不要です。

3 ドコモminiUIMカードからインポートする場合
インポートしたい連絡先をタップ

連絡先が1件インポートされます。

- 全件インポートするには、 ≡ ▶[すべてインポート]をタップします。

microSDカードからインポートする場合
[電話帳を1つインポート]／[複数の電話帳をインポート]▶[OK]▶インポートしたい連絡先を選択▶[OK]

- 全件インポートするには、[すべての電話帳をインポート]▶[OK]をタップします。

■連絡先をエクスポートする

1 連絡先一覧画面▶[≡]▶[その他]▶[インポート／エクスポート]

2 microSDカードにエクスポートする場合
[SDカードにエクスポート]▶[1つの連絡先をエクスポート]／[複数の連絡先をエクスポート]▶[OK]▶エクスポートしたい連絡先を選択▶[OK]▶[有り]／[無し]▶[OK]

- 全件エクスポートするには、[SDカードにエクスポート]▶[すべての連絡先をエクスポート]▶[OK]▶[有り]／[無し]▶[OK]をタップします。

表示可能な連絡先をエクスポートする場合
[表示可能な電話帳を共有]▶利用したいアプリを選択▶画面に従って操作する

グループに登録する

- グループ機能は、ドコモアカウント／Google アカウントで作成された連絡先に対してご利用になれます。

1 連絡先一覧画面▶[グループ]

グループ一覧が表示されます。
- グループを新規作成する場合は、一番下に表示される[追加]をタップします。
- グループの表示を終了する場合は[閉じる]をタップします。

2 連絡先をロングタッチ▶グループにドラッグ&ドロップ

- ドコモアカウント／Google アカウントの連絡先は、それぞれのアカウントのグループにのみ登録できます。
- グループから連絡先を削除する場合は、削除したい連絡先を登録済みのグループにドラッグ&ドロップします。

マイプロフィール

お客様の電話番号や名刺作成アプリで作成した名刺を確認できます。また、お客様ご自身の情報を入力、編集できます。

1 ホーム画面▶[電話帳]

2 [マイプロフィール]タブ

マイプロフィール画面が表示されます。

- [通知設定]をタップすると、マイプロフィールを友達などに通知できます。
- [新規作成]／[名刺編集]／[名刺削除]をタップすると、名刺を作成／編集／削除できます。名刺作成アプリをインストールしていない場合は、[新規作成]をタップするとアプリのダウンロード画面が表示されます。
- [この名刺を交換する]をタップすると、近い場所にいる人とネットワーク経由で名刺交換ができます。

3 [編集]▶必要な項目を入力

- マイSNSを利用する場合は[SNS・ブログ]欄の[設定]をタップして、SNSやブログのアカウント情報を登録します。

4 [登録完了]

マイプロフィール画面のメニュー

1 マイプロフィール画面▶ ≡ ▶以下の操作を行う

名刺交換設定	名刺交換機能を利用するかどうかを設定します。
赤外線送信	赤外線通信でマイプロフィールや名刺を送信します。
共有	マイプロフィールをメールやBluetooth通信で送信します。
名刺読み込み	名刺作成アプリを起動し、作成した名刺をマイプロフィールの名刺として登録します。
名刺交換履歴	名刺の送受信履歴を表示します。

メール／ウェブブラウザ

spモードメール

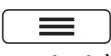
ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。

- spモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

1 ホーム画面▶[メール]

2 画面に従って「spモードメール」アプリをダウンロードする

メッセージ（SMS）

携帯電話番号を宛先にして、全角最大70文字（半角英数字のみの場合は、最大160文字）の文字メッセージを送受信できます。

メッセージ（SMS）を作成して送信する

1 ホーム画面▶[アプリ]▶[メッセージ]

メッセージ一覧画面が表示されます。

2 **▶[To]欄▶送信先の携帯電話番号を入力**

3 [メッセージを入力]欄▶メッセージを入力

- [≡]をタップして、Android 搭載の端末で表示することができる絵文字を挿入できます。
- メッセージ（SMS）を下書き保存する場合は、宛先とメッセージを入力して、[⇦]をタップし、メッセージ一覧画面に戻ります。

4 ➢

お知らせ

- 海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。利用可能な国・海外通信事業者については『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「＋」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。

メッセージ（SMS）を受信して読む

メッセージ（SMS）を受信すると、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。通知パネルを開いて通知をタップしても、新着メッセージ（SMS）を確認できます。

1 メッセージ一覧画面▶読みたいスレッドをタップ

メッセージ（SMS）に返信する

1 メッセージ一覧画面▶返信したいスレッドをタップ

2 メッセージを入力▶

メッセージ（SMS）を転送する

1 メッセージ一覧画面▶転送したいスレッドをタップ

2 転送したいメッセージ（SMS）をロングタッチ▶[転送]

3 [To]欄に転送先の携帯電話番号を入力▶

メッセージ（SMS）を削除する

1 メッセージ一覧画面

2 **メッセージ（SMS）を1件削除する場合**
削除したいスレッドをタップ▶削除したいメッセージ（SMS）をロングタッチ▶[削除]
スレッドを1件削除する場合
削除したいスレッドをタップ▶ ≡ ▶[スレッドを削除]
スレッドを複数選択して削除する場合
削除したいスレッドの1つをロングタッチ▶スレッドをタップ▶
スレッドを全件削除する場合
≡ ▶[すべてのスレッドを削除]

3 [削除]

メッセージ（SMS）のオプション設定

1 メッセージ一覧画面▶ ≡ ▶[設定]

- メッセージ（SMS）の自動削除に関する設定や、通知設定などができます。

Eメール

mopera Uや一般のプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、Eメールを利用できます。

- あらかじめアクセスポイント（☞P.83）、メールアカウント（☞P.84）を設定してください。

Eメールを作成して送信する

1 ホーム画面▶[アプリ]▶[メール]

Eメール一覧画面が表示されます。

- 複数のメールアカウントがある場合は、画面上部のメールアカウントをタップして送信するメールアカウントを切り替えます。
- 統合ビューが表示されている場合は、Eメールアカウントのオプション設定（☞P.133）で[優先アカウントにする]にチェックの付いている優先アカウントから送信されます。

2 ✉+

3 [To]欄▶メールアドレスを入力

- CcやBccを追加する場合は、≡▶[Cc／Bccを追加]をタップします。

4 [件名]欄▶件名を入力

5 [メールを作成します]欄▶メッセージを入力

- ファイルを添付する場合は、≡▶[ファイルを添付]▶ファイルを選択します。

6 ➤

お知らせ

- Eメールはパソコンからのメールとして扱われます。受信する端末側でパソコンからのメール受信拒否を設定していると、Eメールを送信できません。

Eメールを受信して読む

1 Eメール一覧画面▶受信トレイを更新するには

- 複数のメールアカウントがある場合は、画面上部のメールアカウントをタップして表示するメールアカウントを切り替えます。
- [統合ビュー]をタップすると、すべてのメールアカウントのEメールが混在した受信トレイが表示されます。各メールアカウントはEメールの右側にあるカラーバーで区別されます。

2 読みたいEメールをタップ

Eメールに返信する

1 Eメール一覧画面▶返信したいEメールをタップ

2 1件の宛先に返信する場合

全員に返信する場合

▶[全員に返信]

3 [メールを作成します]欄にメッセージを入力▶

Eメールを転送する

1 Eメール一覧画面▶転送したいEメールをタップ▶

▶[転送]

2 [To]欄に転送先のメールアドレスを入力▶

Eメールを削除する

1 Eメール一覧画面

2 1件削除する場合
削除したいEメールをタップ
複数選択して削除する場合
削除したいEメールにチェックを付ける、またはEメールをロングタッチ

3

フォルダの表示を切り替える

1 Eメール一覧画面▶

2 表示したいフォルダをタップ

Eメールアカウントのオプション設定

1 Eメール一覧画面▶ ▶[設定]

- Eメール全般の設定やアカウントごとの設定などができます。

Gmail

Google のオンラインEメールサービスです。本端末のGmail を使用して、Eメールの送受信ができます。

- あらかじめGoogle アカウント（☞P.82）を設定してください。

Gmail を更新する

1 ホーム画面▶[アプリ]▶[Gmail]

受信トレイが表示されます。

2

端末のGmail アプリとGmail アカウントを同期させて、受信トレイを更新します。

メールを作成して送信する

1 受信トレイ▶

2 [To]欄▶メールアドレスを入力

- CcやBccを追加する場合は、▶[Cc／Bccを追加]をタップします。

3 [件名]欄▶件名を入力

4 [メールを作成]欄▶メッセージを入力

- ファイルを添付する場合は、▶[画像を添付]／[動画を添付]▶ファイルを選択します。

5

新着メールを表示する

1 受信トレイ▶未読メールがあるスレッドをタップ

- ステータスバーに通知アイコンが表示されている場合は、通知パネルを開いて通知をタップしても、新着メールを表示できます。

メールを検索する

1 受信トレイ▶

2 キーワードを入力▶

- 表示されるアイコンは入力方法によって異なります。

メールに返信する

1 返信したいメールを表示

2 1件の宛先に返信する場合

全員に返信する場合
▶[全員に返信]

3 [メールを作成]欄▶メッセージを入力

4

メールを転送する

1 転送したいメールを表示▶▶[転送]

2 [To]欄▶メールアドレスを入力▶

メッセージスレッドの操作

1 受信トレイ▶操作したいスレッドにチェックを付ける、またはスレッドをロングタッチ

：スレッドをアーカイブ（保管）します。アーカイブされたスレッドは受信トレイに表示されません。
：スレッドを削除します。
：スレッドのラベルを追加／変更します。メールを分類するのに便利です。
／：スレッドを未読／既読にします。
★／☆：スレッドにスターを付ける、またはスターを外します。
：その他の操作を行います。[重要マークを付ける]／[重要マークを外す]をタップすると重要マークを付け外しできます。[ミュート]をタップするとスレッドを非表示にします。[迷惑メールを報告]／[フィッシングを報告]をタップすると受信したメールをスパムとして報告します。

お知らせ

- アーカイブしたスレッドを表示するには、受信トレイ▶▶[すべてのメール]をタップします。
- ミュートしたスレッドを表示するには、受信トレイ▶▶[すべてのメール]をタップします。スレッドのラベルを[受信トレイ]にするとミュートが解除されます。

Gmail のオプション設定

1 受信トレイ▶≡▶[設定]

- Gmail 全般の設定やアカウントごとの設定などができます。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- spモードを契約しなくても、エリアメールの受信ができます。
- 最大50件保存できます。
- 下記のような場合は受信できません。※1
  - ・国際ローミング中
  - ・通話中
  - ・機内モード中
  - ・電源を入れたあとに表示されるPINコード入力画面表示中
  - ・圏外のとき
  - ・電源OFFのとき
- 下記のような場合は受信できないことがあります。※1※2
  - ・データ通信中
  - ・ソフトウェア更新中
  - ・Android バージョンアップ中
  - ・USB接続で通信中
  - ・本端末のメモリ容量が少ないとき

※1 受信できなかったメッセージを再度受信することはできません。

※2 受信できた場合でも、内容は自動表示されません。

緊急速報「エリアメール」受信

エリアメールを受信すると、エリアメール専用ブザー音または専用着信音とバイブレーションでお知らせします。また、内容が自動的に表示されます。

- 専用ブザー音または専用着信音の音量、バイブレーションは固定されており変更できません。
- お買い上げ時は、マナーモード中でも専用ブザー音または専用着信音が鳴ります。鳴らないように設定できます（☞P.138）。

受信したエリアメールを読む

1 **ホーム画面▶[アプリ]▶[災害用キット]**

初回起動時はアプリ使用許諾規約を読み、[同意して利用する]をタップします。

2 **[緊急速報「エリアメール」]**

受信エリアメール一覧画面が表示されます。

3 **読みたいエリアメールをタップ**

- 削除したいエリアメールにチェックを付けて[削除]をタップすると、エリアメールを削除できます。

緊急速報「エリアメール」設定

エリアメールを受信するかどうかや、受信時の動作などを設定します。

1 **受信エリアメール一覧画面▶ [≡] ▶[設定]▶以下の操作を行う**

受信設定		エリアメールを利用するかどうかを設定します。
着信音		マナーモード中にエリアメールを受信したとき、専用ブザー音または専用着信音を鳴らすかどうかや専用ブザー音または専用着信音が鳴る時間を設定します。
受信画面および着信音確認		緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報のエリアメールを受信したときの画面表示や着信音を確認できます。
その他の設定	**受信登録**	緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報の他に受信したいエリアメールの登録／削除を行います。

Google トーク

Google のオンラインインスタントメッセージサービスです。本端末のGoogle トークを使用して、メンバーとチャットを楽しむことができます。

- あらかじめGoogle アカウント（☞P.82）を設定してください。
- 利用方法などの詳細については、Google のホームページまたはヘルプをご参照ください。

オンラインチャット

新しいメンバーを追加する

1 ホーム画面▶[アプリ]▶[トーク]

友だちリストが表示されます。

- アカウントを選択する画面が表示された場合は、利用するアカウントをタップします。

2

3 追加したいメンバーのメールアドレスを入力▶[完了]

招待に応じる

1 友だちリスト▶[チャットへの招待]▶[承諾]

オンラインステータスを設定する

1 友だちリスト▶自分のアカウントをタップ

2 [オンライン]をタップして[オンライン]／[取り込み中]／[非表示]からオンラインステータスを選択

- 必要に応じて[ステータスメッセージ]欄にステータスメッセージを入力します。入力したステータスメッセージは、次回オンラインステータスを選択するとき、最近使用したステータスとして表示されます。

3

チャットを開始する

1 **友だちリスト▶チャットしたい友だちの名前をタップ**

チャット画面が表示されます。

- 2人以上の相手とチャットしているときは、左右にフリックしてチャットの相手を切り替えることができます。

2 **[メッセージを入力]欄にメッセージを入力**

3 ➤

チャットをオフレコにする

- チャットのメッセージはGmail の[チャット]ラベルに保存されますが、オフレコにすると保存されません。

1 **チャット画面▶ ≡ ▶[オフレコにする]**

以降のメッセージがオフレコになります。

チャットを終了する

1 **チャット画面▶ ≡ ▶[チャット終了]**

メンバーを管理する

友だちリストのメンバーは、オンラインステータス別（オンライン、取り込み中、オフライン）に表示されます。
設定によっては、Eメールやチャットの履歴が多いメンバーのみが優先的に表示されている場合があります。登録しているすべてのメンバーを表示するには、友だちリストで［≡］▶[表示オプション]▶[名前]をタップします。

1 友だちリスト▶メンバーの名前をタップ▶［≡］▶[ユーザー情報]

メンバーの情報が表示されます。

- [ブロック]／[削除]をタップすると、メンバーをブロック／削除できます。
- メンバーのブロックを解除するには、友だちリスト▶［≡］▶[設定]▶アカウントをタップ▶[ブロック中の友だち]▶解除したいメンバーをタップ▶[OK]をタップします。

Google トークのオプション設定

1 友だちリスト▶［≡］▶[設定]▶アカウントをタップ

- Google トーク全般の設定や、チャットの通知などの設定ができます。

ログアウトする

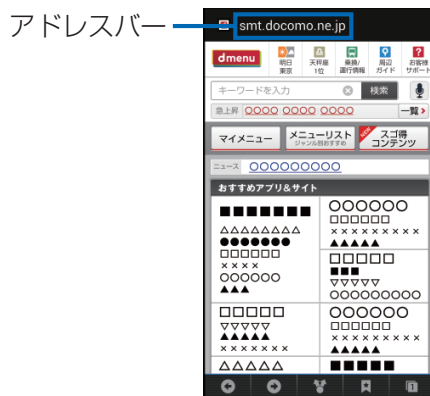
1 友だちリスト▶［≡］▶[ログアウト]

ウェブブラウザ

ウェブブラウザを利用して、パソコンと同じようにウェブページを閲覧することができます。
本端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続でウェブブラウザを利用できます。

ウェブブラウザを起動する

1 ホーム画面▶[ブラウザ]

ホームページが表示されます。

2 アドレスバーにURLまたはキーワードを入力

- アドレスバーをタップしてからをタップすると、音声検索ができます。

3 [実行]

- 表示されるアイコンは入力方法によって異なります。
- 候補リストから表示したいウェブページを選択しても検索できます。
- をタップすると直前のウェブページに戻ります。

ウェブページ表示中の画面操作

<table>
<tr><th colspan="2">操作</th><th>説明</th></tr>
<tr><td colspan="2">縦表示／横表示</td><td>☞P.59</td></tr>
<tr><td rowspan="2">拡大／縮小</td><td>ピンチアウト／ピンチイン</td><td>☞P.57</td></tr>
<tr><td>ダブルタップ</td><td>☞P.56</td></tr>
<tr><td colspan="2">スクロール</td><td>☞P.57</td></tr>
<tr><td colspan="2">テキスト選択コピー</td><td>画面のリンクが貼られていない場所をロングタッチ▶スライダーを上下左右にドラッグして、コピーしたいテキスト範囲を選択▶</td></tr>
</table>

ウェブページのリンク操作

1 ウェブページ表示中▶リンクをロングタッチ▶以下の操作を行う

開く	ウェブページを開きます。
新しいタブで開く	ウェブページを新しいタブで開きます。
リンクを保存	ウェブページを保存します。 • 保存したリンクは、ホーム画面▶[本体設定]▶[ストレージ]▶[ダウンロード]をタップすると確認できます。
URLをコピー	URLをコピーします。
テキストを選択してコピー※1	テキストをコピーします。
画像を保存※2	画像を保存します。
画像を表示※2	画像を表示します。
壁紙として設定※2	画像をホーム画面の壁紙に設定します。
リンクを共有※2	画像を共有します。

※1 リンクがテキストなどの場合に表示されます。

※2 リンクが画像などの場合に表示されます。

タブを操作する

1 ウェブページ表示中▶[タブ]

タブ一覧画面が表示されます。

■新しいタブを開く

1 タブ一覧画面▶[＋]

新しいタブが開きます。

- [★]をタップすると、ブックマークなどの管理ができます（☞P.146）。

■タブを閉じる

1 タブ一覧画面▶[×]

- タブを左右にフリックしても閉じることができます。

シークレットタブを開く

シークレットタブではブラウザの履歴や検索履歴を残さずに閲覧できます。

1 ウェブページ表示中▶[タブ]▶[メニュー]▶[新しいシークレットタブ]

シークレットタブが開き、シークレットタブの説明が表示されます。

2 P.142手順2の操作を行いウェブページを表示する

お知らせ

- シークレットタブには[シークレット]が表示されます。
- シークレットタブを閉じるとCookieなどの記録が消去されます。ただし、ダウンロードしたファイルやブックマークしたウェブページは保存されます。

ウェブページ表示中のメニュー

1 ウェブページ表示中▶［≡］▶以下の操作を行う

再読み込み／停止	ウェブページを再読み込みします／ウェブページの読み込みを停止します。
進む	［↩］をタップしてウェブページを表示中の場合、直前のウェブページに進みます。 • ウェブページ表示中に［→］をタップしても操作できます。
ブックマーク	ブックマーク一覧を表示します。 • ウェブページ表示中に［★］をタップしても操作できます。
ブックマークに追加	☞P.146
印刷	☞P.264
ページを共有	ウェブページのURLをBluetooth通信やメールなどで送信します。 • ウェブページ表示中に［共有］をタップしても操作できます。
ページ内を検索	ウェブページ内のテキストを検索します。
PC用サイトを表示	チェックを付けると、パソコン向けのウェブページを表示します。
画面メモ	表示中のウェブページを保存します（☞P.147）。
設定	ウェブページ全般の設定やプライバシーとセキュリティの設定などができます。

ブックマーク／履歴／画面メモを管理する

ブックマークを追加する

1 追加したいウェブページを表示▶ ▶[ブックマークに追加]

2 ラベルなどの項目を確認／変更▶[OK]

ブックマークを編集する

1 ウェブページ表示中▶ ▶[ブックマーク]▶編集したいブックマークをロングタッチ▶[編集]

2 変更する項目を入力▶[OK]

ブックマークを削除する

1 ウェブページ表示中▶ ▶[ブックマーク]

2 削除したいブックマークをロングタッチ▶[削除]▶[OK]

履歴からウェブページを表示する

1 ウェブページ表示中▶ ▶[ブックマーク]▶[履歴]タブ

- 履歴のをタップすると、ブックマークに追加できます。

2 表示したいウェブページをタップ

履歴を削除する

1 ウェブページ表示中▶ ≡

2 1件削除する場合
[ブックマーク]▶[履歴]タブ▶削除したい履歴をロングタッチ▶[履歴から消去]
全件削除する場合
[設定]▶[プライバシーとセキュリティ]▶[履歴消去]▶[OK]

- 履歴を消去すると、[よく使用]の履歴も消去されます。

画面メモを表示する

1 ウェブページ表示中▶ ≡ ▶[ブックマーク]▶[画面メモ]タブ

2 表示したいウェブページをタップ

- 画面メモの内容を最新の状態にするには、≡ ▶[最新ページを表示]をタップします。

画面メモを削除する

1 ウェブページ表示中▶ ≡ ▶[ブックマーク]▶[画面メモ]タブ

2 削除したいウェブページをロングタッチ▶[削除]

アプリ

dメニュー

dメニューでは、ドコモのお勧めするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。

1. **ホーム画面▶[アプリ]▶[dメニュー]**

   ブラウザが起動し、dメニューが表示されます。

お知らせ

- dメニューのご利用には、パケット通信 (LTE/3G/GPRS)もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリには、一部有料のアプリが含まれます。

dマーケット

dマーケットでは、自分に合った便利で楽しいコンテンツを手に入れることができます。

1 ホーム画面▶[アプリ]▶[dマーケット]

- dマーケットの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

Google Play ストア

Google Play ストアで便利なアプリや楽しいゲームを検索して、本端末にインストールすることができます。

- あらかじめGoogle アカウント（☞P.82）を設定してください。

1 ホーム画面▶[アプリ]▶[Playストア]

2 アプリを検索してインストール

- 多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリをインストールするときは、特にご注意ください。アプリをインストールすると、アプリの使用に関する責任を負うことになります。
- 有料アプリの支払いにはGoogle ウォレットを利用できます。アプリのダウンロード後、規定の時間以内であれば、返品して全額払い戻しを受けることができます（各アプリにつき1回のみ）。アプリ購入時の支払い方法や返金要求の規定などについて詳しくは、Google Play の画面で[≡]▶[ヘルプ]をご覧ください。
- Google Play の画面で[≡]▶[マイアプリ]をタップすると、インストール済みのアプリが表示されます。アプリをタップして、起動したりアンインストールしたりできます。

お知らせ

- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染やデータの破壊などが起きる場合があります。また、音量が変わる場合がありますのでご注意ください。
- 万が一、お客様がインストールしたアプリなどにより動作不良が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。この場合、保証期間内であっても有料修理となります。
- お客様がインストールしたアプリなどにより、お客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- アプリによってはインターネットに接続し、自動で通信を行うものがあります。パケット通信料金が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- Google Play ストアからのアプリの購入および返金などについては、当社では一切対応できかねますのであらかじめご了承ください。

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券などとして使える「おサイフケータイ対応サービス」や、家電やスマートポスターなどにかざして情報にアクセスできる「かざしてリンク対応サービス」がご利用いただける機能です。
電子マネーやポイントのバリューをICカード内、またはドコモminiUIMカード内に保存することができます。
さらに、ネットワークを使って電子マネーの入金や残高、ポイントの確認などができます。また、紛失時の対策として、おサイフケータイの機能をロックすることができるので、安心してご利用いただけます。
おサイフケータイの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

※ おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。

- 本端末の故障により、ICカード内データ※1およびドコモminiUIMカード内データ※2が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、iCお引っこしサービスによる移し替えを除き、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データおよびドコモminiUIMカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- 端末の盗難・紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。
- 充電中は、iC通信によるデータ送信はできません。
- 電池パックを付け外ししたあとや、電池が切れたあとにおサイフケータイを利用するには、一度電源を入れるか電池を充電する必要があります。

※1 おサイフケータイ対応端末に搭載されたICカードに保存されたデータ（電子マネーやポイントのバリューを含む）

※2 ドコモminiUIMカードに保存されたデータ（電子マネーやポイントのバリューを含み、電話帳データおよびSMSデータを除く）

iCお引っこしサービス

iCお引っこしサービスは、機種変更や故障修理時など、おサイフケータイをお取り替えになる際、おサイフケータイのICカード内データを一括でお取り替え先のおサイフケータイに移し替えることができるサービスです。なお、ドコモminiUIMカード内データはiCお引っこしサービスをご利用後も、そのままドコモminiUIMカード内に残ります。
iCお引っこしサービスはお近くのドコモショップなどでご利用いただけます。
iCお引っこしサービスの詳細については『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

おサイフケータイ対応サービスを利用する

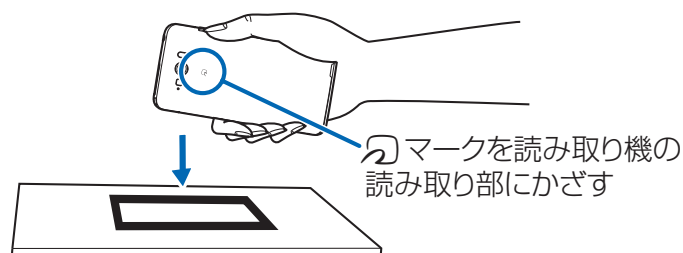
おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ対応サイトよりおサイフケータイ対応のアプリをダウンロード後、設定を行ってください。なお、サービスによりおサイフケータイ対応のアプリのダウンロードが不要なものもあります。

1 ホーム画面▶[ツール]▶[おサイフケータイ]

- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 利用したいサービスをタップ

- サービスのサイト、またはサービスに対応したアプリをダウンロードしてから設定してください。

3 端末の マークを読み取り機にかざす

お知らせ

- 次の場合は、おサイフケータイ対応サービスを利用できません。ただし、読み取り機に本端末をかざしてのお支払いは利用できます。
  ・機内モード中
  ・充電中、またはmicroUSB接続ケーブル（別売）接続中、またはイヤホンマイク接続中で、ドコモminiUIMカードが挿入されていない場合／一度も電波を受信していない場合
- おサイフケータイ対応サービスは、ドコモminiUIMカードのPINコードの解除ができない場合またはPINコードがロックされた状態となった場合においても利用できます。
- spモードをご契約されていない場合は、おサイフケータイ対応サービスの一部機能がご利用できなくなる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

かざしてリンク対応サービスを利用する

1 **ホーム画面▶[本体設定]▶[NFC／おサイフケータイ設定]**

2 **[Reader／Writer, P2P]にチェックを付ける**

3 **NFCモジュールが内蔵された機器、またはスマートポスターなどに マークをかざす**

- Android ビームを利用した端末どうしの情報交換もできます（☞P.259）。

対向機にかざす際の注意事項

- 読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは次のことに注意してください。
  ・ マークを対向機にかざす際に、強くぶつけないように注意してください。
  ・ マークは対向機の中心に平行になるようにかざしてください。
  ・ マークを対向機にかざす際はゆっくりと近づけてください。
  ・ マークを対向機の中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
  ・ マークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますので注意してください。

NFC／おサイフケータイ ロックを設定する

「NFC／おサイフケータイ ロック」を利用すると、おサイフケータイの機能やサービスの利用を制限できます。

- NFC／おサイフケータイのロックは、本端末の画面ロック、SIMカードロックとは異なります。
- NFC／おサイフケータイ ロックを解除するには、同様の操作を行います。

1 **ホーム画面▶[ツール]▶[おサイフケータイ]**

2 **[ロック設定]▶[NFC／おサイフケータイ ロック]**

3 **NFC／おサイフケータイ ロックパスワードを入力▶[OK]**

- NFC／おサイフケータイ ロックパスワードが未設定の場合はロックパスワードを設定してください。

お知らせ

- NFC／おサイフケータイ ロック設定中は、ステータスバーにまたはが表示されます。
- NFC／おサイフケータイ ロック設定中に電池が切れると、NFC／おサイフケータイ ロックが解除できなくなります。電池残量にご注意ください。電池が切れた場合は、充電後にNFC／おサイフケータイ ロックを解除してください。
- NFC／おサイフケータイ ロック設定中におサイフケータイのメニューをご利用になるには、NFC／おサイフケータイ ロックを解除してください。
- NFC／おサイフケータイ ロック解除時には、NFC／おサイフケータイ ロックの設定を行った際の端末に挿入されていたドコモminiUIMカードを挿入した状態で解除を行ってください。

トルカ

トルカとは、ケータイに取り込むことができる電子カードです。店舗情報やクーポン券などとして、読み取り機やサイトから取得できます。取得したトルカは「トルカ」アプリに保存され、「トルカ」アプリを利用して表示、検索、更新ができます。
トルカの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

- 初回起動時はソフトウェア利用許諾契約書を読み、[同意する]をタップします。

お知らせ

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- ｉモード端末向けに提供されているトルカは、取得・表示・更新できない場合があります。
- IP（情報サービス提供者）の設定によっては、以下の機能がご利用になれない場合があります。
  読み取り機からの取得／更新／トルカの共有／microSDカードへの移動、コピー／地図表示
- IPの設定によって、トルカ（詳細）からの地図表示ができるトルカでもトルカ一覧からの地図表示ができない場合があります。
- NFC／おサイフケータイ ロック設定中は、読み取り機からトルカを取得できません。
- [重複チェック]にチェックを付けている場合、同じトルカを重複して取得することができません。同じトルカを重複して取得したい場合は、チェックを外してください。
- メールを利用してトルカを送信する際は、トルカ（詳細）取得前の状態で送信されます。
- ご利用のメールアプリによっては、メールで受信したトルカを保存できない場合があります。
- ご利用のブラウザによっては、トルカを取得できない場合があります。
- トルカをmicroSDカードに移動、コピーする際は、トルカ（詳細）取得前の状態で移動、コピーされます。
- おサイフケータイの初期設定を行っていない状態では、読み取り機からトルカを取得できない場合があります。

モバキャス

モバキャスは、スマートフォン向けの放送サービスです。番組をリアルタイムに視聴できる「リアルタイム」（リアルタイム型放送）、映画やドラマだけでなく、マンガ・小説・音楽・ゲームなどをいつでもどこでも楽しむことができる「シフトタイム」（蓄積型放送）の2つの視聴スタイルが楽しめます。また、端末の通信機能を利用したソーシャルサービスとの連携など、今までにない放送サービスを楽しめます。
モバキャスの詳細については、モバキャス放送局（NOTTV）のホームページをご覧ください。
NOTTV http://www.nottv.jp/

■モバキャスのご利用にあたって

- モバキャスのご利用には別途モバキャス放送局(NOTTV)との有料放送受信契約が必要になります。
- 本端末にドコモminiUIMカードが入っていない場合は放送の受信・視聴ができません。
- モバキャスは日本国内で提供される放送サービスです。
- シフトタイムや録画のご利用にはmicroSDカードまたは本体ストレージの容量が必要です。Class4以降のmicroSDカードのご利用をおすすめします。また、保存先は設定で変更できます。

■放送電波・受信エリアについて

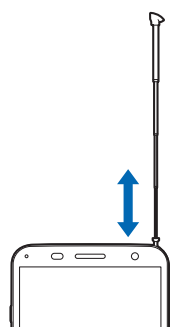
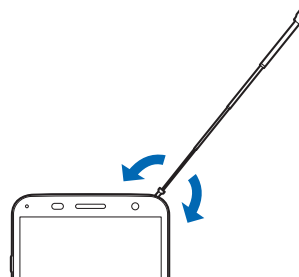
モバキャスは、XiサービスおよびFOMAサービス、ワンセグとは異なる電波を受信しています。そのため、XiサービスおよびFOMAサービスの圏外／圏内に関わらず、モバキャスの放送電波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、モバキャス放送エリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送電波が送信される基地局から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

■受信状態をよくするには

- ご利用時にはアンテナを十分伸ばしてください。
- アンテナの向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。

■ワンセグ／モバキャスアンテナについて

モバキャスを視聴するときは、ワンセグ／モバキャスアンテナを十分伸ばしてください。

ワンセグ／モバキャスアンテナの先端に指先をかけて引き出し、止まるまで伸ばす

無理に力を加えずに矢印の方向へ動かす
※矢印の方向にのみ動かせます

- ワンセグ／モバキャスアンテナを収納するときは、無理に収納しないでください。破損の原因となります。止まるところまでまっすぐ押し込み、ワンセグ／モバキャスアンテナの向きを合わせてから収納してください。
- モバキャスを視聴しないときは、ワンセグ／モバキャスアンテナを収納してください。また、通話するときは、ワンセグ／モバキャスアンテナを収納してから通話してください。

■充電中の利用について

充電しながらモバキャスを利用すると端末の温度が高くなり、温度異常となる場合があります。
温度異常を検知すると温度を下げるために端末の処理負荷を下げる処理が行われ、モバキャス視聴の映像・音声が乱れたりする場合があります。

モバキャスを視聴する

番組／コンテンツの視聴

1 ホーム画面▶[アプリ]▶[NOTTV]

NOTTVホーム画面が表示されます。
- 初回起動時はアプリの利用規約を読み、[同意する]をタップすると、自動的に初期設定が行われます。初期設定は通信環境の良いところで行ってください。

2 表示されている番組／コンテンツのサムネイルをタップ

- リアルタイム番組視聴時は、画面を左右にフリックしてチャンネルを選局できます。
- 端末を横にするか全画面表示ボタンをタップすると表示が切り替わります。
※コンテンツの表示構成は番組／コンテンツにより異なります。
- [データ]をタップすると、データ放送が表示されます。
- [ソーシャル]をタップすると、番組／コンテンツに関連したタイムラインが表示されます。
- [インフォ]をタップすると、番組詳細が表示されます。
- ▲／▼で音量を調節できます。
- ≡▶[設定]▶[表示・音声]をタップすると字幕や音声の設定を行えます。
- MHLを利用するには☞P.270
- Miracastを利用するには☞P.269

番組／コンテンツを探す

番組／コンテンツをアプリ内でさまざまな方法で探すことができます。

番組表から検索（リアルタイム）

1 NOTTVホーム画面▶[番組表]

リアルタイム番組表が表示されます。シフトタイム番組表を見るには、[シフトタイム]をタップします。

- 現在放送中の番組をタップすると視聴画面に切り替わります。

条件を指定して検索

1 NOTTVホーム画面▶ [≡] ▶[検索・ジャンル別]

2 キーワードを入力して[検索]をタップするか、ジャンル別で探したいものをタップ

番組／コンテンツの予約

シフトタイムの受信予約

1 NOTTVホーム画面▶[番組表]▶[シフトタイム]

今後放送される番組／コンテンツの一覧が表示されます。

2 予約したい番組／コンテンツをタップ

番組／コンテンツの詳細画面が表示されます。

3 [予約する]

4 [1回のみ予約する]または[シリーズ予約する]をタップ

お知らせ

- 番組／コンテンツの放送時間に端末の電源が入っていない、電池残量不足、モバキャス放送エリア外など電波の受信状況がよくない、microSDカード未挿入、microSDカード・本体ストレージの容量不足などの場合は、番組／コンテンツが受信できない場合があります。
- microSDカードまたは本体ストレージに一時保存された番組／コンテンツはご利用中の端末でのみ視聴・利用できます。
- 利用期限を過ぎた番組／コンテンツは自動的にmicroSDカードまたは本体ストレージから削除されます。なお、利用期限が過ぎる前の番組／コンテンツも手動で削除することができます。
- お客様が予約を行っていない場合も自動的に番組／コンテンツが予約される場合があります。（シフトタイムの自動予約）
- シフトタイムの自動予約は設定で解除できます。
- 放送受信環境などの理由によりコンテンツが完全に受信できなかった際に、自動的にパケット通信やWi-Fi接続にてデータを補完する場合があります。（シフトタイムの自動補完）
- シフトタイムの自動補完は設定で解除できます。

リアルタイムの視聴・録画予約

1 **NOTTVホーム画面▶[番組表]**

2 **予約したい番組をタップ**

番組の詳細画面が表示されます。

3 **[視聴予約する]または[録画予約する]をタップ**

- 放送中の番組を手動で録画することも可能です。

4 **[1回のみ予約する]または[シリーズ予約する]をタップ**

お知らせ

- 番組の放送時間に端末の電源が入っていない、電池残量不足、モバキャス放送エリア外など電波の受信状況がよくない、microSDカード未挿入、microSDカード・本体ストレージの容量不足などの場合は、番組が視聴・録画できない場合があります。
- microSDカードまたは本体ストレージに録画された番組はご利用中の端末でのみ視聴できます。
- 番組によっては録画ができないものがあります。

モバキャスの設定

1 NOTTVホーム画面▶ ≡ ▶[設定]

2 各項目を設定

- モバキャスの主な設定は以下のとおりです。

<table>
<tr><td>表示・音声</td><td>バックグラウンド再生</td><td>他のアプリに画面を切り替えたときなどに、バックグラウンドで再生を継続するかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">自動処理</td><td>シフトタイムの自動予約</td><td>番組／コンテンツの自動受信のON／OFFを設定します。</td></tr>
<tr><td>シフトタイムの自動補完</td><td>放送受信環境などの理由によりコンテンツが完全に受信できなかった際に、自動的にパケット通信やWi-Fi接続でデータを補完する機能について設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ストレージ選択</td><td>シフトタイム、録画などの保存先を選択できます。ストレージ先を変更した場合は、データの移行処理が行われます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ステータスバー</td><td>ステータスバーに放送中番組の表示のON／OFFを設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">シリーズ・キーワード予約</td><td>重複録画防止のON／OFFを設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">機種変更</td><td>機種変更時に必要な処理を行います。</td></tr>
</table>

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信することができます。また、モバイル機器の通信機能を使った双方向サービス、通信経由の詳細な情報もご利用いただけます。
「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。
一般社団法人　デジタル放送推進協会：
http://www.dpa.or.jp/

■ ワンセグのご利用にあたって

- ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。「データ放送」は映像・音声と共に放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

■ 放送波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、XiサービスおよびFOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、XiサービスおよびFOMAサービスの圏外／圏内にかかわらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

ワンセグ／モバキャスアンテナを十分に伸ばし、向きを変えたり場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。

■ワンセグ／モバキャスアンテナについて

ワンセグを視聴するときは、ワンセグ／モバキャスアンテナを十分伸ばしてください（☞P.158）。

■充電中の利用について

充電しながらワンセグを利用すると端末の温度が高くなり、温度異常となる場合があります。
温度異常を検知すると温度を下げるために端末の処理負荷を下げる処理が行われ、ワンセグ視聴の映像・音声が乱れたり、ワンセグ録画が異常終了する場合があります。
なお、上記により予約録画が終了した場合、録画予約結果には[予期しないアプリ終了]または[同時起動不可機能起動中のため予約起動失敗]と表示されます。

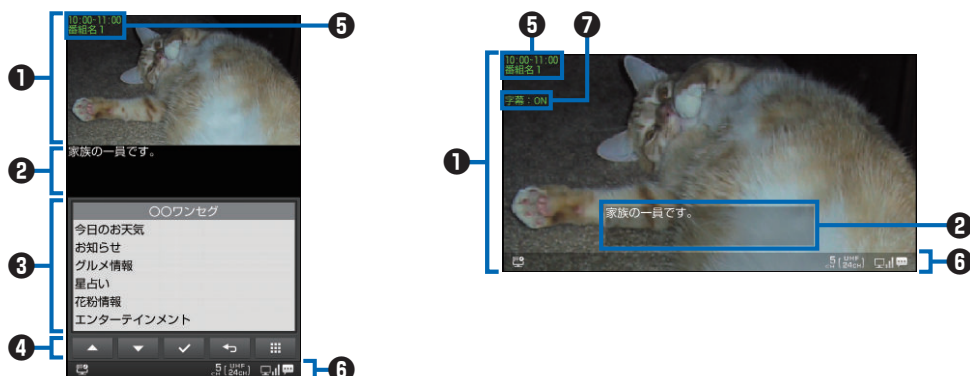
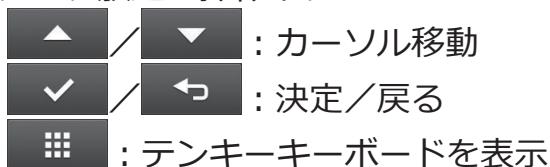
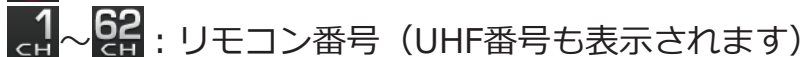
ワンセグを起動する

1 ホーム画面▶[ツール]▶[ワンセグ]

ワンセグ視聴画面が表示されます。

- 初回起動時は、視聴する地域に対応したチャンネルリストを設定します（☞P.168）。
- ▲／▼で音量を調節できます。

ワンセグ視聴画面

縦画面表示にするとデータ放送が表示されます。
お買い上げ時の設定では、横画面表示にすると映像が全画面で表示されます。

❶ 映像エリア
❷ 字幕エリア※1
❸ データ放送エリア
❹ データ放送の操作ボタン
▲／▼：カーソル移動
✓／↩：決定／戻る
⁝⁝⁝：テンキーキーボードを表示
❺ 番組情報※2
❻ ステータス表示エリア※3
（アイコン）／（アイコン）：オフタイマー設定中／無操作自動オフ設定中
（アイコン）：ワンセグ録画中
1CH～62CH：リモコン番号（UHF番号も表示されます）
（アイコン）／（アイコン）／（アイコン）／（アイコン）：受信レベル強／中／弱／圏外
（アイコン）：字幕あり
❼ 字幕表示設定※2

※1 横画面表示では、字幕が一定時間表示されないと字幕エリアは消えます。

※2 縦／横画面表示を切り替えると表示されます。また、映像エリアまたは字幕エリアをタップすると表示されます。

※3 横画面表示では、映像エリアまたは字幕エリアをタップすると表示されます。

- 映像エリア、字幕エリアまたは［≡］をタップすると、選局パネルと機能メニューが表示されます。機能メニューには以下の項目が表示されます。
  [録画]／[停止]：☞P.170
  [番組表]：Gガイド番組表を起動
  [予約]：☞P.170
  [録画番組再生]：☞P.171
  [設定]：☞P.166
  [その他]：受信可能なチャンネルをサーチ選局

ワンセグの設定メニュー

1 ワンセグ視聴画面▶映像エリア、字幕エリアまたは［≡］をタップ▶[設定]▶以下の操作を行う

視聴・録画予約	視聴予約と録画予約を行います。
予約結果一覧	視聴予約と録画予約の結果を表示します。
チャンネル情報	設定中のチャンネルリストの詳細画面を表示します。
番組情報表示	番組名、チャンネル名、開始／終了日時、番組説明を表示します。
チャンネルリスト選択	☞P.168
チャンネル設定	☞P.168
チャンネル追加登録	設定中のチャンネルリストに、視聴中のチャンネルを登録します。
ディスプレイ表示切替	縦画面表示のときデータ放送を全画面で表示するかどうかを設定します。
字幕表示設定	字幕のON／OFFを設定します。
縦横表示切替	端末の向きに応じてワンセグ視聴画面の縦／横画面表示を自動で切り替えるか、縦／横画面表示に固定するかを設定します。
横画面モード切替	横画面表示のときデータ放送を表示するかどうかを設定します。[通常モード]を選択すると、データ放送が表示されます。 ● 横画面表示で映像エリアまたは字幕エリアをダブルタップしても、[通常モード]と[全画面モード]が切り替わります。

オフタイマー	指定した時間が過ぎたら、確認画面を表示してワンセグを終了します。[OFF]を選択すると、オフタイマーを設定しません。
明るさ設定	[システムの設定に合わせる]のチェックを外すと、ワンセグ視聴画面のみに適用される明るさを設定できます。
主／副音声設定	副音声を放送している番組で、[主音声]／[副音声]／[主／副同時]を選択します。
音声切替	複数の音声を放送している番組で、[音声1]／[音声2]を選択します。
効果音設定	データ放送の効果音のON／OFFを設定します。
確認表示リセット	放送用保存領域の利用時や通信開始時などに表示される確認画面は、[以後確認しない]にチェックを付けると表示されなくなります。確認表示リセットを行うと、それらの確認画面が再度表示されるようになります。
データ放送へ戻る	データ放送からリンク先の通信コンテンツを表示しているとき、データ放送に戻ります。
ダイレクト選局	13～62チャンネルを直接選択します。
サービス選局	同じチャンネル内に複数のサービス（番組）が放送されている場合に、視聴するサービスを選択します。
TVリンク	☞P.169
無操作自動オフ設定	無操作のまま指定した時間が過ぎた場合、確認画面を表示してワンセグを終了します。[OFF]を選択すると、無操作自動オフ設定を設定しません。 • オフタイマーが設定されているときは、オフタイマーが優先されます。
チャンネル設定リセット	チャンネルリストをすべて削除し、未登録の状態にします。
放送用保存領域削除	系列放送局ごとに保存された放送用データを削除します。
TV設定リセット	ワンセグの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

チャンネルを設定する

チャンネルリストを設定する

視聴する地域に対応したチャンネルリストを設定します。

1 ワンセグ視聴画面▶映像エリア、字幕エリアまたは［≡］をタップ▶[設定]▶[チャンネル設定]▶以下の操作を行う

地域選択	地域一覧から視聴する地域を選択して、チャンネルリストを設定します。
現在地から設定	現在地で受信可能なチャンネルを検索し、検出されたチャンネルをチャンネルリストに自動登録します。

お知らせ

- 放送局の周波数が変更された場合や、地域によっては[地域選択]ではチャンネルを正しく登録できないことがあります。その場合は、[現在地から設定]でチャンネルリストを設定してください。

チャンネルリストを切り替える

1 ワンセグ視聴画面▶映像エリア、字幕エリアまたは［≡］をタップ▶[設定]▶[チャンネルリスト選択]

チャンネルリスト選択画面が表示されます。

2 設定したいチャンネルリストをタップ

チャンネルリストを編集する

- 設定中のチャンネルリストは編集できません。

1 チャンネルリスト選択画面▶編集したいチャンネルリストをロングタッチ▶[チャンネル情報]▶チャンネルをロングタッチ▶以下の操作を行う

リモコン番号設定	リモコン番号を変更したいチャンネルをタップし、新しいリモコン番号を選択します。
1件削除	選択したチャンネルをチャンネルリストから削除します。

TVリンクを利用する

データ放送によっては、メモ情報や関連サイトへのTVリンクを登録できます。登録したTVリンクからメモ情報を見たり関連サイトに接続できます。

TVリンクを登録する

1 データ放送エリアでTVリンク登録可能な項目を選択▶[はい]

- TVリンクの登録方法は番組によって異なります。

TVリンクから情報を表示する

1 ワンセグ視聴画面▶映像エリア、字幕エリアまたは ≡ をタップ▶[設定]▶[TVリンク]

TVリンク一覧画面が表示されます。

MEMO：メモ情報
BML：リンク通信コンテンツ
HTML：HTMLコンテンツ
!：有効期限切れ（表示不可）

2 情報を表示したいTVリンクをタップ▶[はい]

TVリンクのショートカットをホーム画面に作成する

1 TVリンク一覧画面▶ショートカットを作成したいTVリンクをロングタッチ▶[ショートカット作成]

TVリンクを削除する

1 **TVリンク一覧画面**

2 **1件削除する場合**
削除したいTVリンクをロングタッチ▶[削除]▶[はい]

全件削除する場合
[≡]▶[全件削除]▶[はい]

複数選択して削除する場合
[≡]▶[複数件削除]▶削除したいTVリンクにチェックを付ける▶[≡]▶[削除]▶[はい]

ワンセグを録画する

1 **ワンセグ視聴画面▶映像エリア、字幕エリアまたは[≡]をタップ▶[録画]**

録画が始まります。

2 **[停止]▶[はい]**

録画データがmicroSDカードに保存されます。

お知らせ

- 録画中にSDカードのマウント解除（☞P.223）やUSBストレージをONにする操作を行わないでください。
録画データが正しく保存されません。

視聴や録画を予約する

1 **ワンセグ視聴画面▶映像エリア、字幕エリアまたは[≡]をタップ▶[予約]▶[予約登録]**

2 **[録画]タブ／[視聴]タブ▶[≡]▶[新規]**

3 **各項目を設定▶[登録]**

録画データを再生する

1. ワンセグ視聴画面▶映像エリア、字幕エリアまたは［≡］をタップ▶[録画番組再生]

2. 再生したい録画データをタップ

カメラ

カメラをご利用になる前に

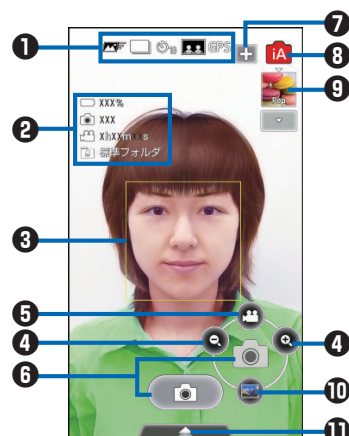
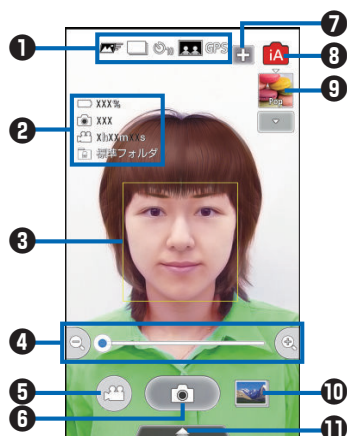
- 撮影前にレンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は、柔らかい布できれいに拭いてください。レンズに指紋や油脂などの汚れが付いていると、フォーカスが合わなくなったり、撮影した静止画や動画に汚れが映ったりします。
- 撮影時は、レンズに指、髪、ストラップなどがかからないように注意してください。
- 撮影するときは、端末が動かないようにしっかりと持ってください。動くと画像がぶれる原因となります。薄暗いところでは特にぶれやすいのでご注意ください。
- レンズを直射日光に向けて放置しないでください。素子の褪色・焼付きを起こすことがあります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、帯状の縞模様が上下または左右に流れて見える「フリッカー現象」が起こる場合があり、撮影のタイミングによっては、画像の色合いが変わることがあります。
- 日光の反射光などの部分的に極端に輝度の高い部分が含まれる被写体を撮影すると、明るい部分の一部分が黒い斑点になることがありますが、故障ではありません。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 電池残量が少ないときや温度異常が発生したときは、撮影した静止画や動画を保存できない場合や再生不可能なファイルが生成される場合があります。
- をタップしてから実際に撮影されるまでに多少の時間差があります。そのため、速く動いている被写体を撮影すると、をタップしたときに画面に表示されていた位置とは少しずれて撮影されることがあります。
- 1秒未満の動画撮影はできない場合があります。
- マナーモード設定中でも、シャッター音や録画開始／終了音は鳴ります。
- カメラ起動中はビューブラインド設定はOFFになります。
- 撮影データを保存中に電池パックが抜かれた場合、不確定なデータとなる場合があります。
- お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

撮影画面を表示する

1 ホーム画面▶[カメラ]

撮影画面が表示されます。

- カメラ起動中はフラッシュが点滅します。

タッチアシスト ON の場合

❶ 設定状態を示すアイコン☞P.174

❷ 情報表示：ショートカットなどを表示したときに下記情報が表示されます。

・電池残量	・動画の記録可能時間（目安）
・静止画の残り撮影可能枚数	・保存先フォルダ名

❸ フォーカスフレーム

❹ ズームボタン：ズームできます。ピンチアウト／ピンチインでもズームできます。

❺ 録画開始／終了ボタン：動画の録画を開始／終了します。

❻ 静止画撮影ボタン：静止画を撮影します。

❼ インテリジェントオートプラス：インテリジェントオートを選択中に明るさや色合いなどを調整できます。

❽ 撮影モード：撮影モードを設定できます（☞P.176）。

❾ おすすめ機能：撮影場面に合ったおすすめの撮影モードやエフェクトに設定できます。

❿ ピクチャアルバム：撮影した静止画、動画の一覧をピクチャアルバムで表示します（☞P.179）。

⓫ ショートカット：ショートカットを表示します。

- タッチアシストがOFFの場合は、撮影画面をタップすると[タッチ設定]の設定に従って動作します。
- 撮影画面を上下左右にフリックすると[上下フリック][左右フリック]の設定に従って動作します。

■ 設定状態を示すアイコン

項目	アイコン
ゼロシャッターラグ	ON
GPS設定	GPS ON
連写	連写、 連続撮影
セルフタイマー	10 10秒、 2 2秒
オートシャッター	ラブシャッター(お友達)、 ラブシャッター（恋人)、 ラブシャッター（恋人+笑顔)、 ～ グループシャッター、 笑顔シャッター

■ 設定メニューから設定する

1 撮影画面▶ ≡ ▶以下の操作を行う

- ショートカットの[MENU]をタップしても操作できます。
- 設定により表示されない項目や変更できない項目があります。

カメラ	ゼロシャッターラグ	を押した瞬間に撮影が行われます。動きの速い被写体を撮影する場合などに便利です。 • ゼロシャッターラグでは設定できる撮影サイズや撮影モードなどが制限されます。
	撮影モード	☞P.176
	連写	連写では8枚連続で撮影できます。連続撮影では[キャンセル]をタップするまで最大10枚連続で撮影できます。 • 連写では設定できる静止画サイズが制限されます。
	静止画サイズ	静止画、連写撮影時の画像サイズを設定します。
	クオリティ	画質を設定します。
	フラッシュ	フラッシュの動作を設定します。

カメラ	セルフタイマー	自動でシャッターが切れるまでの時間を設定します。
	ISO	撮影時のカメラの感度を設定します。
	露出補正	-2EV（暗い）～+2EV（明るい）で調節します。
	色合い	色合いの調整をします。
	ホワイトバランス	カメラで写している映像の発色を調整して、自然な色合いに設定します。
	フォーカスモード	フォーカスを設定します。
	暗部補正	背景と被写体の明暗差が大きい場合など、暗い部分を明るく補正できます。
	オートシャッター	検出した顔の数や顔と顔との距離、表情（笑顔）を判別して自動で撮影するように設定します。
	個人認識	個人認識機能を利用して、人物情報を表示するかどうかを設定します。あらかじめ人物情報を登録しておく必要があります（☞P.177）。
	手ブレ補正	撮影時の手ブレを補正します。
	おすすめ機能	撮影場面に合ったおすすめの撮影モードやエフェクトを提案するかどうかを設定します。
動画	動画サイズ	動画撮影時の画像サイズを設定します。
	動画容量	保存容量を設定します。
設定	カメラ切替	アウトカメラとインカメラを切り替えます。
	タッチアシスト設定	ディスプレイにタッチせずにカメラの機能を操作するか設定します。 • [おすすめ設定]の[タッチアシスト]が[ON]に設定されている場合のみ設定できます（☞P.228）。
	GPS設定	静止画撮影時に位置情報を付加するかどうかを設定します。
	パワーLCD	撮影画面をより明るくし、屋外でも見やすくなるように設定します。
	タッチ設定	タップ操作の動作方法を設定します。
	表示設定	撮影画面にアイコンやガイドラインを表示するかどうかを設定します。
	自動保存	1枚撮影後にポストビュー画面を表示するかどうかを設定します。また、表示する際の時間も設定します。

設定	保存先	撮影した静止画や動画の保存先を本体またはmicroSDカードのフォルダに設定します。 それぞれ[標準フォルダ]、[フォルダ1]～[フォルダ5]から選択できます。 • [標準フォルダ]に設定すると、デジタルカメラの規格に従ったファイル名／フォルダ名で保存されます。 • [フォルダ1]～[フォルダ5]はロングタッチすると名前を変更できます。
	自動アップロード	撮影時に自動的にピクメイトへ画像や動画をアップロードするかどうかを設定します。
	自動終了	無操作の状態が続いたときに、自動的にカメラが終了するまでの時間を設定します。
	設定初期化	カメラアプリの設定をお買い上げ時の設定に戻します。
カスタマイズ	上下フリック	撮影画面を上下にフリックした際に変更できる機能を設定します。
	左右フリック	撮影画面を左右にフリックした際に変更できる機能を設定します。
	ショートカット	ショートカットに機能を設定します。

撮影モードを設定する

撮影する際に、場面に適した撮影モードを設定します。

1 撮影画面▶≡▶[撮影モード]▶以下の操作を行う

- 設定により表示されない項目や設定できない項目があります。

インテリジェントオート	撮影する際に、被写体や撮影状況に合わせて撮影モードを自動で判別し、切り替えます。撮影モードが切り替わると、アイコンがアニメーション表示されてお知らせします。また、おすすめの撮影モードがあれば表示されます。
通常撮影	通常のモードで撮影します。
シーン	撮影する場面に合わせて撮影モードを選択します。
マイカラー	色調を切り替えて撮影したり、お好みのエフェクトを加えて撮影したりできます。

HDR撮影	HDR処理（撮影時に露光を変えた数枚の静止画を撮影して合成する）により、白飛びや黒つぶれの少ない静止画を撮影できます。 • HDR撮影では設定できる静止画サイズが制限されます。 • HDR撮影では動画撮影はできません。
美肌撮影	顔色が美しく映えるように肌色部分を補正した写真を撮影できます。
ナイトショット	暗い場所でもきれいに撮影できます。 • ナイトショットでは設定できる静止画サイズが制限されます。 • ナイトショットでは動画撮影はできません。

人物の顔情報を登録する

あらかじめ人物の顔画像や名前などの人物情報を登録しておくと、登録した人物の顔が撮影画面に表示された場合、優先順位の高い順に3人までの名前を表示したり、優先的にピントを合わせたりできます。人物情報は6人まで登録できます。

1. **撮影画面▶ ≡ ▶[個人認識]▶[登録／削除]**
2. **[新規登録]▶登録したい人物の顔を撮影▶[OK]**
3. **名前を入力▶[OK]**
   - 顔画像が2枚以上登録されている場合は、顔画像をタップすると削除するかどうかの確認画面が表示されます。

静止画を撮影する

1. **撮影画面▶ 📷**

   シャッター音が鳴り、静止画を撮影します。
   撮影した静止画が保存されます。
   [自動保存]が[オートレビューなし]以外の場合は、ポストビュー画面が表示されます。
   - ▮を押しても静止画を撮影できます。

■[自動保存]が[OFF]でポストビュー画面を表示したときのアイコン

アイコン	説明
編集	撮影した静止画の編集をします。
保存	撮影した静止画を保存します。
登録	撮影した静止画を保存し、電話帳の画像またはホーム画面の壁紙に設定します。
共有	ピクメイトへのアップロード、Gmail での送信などができます。

動画を撮影する

1 **撮影画面▶**

録画開始音が鳴り、動画撮影が始まります。

- を押しても録画を開始できます。

2

録画終了音が鳴り、撮影した動画が保存されます。

- を押しても録画を終了できます。

お知らせ

- 電池残量が少ないときは、録画を開始できません。また、録画中に電池残量が少なくなったときは、自動的に録画が終了します。

■録画中に静止画を撮影する

動画を撮影中にをタップすると、録画を続けながら静止画を撮影できます。静止画を撮影するとポストビュー画面が約3秒間表示されます。撮影した静止画は、動画撮影が終了したときに保存されます。

- 静止画撮影時はシャッター音は鳴りません。
- 1回の録画で撮影できる静止画は10枚までです。

ピクチャアルバム

ピクチャアルバムを起動して静止画や動画を表示できます。

■表示できるファイル

対応するファイル形式であっても操作できない場合があります。

種類	ファイル形式
静止画	BMP、JPEG、GIF、PNG、MPO、WebP
動画	MP4、3GP、WebM

静止画／動画を表示する

1 ホーム画面▶[写真]

アルバム一覧画面が表示されます。

2 表示したいアルバムをタップ

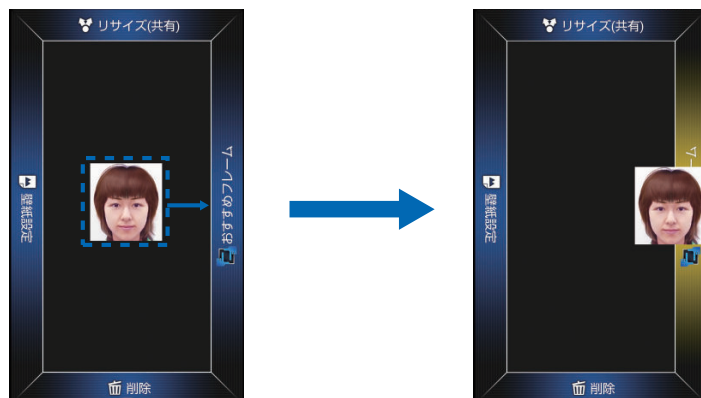
ファイル一覧画面が表示されます。

3 静止画または動画をタップ

拡大画面が表示されます。
動画を再生するには、▶をタップします。

■ピクチャジャンプを利用する

アルバム一覧画面やファイル一覧画面でアルバムやファイルをロングタッチ、または拡大画面で表示中の画像をロングタッチすると、ピクチャジャンプを利用できます。画面の端に表示されるアイコンにアルバムやファイルをフリック／ドラッグすることで、ピクメイトへのアップロード、アルバムやファイルの削除などができます。

- 複数選択中のアルバムやファイルをロングタッチして、削除などの利用したい機能へフリック／ドラッグすることで、まとめてピクチャジャンプを利用できます。

拡大画面でロングタッチした場合

アルバム一覧画面／ファイル一覧画面の操作

アルバム：画面の表示方法を切り替えられます。[ロケーション]／[日付]／[人物]／[フリーワード]をタップすると、ファイルを分類して表示します。[人物]の場合は、人物情報が含まれる静止画（☞P.177）のみ分類されます。[フリーワード設定]（☞P.182）でタグを設定すると、[フリーワード]をタップして分類表示できます。

グリッド表示：画面の表示方法を切り替えられます。

📷：カメラを起動します。

アルバム一覧画面／ファイル一覧画面のメニュー

1 アルバム一覧画面／ファイル一覧画面▶[≡]▶以下の操作を行う

- [フィルムストリップ表示]に設定している場合は、拡大画面のメニューが表示されます。

スライドショー※1	スライドショーを開始します。
Wi-Fi Direct受信	Wi-Fi Directによる送信に対応した端末のピクチャアルバムからファイルを受信します。

アルバムを選択※2	複数のアルバムを選択したり、アルバムの移動やコピー、アルバム名の変更などが行えます。 • アルバムをロングタッチしても操作できます。
項目を選択※1	複数のファイルを選択したり、ファイルの移動やコピーなどが行えます。 • ファイルをロングタッチしても操作できます。
グループ化※1	ファイルを分類して表示します。
ピクチャジャンプ設定	ピクチャジャンプで利用する機能を変更します。
サムネイルサイズ変更	サムネイルの大きさを変更します。 • ピンチアウト/ピンチインでも変更できます。
ピクメイトを起動※2	パナソニックの写真共有サイトピクメイトに静止画や動画をアップロードしたり、アルバムを作成して共有したりできます。
ガイド※2	ガイドを表示します。

※1 ファイル一覧画面のみ

※2 アルバム一覧画面のみ

拡大画面の操作

：動画を再生します。

：注目ポイントを指定し、静止画に適した構図でトリミングします(☞P.183)。

：静止画を編集できます（☞P.183）。

：Bluetooth通信やメールでの送信、ピクメイトやYouTube へのアップロードなどができます。また、[リサイズ（メール）]や[リサイズ（共有）]を選択すると、携帯電話などに適したファイルサイズにリサイズできます。

- アイコンが表示されていない場合は、画面をタップすると表示されます。
- ピンチアウト/ピンチインまたはダブルタップで拡大/縮小できます。
- カメラの[個人認識]（☞P.175）を利用して撮影した静止画の場合は、人物の顔の位置に枠と登録した名前が表示されます。枠をタップすると、人物情報の編集ができます。

拡大画面のメニュー

1 拡大画面▶［≡］▶以下の操作を行う

Wi-Fi Direct受信	Wi-Fi Directによる送信に対応した端末のピクチャアルバムからファイルを受信します。
削除	データを削除します。
移動	ファイルを移動します。
コピー	ファイルをコピーします。
スライドショー※1	表示中のデータからスライドショーを開始します。
手書きメモ※1	☞P.184
編集	静止画を編集します（☞P.183、P.184）。また、静止画を左右に90度回転したりトリミングなどします。
壁紙設定	ホーム画面の壁紙に設定します。
登録※1	電話帳の画像またはホーム画面の壁紙に設定します。
印刷※1	☞P.264
詳細情報	ファイルのタイトルなどを表示します。
フリーワード設定※1	静止画にフリーワードタグを設定します。
地図に表示※2	付加されている位置情報の場所を地図上に表示します。
ピクチャジャンプ設定	ピクチャジャンプで利用する機能を変更します。

※1 静止画のみ

※2 位置情報が付加されている静止画のみ

静止画を編集する

静止画を編集する

1 拡大画面▶

：静止画に特殊効果を加えることができます。
：静止画にフレームを付けることができます。
：静止画のトリミングや回転などの加工ができます。
：明るさや色合いの調整、変更ができます。
DECO ：手書きメモで編集ができます（☞P.184）。

- 効果適応中に編集画面をドラッグすると、元の画像と比較できます。
- 画面を左にフリックすると編集履歴が表示され、行った編集を元に戻したり、やり直したりできます。

2 [保存]

おすすめフレームで編集する

1 拡大画面▶

2 注目ポイントを指定▶構図を選択

3 [保存]

手書きメモで編集する

1 **拡大画面▶ ▶ DECO**

[手書き]：ペンモードに切り替わります。

：ペンの種類、色、太さなどを選択して描画できます。

：消しゴムの太さを選択して、ペンで描画した線などを消すことができます。

[スタンプ]：スタンプモードに切り替わります。

：スタンプを選択して貼り付けることができます。オリジナルのスタンプも作成できます。

：文字を入力して貼り付けることができます。

削除：選択しているスタンプを削除します。

最前面：選択しているスタンプを最前面にします。

／ ：行った編集を元に戻したり、やり直したりできます。

:編集した静止画をセキュリティボックス内（☞P.201）に保存したり、Bluetooth通信やメールでの送信などが行えます。

2 **[保存]**

メディアプレイヤー

メディアプレイヤーを起動して音楽や動画を再生できます。

- パソコンから音楽データや動画データをコピーする方法については☞P.260

■再生できるファイル

対応するファイル形式であっても再生できない場合があります。

種類	ファイル形式（コーデック）
音楽再生	AAC、HE-AAC v1、HE-AAC v2、MP3、MIDI
動画再生	H.263、H.264、MPEG-4 動画、VP8、MPEG2

曲を再生する

1 ホーム画面▶[ツール]▶[メディアプレイヤー]

曲一覧画面が表示されます。

- 初回起動時は使いかたを説明する画面が表示されます。画面に従って操作してください。
- [dマーケット]／[全曲]／[着信音]／[ムービー]／[アーティスト]／[アルバム]／[プレイリスト]／[ジャンル]／[年代]をタップしてタブを切り替えることができます。タブを変更するには［≡］▶[設定]▶[アイコンの並べ替え]▶並べ替えたいアイコンをドラッグ▶[決定]をタップします。

2 再生したい曲をタップ

再生画面が表示され、再生が始まります。

[≡]：曲一覧画面を表示

[⟲]：タップするたびに全曲リピート→1曲リピート→リピート解除

[⤮]：タップするたびにシャッフル／シャッフル解除

[⏮]／[⏭]：曲の先頭にスキップ（再生時間が2秒未満の場合は前の曲にスキップ）／次の曲にスキップ

[«]／[»]：早送り／早戻し

[⏸]／[▶]：一時停止／再生

曲を着信音に設定する

1 曲一覧画面▶[≡]▶[設定]▶[着信音設定]

2 着信音の種類をタップ▶設定したい曲をタップ▶[設定]

プレイリストを作成する

1 曲一覧画面▶[プレイリスト]タブ▶[リスト作成]

2 プレイリスト名を編集▶[OK]

3 追加したい曲をタップ▶[決定]▶[完了]▶[OK]

プレイリストの曲を編集する

1 曲一覧画面▶[プレイリスト]タブ▶編集したいプレイリストをタップ▶[編集]

2 曲を並べ替える場合
　をドラッグして並べ替える
曲の登録を解除する場合
登録を解除したい曲をタップ▶[選択した曲を削除]

3 [完了]▶[OK]

プレイリストを削除する

1 曲一覧画面▶[プレイリスト]タブ▶[リスト並替え／削除]▶削除したいプレイリストをタップ▶[完了]▶[OK]

- [最近追加した曲]／[最近再生した曲]／[再生回数が多い曲]プレイリストは削除できません。

GPS／ナビ

- GPSとは、GPS衛星からの電波を受信して本端末の位置情報を取得する機能です。
- GPSシステムの異常などにより損害が生じた場合でも、当社では一切の責任を負いかねます。
- 本端末の故障、誤動作、または停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害については、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、本端末の故障や誤動作、停電などの外部要因（電池切れを含む）によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化や電波の停止など）される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では電波を受信できない、または受信しにくいため位置情報の誤差が300m以上になる場合がありますのでご注意ください。
  - ・密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
  - ・建物の中や直下
  - ・地下やトンネル、地中、水中
  - ・高圧線の近く
  - ・自動車や電車などの室内
  - ・大雨や雪などの悪天候
  - ・かばんや箱の中
  - ・端末の周囲に障害物（人や物）がある

Google マップを開く

Google マップで現在地を確認したり、場所や経路を検索したりできます。

- Google マップを利用するには、LTE／3G／GPRSネットワークでデータ通信可能な状態にあるか、Wi-Fi接続が必要です。
- 位置情報アクセスの設定で、Wi-Fi／モバイル接続時の位置情報およびGPS機能を有効にし（☞P.234）、「Google設定」アプリの「位置情報」で「Googleアプリに位置情報へのアクセスを許可する」をONにしてください。
- Google マップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。

1 ホーム画面▶[アプリ]▶[マップ]

地図が表示されます。

- [現在地機能の精度を改善]が表示された場合は、[設定]▶[位置情報アクセス]をタップしてWi-Fi／モバイル接続時の位置情報およびGPS機能を有効にしたあと、⇦をタップして「Googleアプリに位置情報へのアクセスを許可する」をONにしてください。
- 🔍▶検索ボックスにキーワードを入力して検索すると、地図上に赤丸または吹き出しが表示されます。赤丸をタップすると吹き出しが表示されます。吹き出しをタップすると、詳細情報やオプションが表示されます。
- ◎をタップすると、現在地を中心に地図を表示します。
- をタップしてローカルを起動すると、近くにあるレストラン、観光スポット、ATM、ガソリンスタンドなどを見つけることができます。ただし距離や評価、営業時間によるフィルタリング機能は、正しく動作しない場合があります。
- をタップすると、交通状況や航空写真などのレイヤを選択して表示できます。ただし交通状況と路線図は、提供地域が限定されています。
- 2本の指で平行線を描くように画面を上下になぞると、地図が傾斜します。
- 地図上の地点をロングタッチ▶吹き出しをタップ▶ をタップすると、ストリートビューを表示できます。

目的地までの経路を検索する

1 地図表示中▶

- ホーム画面▶[アプリ]▶[ナビ]をタップしてGoogle マップナビ（ベータ版）を起動すると、現在地を出発地にした経路検索が簡単に利用できます。

2 出発地と目的地を入力

- をタップして連絡先や地図上の場所を指定できます。

3 （自動車）／（公共交通機関）／（徒歩）▶[経路を検索]

- （自動車）／（徒歩）の場合は、[ナビ]をタップするとGoogle マップナビ（ベータ版）が起動します。

Latitudeで友人の居場所を確認する

- あらかじめGoogle アカウント（☞P.82）を設定してください。
- 友人と位置情報を共有するには、Latitudeに参加して友人を招待するか、友人からの招待を受ける必要があります。

1 地図表示中▶[マップ]▶[Latitude]

- Latitudeについて詳しくは、友達リスト表示中に ▶[ヘルプ]をタップしてLatitudeのヘルプをご覧ください。

時計

本端末を卓上時計として使用できます。

1 **ホーム画面▶[ツール]▶[時計／アラーム]**

2

時計画面が表示されます。

- 世界の都市の時計を追加する場合は、[都市の追加と削除]▶都市を選択▶[OK]をタップします。

アラームを設定する

1 **ホーム画面▶[ツール]▶[時計／アラーム]**

2

アラーム画面が表示されます。

3 **[追加]▶アラーム時刻を設定**

4 **必要に応じてその他の項目を設定**

5 **[OK]**

アラームを停止／スヌーズを設定する

アラーム通知画面でからへドラッグすると、アラームが止まります。からへドラッグすると、一定時間後に再びアラームが鳴ります。スヌーズを解除するには、通知パネルを開いて[停止]をタップします。

アラームの詳細設定

1 アラーム画面▶ ≡ ▶[設定]▶以下の操作を行う

消音までの時間	通知音の鳴動時間を設定します。
スヌーズの長さ	アラーム通知画面でスヌーズを設定した場合に、次にアラームが鳴るまでの時間を設定します。
アラームの音量	アラームの音量を設定します。
音量ボタン	アラームが鳴っているときに▲／▼を押したときの動作（スヌーズ／解除／何もしない）を設定します。

ストップウォッチを利用する

1 ホーム画面▶[ツール]▶[時計／アラーム]

2 ⏱

3 [開始]

4 [停止]

- [ラップ]をタップすると、ラップタイムを記録します。
- 停止中に[リセット]をタップすると、タイムがリセットされます。

タイマーを設定する

1 ホーム画面▶[ツール]▶[時計／アラーム]

2 ⏲

3 [時間設定]▶タイマーの時間を設定▶[OK]

4 [開始]

- [一時停止]／[再開]をタップすると、タイマーを一時停止／再開します。
- [キャンセル]をタップすると、タイマーが止まります。

カレンダー

本端末のカレンダーと、Google などオンラインサービスのカレンダーを同期させて、スケジュールを管理できます。

- あらかじめGoogle アカウント（☞P.82）を設定してください。

カレンダーを表示する

1 ホーム画面▶[アプリ]▶[カレンダー]

カレンダー画面が表示されます。

- 画面左上の年月をタップ▶[日]／[週]／[月]／[予定リスト]をタップして、表示形式を切り替えます。

表示／同期するカレンダーを設定する

Google などのオンラインサービスで複数のカレンダーを使用している場合は、本端末で表示するカレンダーおよび本端末と同期するカレンダーを設定します。

1 カレンダー画面▶ ≡ ▶[表示するカレンダー]▶表示したいカレンダーのアカウントにチェックを付ける

2 [同期するカレンダー]▶同期したいカレンダーのアカウントにチェックを付ける

3 [OK]

予定の詳細を表示する

1 カレンダー画面▶予定をタップ

- 月表示の場合は、予定のある日をタップしてから予定をタップします。

予定を登録する

1 カレンダー画面▶［≡］▶[予定を作成]

2 タイトル、場所、日時、内容などを入力

- 複数のカレンダーを設定している場合は、登録するカレンダーのアカウントを選択します。
- [ゲスト]欄にメールアドレスを入力し、予定に参加してもらいたい人に招待状を送付できます。
- [通知を追加]をタップすると通知を増やすことができます。

3 [完了]

予定が通知されたら

ステータスバーに［1］が表示されたら、以下の操作で通知を解除／スヌーズを設定します。

1 通知パネルを開いて通知をタップ

- 詳細が表示され、通知が解除されます。
- [スヌーズ]をタップすると5分間スヌーズします。
- 位置情報がある場合は[地図]が表示されます。[地図]をタップすると場所が確認できます。

カレンダーの設定を変更する

1 **カレンダー画面▶［≡］▶[設定]▶[全般設定]▶以下の操作を行う**

辞退した予定を非表示	参加を辞退した予定を非表示にします。
第何週かを表示	週表示の場合、画面左上に1年のうちの第何週かを表示します。
週の開始日	週の始まりの曜日を設定します。
自宅タイムゾーン	チェックを付けると、ローミング中もホームのタイムゾーンでカレンダーの時刻を表示します。
自宅タイムゾーン	自宅のある地域のタイムゾーンを指定します。 • [自宅タイムゾーン]にチェックを付けている場合のみ設定できます。
検索履歴を消去	検索履歴を消去します。
通知	予定を通知するかどうかを設定します。
音声	通知時に鳴らす音を設定します。 • [通知]にチェックを付けている場合のみ設定できます。
バイブレーション	通知時にバイブレーションを動作させるかを設定します。 • [通知]にチェックを付けている場合のみ設定できます。
ポップアップ通知	通知時にステータスバーに［1］が表示されると同時に通知画面が表示されます。 • [通知]にチェックを付けている場合のみ設定できます。
デフォルトの通知時間	予定開始時刻の何分／時間／日前に通知するかを設定します。
クイック返信	ゲストへクイック返信する内容を設定します。

メモ

メモを作成する

1 ホーム画面▶[ツール]▶[メモ]

メモ一覧画面が表示されます。

2 [新規作成]▶必要な項目を入力▶[保存]

- メモ一覧画面でメモをタップすると、メモの詳細を確認できます。ロングタッチすると、メモの編集などができます。
- メモ一覧画面で[検索]／[削除]をタップすると、メモを検索／削除できます。

メモ一覧画面のメニュー

1 メモ一覧画面▶ ≡ ▶以下の操作を行う

スケジュールへ	スケジュールを起動します。
センターと同期	メモをバックアップセンターにバックアップします。
SDカード	メモをインポート／エクスポートします。
アカウント変更	アカウントごとのメモを表示します。
全件削除	表示しているアカウントのメモを全件削除します。
クラウド設定	ドコモのクラウドサービスに関する設定を行います。
ヘルプ	メモとスケジュールのヘルプを表示します。
アプリケーション情報	メモアプリとスケジュールアプリのバージョンなどを表示します。

電卓

1 **ホーム画面▶[ツール]▶[電卓]**

2 **画面上部の数式欄に数式を入力▶[＝]**

- ボタン表示部を左右にフリックするか、[≡]▶[関数機能]／[標準機能]をタップして、関数画面／基本演算画面を切り替えます。
- 数式欄をロングタッチすると、数式の切り取り／コピー／貼り付けができます。
- [削除]をタップして入力した文字を消去します。

お知らせ

- Bluetooth接続のキーボードなどの外部機器を利用すると、演算の履歴を表示することができます。

ドコモバックアップ

「ケータイデータお預かりサービス」、「電話帳バックアップ」もしくは「SDカードバックアップ」をご利用いただくためのアプリです。電話帳などのデータをバックアップしたり、復元したりすることができます。

データをmicroSDカードにバックアップする

microSDカードなどの外部記録媒体を利用して、電話帳、spモードメール、ブックマークなどのデータの移行やバックアップができます。

- SDカードバックアップについて詳しくは、SDカードバックアップ起動中に[≡]▶[ヘルプ]をタップしてヘルプをご覧ください。

1 ホーム画面▶[アプリ]▶[ドコモバックアップ]

2 [microSDカードへ保存]

初回起動時は利用許諾契約書を読み、[同意する]をタップします。
SDカードバックアップメニュー画面が表示されます。

3 [バックアップ]▶バックアップしたいデータにチェックを付ける▶[バックアップ開始]▶[開始する]▶ドコモアプリパスワードを入力▶[OK]

選択したデータがmicroSDカードにバックアップされます。

データを端末に復元する

1 SDカードバックアップメニュー画面▶[復元]

2 復元したいデータの種別を選択▶復元したいデータにチェックを付ける▶[選択]▶[追加]／[上書き]

3 [復元開始]▶[開始する]▶ドコモアプリパスワードを入力▶[OK]

選択したデータが本端末に復元されます。

Google アカウントの連絡先をdocomoアカウントにコピーする

1 **SDカードバックアップメニュー画面▶[電話帳アカウントコピー]▶コピーしたいGoogle アカウントを選択**

2 **[上書き]／[追加]**

コピーした電話帳データがdocomoアカウントに保存されます。

お知らせ

- バックアップまたは復元中に端末の電池パックおよびmicroSDカードを取り外さないでください。端末内のデータが破損する場合があります。
- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- 電話帳をmicroSDカードにバックアップする場合は、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- 本端末のメモリ構成上、microSDカードが未挿入の場合、画像・動画などのデータは本体ストレージに保存されます。本アプリでは画像・動画などのデータのうち本体ストレージに保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。
- microSDカードの空き容量が不足していると、バックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。
- 電池残量が不足していると、バックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。

パーソナルプロテクト

パーソナルプロテクトでは他人に見られたくないファイルを通常では表示されないセキュリティボックスに入れておくことができます。セキュリティボックスは暗号化されています。また、他人に見られたくないEメールのアカウントをセキュリティアカウントとして登録できます。

- セキュリティボックスに格納できるファイルは、静止画、動画、音声録音データ、Officeドキュメント、PDFファイル、テキストファイルなどです。

パーソナルプロテクトを利用する

1 ホーム画面▶[アプリ]▶[パーソナルプロテクト]

2 [次へ]▶[使ってみる]▶ロック解除方法を選択

- ICカードを登録する場合は☞P.240

3 画面に従って解除パターンを登録する

設定した解除方法を行うと、ロックが解除された状態でパーソナルプロテクトメニュー画面が表示されます。

格納・取り出し	通常の保存領域とセキュリティボックスとの間でファイルのやり取りができます。
マルチメディア	セキュリティボックスを利用するマルチメディア系のアプリを起動します。 ：ピクチャアルバムを起動します（☞P.179）。 ：カメラを起動します。撮影した静止画が直接セキュリティボックスに保存されます（☞P.177）。 ：Polaris Office 4.0を起動します（☞P.209）。 ：ボイスレコーダを起動します。録音したデータが直接セキュリティボックスに保存されます（☞P.226）。

ツール	セキュリティボックスを利用するツール系のアプリを起動します。 ：セキュリティアカウントを登録し、セキュリティEメールを利用します（☞P.203）。 ：あんしんログインを起動します（☞P.205）。 ：スマートアーチを起動します。レッツノートのセキュリティボックスと本端末のセキュリティボックス間で直接ファイルの送受信ができます（☞P.261）。
ダウンロード	指定したアプリのセキュリティボックスへのファイルの格納・取り出しを許可できます。 空アイコンをタップしてアプリリストから許可したいアプリを選択します。 ただし、許可するアプリはセキュリティボックスに対応している必要があります。アプリリスト上部の[おすすめ]をタップすると、セキュリティボックス対応アプリをインストールできます。インストール後に再度アプリリストを表示するとインストールしたアプリを選択できます。 ● 登録したアプリをロングタッチすると、登録を解除できます。

セキュリティボックスへファイルを格納する

セキュリティボックスに格納されたファイルは、パーソナルプロテクトのロックが解除されているときだけ表示されます。

1 パーソナルプロテクトメニュー画面▶[格納・取り出し]

通常の保存領域内のフォルダとセキュリティボックス内のフォルダが表示されます。

2 格納したいファイルをセキュリティボックスへドラッグする

- [全てのファイル]タブを選択した場合は、通常の保存領域内のmicroSDカードアイコンまたは本体ストレージアイコンをタップし、フォルダを表示します。
- フォルダをタップするとフォルダ内のファイルが表示されます。
- ファイルをロングタッチすると再生できます。
- 複数のファイルをタップしてドラッグすると、まとめて格納できます。
- セキュリティボックスから取り出す場合は、セキュリティボックス内のファイルを本体へドラッグします。

各アプリから格納する

1 各アプリを起動▶格納したいファイルを選択▶共有のメニューをタップ▶[セキュリティボックス]

- アプリによって、共有のメニューの操作が異なります。
- パーソナルプロテクトのロックが解除されていない場合は、設定した解除方法を行います。

2 [格納する]

- セキュリティボックス内のファイルを取り出す場合は、パーソナルプロテクトのロックが解除されている状態で取り出したいファイルを選択▶🔒▶[取り出す]をタップします。

お知らせ

- セキュリティボックスは端末内に保存領域を持っているため、セキュリティボックスに格納したファイルは、端末内に保存されます。
- セキュリティボックスに格納されているデータは各種サービスからのアップロード対象外となります。
- セキュリティボックスに格納したデータが、事前に各種サービスへアップロードされている場合は表示されることがあります。
- microSDカードに大量のデータが保存されている場合、[格納・取り出し]またはでのデータの表示に時間がかかる場合があります。
- セキュリティボックスに格納中のPolaris Officeで扱うファイルを[格納・取り出し]から表示した場合は、別ファイルとして表示されるため上書き保存ができません。

■セキュリティボックスの格納容量について

セキュリティボックスに格納できる容量には上限があり、残容量が不足していると格納できません。容量が上限になると、Eメールが起動できなくなりますので、上限になる前に削除や移動を行って容量を確保してください。

- パーソナルプロテクトメニュー画面から ▶[削除]をタップし、削除したい種類をタップすると、セキュリティボックス内のファイルなどを一括で削除できます。

パーソナルプロテクトのロックを解除する

1 ホーム画面▶[アプリ]▶[パーソナルプロテクト]

2 設定した解除方法を行う

パーソナルプロテクトのロックが解除され、各アプリでセキュリティボックス内のファイルを表示することができます。

パーソナルプロテクトをロックする

ロックが解除された状態で通知パネルのセキュリティボックス欄の[施錠]をタップするかを押してアプリを終了するとロックされます。また、スリープモードになってから一定時間が経過してもロックされます。

- [自動ロック]や[アプリ終了でロックする]、[HOMEボタンでロックする]の設定でもロックの設定ができます（☞P.204）。

セキュリティアカウントを登録する

セキュリティアカウントを登録すると、パーソナルプロテクトのロックを解除した際に自動で[メール]のアカウントが切り替わります。

1. **パーソナルプロテクトメニュー画面▶[ツール]▶**
2. **メールアドレスとパスワードを入力▶[次へ]**
3. **画面に従って操作する**

お知らせ

- セキュリティアカウントを登録していない状態で、パーソナルプロテクトのロックを解除した場合は、アカウントが無い状態になります。また、ロック解除前に登録していたアカウントは見えなくなります。
- [メール]でのみセキュリティアカウントのロックができます。[Gmail]など他のアプリではロックされませんので、セキュリティアカウントには他のアプリで利用しているアカウントを登録しないでください。
- セキュリティアカウントのメールを受信しても、パーソナルプロテクトのロックを解除していない場合は通知されません。

パーソナルプロテクトの設定

1 **パーソナルプロテクトメニュー画面▶［≡］▶以下の操作を行う**

設定	自動ロック	スリープモードになってから、またはスクリーンセーバーが表示されてからパーソナルプロテクトがロックされる時間を設定します。
	アプリ終了でロックする	パーソナルプロテクトを終了するとロックします。
	HOMEボタンでロックする	［ホーム］を押したときにパーソナルプロテクトをロックします。
	ロック解除方法変更	パーソナルプロテクトのロックの解除方法を変更します。
	タッチ操作バイブ	ロック解除操作時に画面にタッチしたときにバイブレーションを動作させるかどうかを設定します。 ● パーソナルプロテクトのロック解除方法を「パターン」「パッド」「サークル」「ダイヤル」に設定しているときに表示されます。
	パターンを表示する	パターンでのロック解除時に指でなぞった軌跡を画面に表示するかどうかを設定します。 ● パーソナルプロテクトのロック解除方法を「パターン」に設定しているときのみ表示されます。
	パートナー	詳しい説明を行うコンシェルジュ、簡単な説明を行う金庫からパートナーを選択できます。
バックアップ		セキュリティボックス内のデータを暗号化した状態でバックアップします。
リストア		バックアップしたデータをリストアします。 同じ名前のファイルがすでにある場合の保存方法として以下を選択できます。 ● 上書き保存：すべて上書き保存する ● 更新時のみ別名保存：ファイルが更新されている場合のみ別名※で保存する ※ファイル名のあとに「_XXXXX」を付加（Xは数字） ● スキップ：ファイルの更新にかかわらず、同じ名前のファイルは上書き保存しない

削除	セキュリティボックス内のデータやセキュリティアカウントを削除します。
アプリ管理	[ダウンロード]に登録したアプリを解除します。
ヘルプ	ヘルプを表示します。

あんしんログインを利用する

ウェブページやアプリで使用するID／パスワードを管理することができます。ID／パスワードはセキュリティボックスに保存されるため安全です。

- [ブラウザ]では自動入力および選択入力に対応しています。ただし、[Chrome]では一部機能のみ対応しています。
- ダウンロードしたブラウザ、キーボードおよびパスワード入力先のウェブページ、アプリによってはあんしんログインが利用できない場合があります。

ID／パスワードの登録をする

1 **ID／パスワード入力画面から登録する場合**

キーボード表示中▶あんしんログイン

- 初めてあんしんログインを使用する場合は、パーソナルプロテクトのロック解除パターンの設定が必要です。
- パーソナルプロテクトのロックを解除していない場合は、設定した解除方法を行います。
- 入力情報選択画面が表示された場合は、[新規登録]をタップします。

パーソナルプロテクトのメニューから登録する場合

パーソナルプロテクトメニュー画面▶[ツール]▶ ▶[新規登録]

- 登録済みのID／パスワードを編集・削除したい場合は、ID／パスワードの名前を選択して[編集]または[削除]をタップします。
- ID／パスワードをmicroSDカードからインポートまたはエクスポートしたい場合は、[外部出力]をタップします。

2 各情報を入力▶[登録]

- [ユーザID追加 表示]をタップすると、IDを追加登録できます。
- パーソナルプロテクトのメニューからID／パスワードを登録すると、サイトやアプリに関連づけがされません。ID／パスワード入力時に表示される入力情報選択画面の一覧から関連づけたい項目を選択する必要があります。

あんしんログインを使って入力する

- あんしんログインに登録したID／パスワードはウェブページやアプリでのID／パスワードを入力する文字入力欄をタップすると自動的に入力されます。
- ID／パスワード入力欄にパスワードを入力した状態であんしんログインをタップすると、ID／パスワードの入力、更新、新規登録ができます。

1 ID／パスワード入力欄をタップ▶あんしんログイン

- あらかじめパーソナルプロテクトを解除している場合は、ID／パスワードが自動入力されます。

2 パーソナルプロテクトを解除

あらかじめ登録したID／パスワードが自動入力されます。

- 自動入力されない場合は入力情報選択画面からID／パスワードの名前を選択して入力します。

ELUGA Link

DLNA、Miracast、持ち出し番組、スマートアーチなどの機能を利用して外部機器とデータのやりとりができます。

1 ホーム画面▶[ツール]▶[ELUGA Link]

2 以下の操作を行う

VIERA/DIGAと連携する	VIERA/DIGAと本端末を連携できます（☞P.265）。
ELUGAの画面をVIERAに映す	☞P.269「Miracastで接続する」手順3
ELUGAの画面をStradaに映す	☞P.269「Miracastで接続する」手順3
VIERA/DIGAから持ち出した番組を見る	ワンセグで録画した番組やブルーレイディスクレコーダーなどから持ち出した録画番組を再生します。また、DLNAを利用して外部機器で再生したり、外部機器へ移動したりできます。 ● 本端末からDIGAへの移動はオリジナル画質のみ対応しています。また、microSDカード内のVGA画質の移動はできません。
スマートアーチでレッツノートと連携する	レッツノートと本端末を連携できます（☞P.261）。
Panasonic Beautyの製品を見る	Panasonic Beautyのサイトに接続します。
スマート家電と連携する	パナソニック スマートアプリが起動します（☞P.208）。

ELUGA CLIP

SNSへ投稿した写真や動画をまとめてビジュアル化するウィジェットです。撮影・加工・投稿を簡単に行うことができます。また、「いいね!」や新着コメントがあるとウィジェットに表示されるため、すぐに確認できます。友人の投稿した写真などを表示することもできます。

- あらかじめ「ELUGA CLIP」のウィジェットを追加してください(☞P.98)。

1 ホーム画面▶左右にフリックするなどしてELUGA CLIPを表示▶[ELUGA CLIP]

2 画面に従って操作する

パナソニック スマート アプリ

パナソニック スマート アプリのご利用にはログインIDが必要です。(ログインIDがなくても、一部のサービスはご利用いただけます。)ログインIDは、パナソニックの会員サイトCLUB Panasonicより登録いただけます。

1 ホーム画面▶[アプリ]▶[パナソニック スマート]

- おサイフケータイの初期設定を行っていない場合は、「おサイフケータイ」アプリを起動して初期設定を行う必要があります。
- 初回起動時は利用規約を読み、[同意する]をタップします。
- 利用方法などの詳細については、[設定]▶[ヘルプ]をタップしてパナソニック スマート アプリのヘルプをご覧ください。

Polaris Office 4.0

Officeドキュメントなどのパソコン向け文書を表示／編集できます。

■表示／編集できるファイル

- 搭載していないフォントを使用したドキュメントはフォントを置換して表示するため、正しく表示されない場合があります。
- 対応するファイルであっても表示できない場合があります。

ファイルの種類
Wordファイル （Microsoft Word 97、2003、2007、2010）
Excelファイル （Microsoft Excel 97、2003、2007、2010）
PowerPointファイル （Microsoft PowerPoint 97、2003、2007、2010）
PDFファイル※1 （Adobe PDF 1.2～1.7）
テキストファイル
韓国語文書ファイル※1 （Hansoft Hangul 97～3.0、2002～2005）

※1 編集することはできません。

ドキュメントを表示／編集する

1 ホーム画面▶[アプリ]▶[Polaris Office 4.0]

- ユーザー登録画面が表示された場合はユーザー登録を行うか、[スキップ]をタップします。

2 表示／編集したいドキュメントをタップ

- フォルダからドキュメントを選択する場合は[ローカルフォルダ]をタップします。
- ファイルの種類からドキュメントを選択する場合は[フォームタイプ]をタップします。

お知らせ

- Wordファイル／Excelファイル／PowerPointファイル／テキストファイルを新規作成するには、をタップします。
- 本アプリが対応していない機能は、正しく保存されない場合があります。
- 送信先アプリによっては、利用前にログインが必要な場合や、アプリ側の制約により正しく受け取れない場合があります。

本体設定

設定メニュー

ホーム画面▶[本体設定]▶[詳細]タブをタップして設定メニューを呼び出して、本端末の各種設定を行うことができます。

- 設定メニューは通知パネルでをタップするか、ホーム画面▶[アプリ]▶[設定]をタップしても表示できます。

プロフィール

マイプロフィール

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[マイプロフィール]

- マイプロフィールについては☞P.126

ホーム

ホーム切替

ホームアプリを切り替えます（☞P.107）。

無線とネットワーク

Wi-Fi

1 **ホーム画面▶[本体設定]▶[Wi-Fi]**

- 「Wi-Fi」をONにするとWi-Fi機能がONになります。
- Wi-Fi接続の設定については☞P.86

Bluetooth

1 **ホーム画面▶[本体設定]▶[Bluetooth]**

- 「Bluetooth」をONにするとBluetooth機能がONになります。
- Bluetooth接続の設定については☞P.256

データ使用

1 **ホーム画面▶[本体設定]▶[データ使用]**

データ使用の管理画面が表示され、期間ごとやアプリごとのモバイルデータ通信使用量（目安）が表示されます。
- 「モバイルデータ」をONにすると、モバイルネットワーク経由のインターネットアクセスを有効にできます。
- グラフ上でモバイルデータ通信使用量の制限や警告を行う使用量の設定ができます。使用量の制限は、[モバイルデータの制限を設定する]にチェックを付けているときのみ設定できます。

バックグラウンドデータを制限する

アプリが自動的に行うデータ通信を制限できます。

1 **データ使用の管理画面▶ [≡] ▶[バックグラウンドデータを制限する]にチェックを付ける▶[OK]**

NFC／おサイフケータイ設定

1 **ホーム画面▶[本体設定]▶[NFC／おサイフケータイ設定]**

2 **以下の操作を行う**

NFC／おサイフケータイ ロック	NFC／おサイフケータイの機能をロックします。
ロックパスワード設定	NFC／おサイフケータイの機能をロックするためのパスワードを設定します。
Reader／Writer, P2P	ICカードの読み書きや他のデバイスと接触したときのデータ交換を許可します。
Androidビーム	他のNFC対応の端末にアプリのコンテンツを転送するかどうかを設定します。

その他

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[その他...]

2 以下の操作を行う

機内モード		本端末のワイヤレス通信機能を無効にします。 • [機内モード]にチェックを付けるとWi-FiやWi-Fiテザリング、Bluetooth機能、Reader／Writer, P2P機能もOFFになります。ただし、Wi-FiとBluetooth機能は機内モード中でもONにすることができます。
VPN		☞P.215
テザリング	**USBテザリング**	☞P.216
	Wi-Fiテザリング	☞P.217
	Wi-Fiアクセスポイントを設定	☞P.218
	ヘルプ	テザリングのヘルプを表示します。
モバイルネットワーク	**データ通信を有効にする**	モバイルネットワーク経由のインターネットアクセスを有効にします。
	データローミング	☞P.278
	アクセスポイント名	☞P.83
	ネットワークモード	☞P.277
	通信事業者	☞P.278
Miracast		☞P.269

VPN（仮想プライベートネットワーク）を利用する

VPN（Virtual Private Network：仮想プライベートネットワーク）は、企業や大学などの保護されたローカルネットワーク内の情報に、外部からアクセスする技術です。本端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

■VPNを追加する

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[その他...]

2 [VPN]

VPN設定画面が表示されます。
- 認証情報ストレージに関する注意が表示された場合は、[OK]をタップしてロック解除方法を設定してください（☞P.239）。

3 [+]▶ネットワーク管理者の指示に従って各項目を設定▶[保存]

VPN設定画面のリストに、新たなVPNが追加されます。
- ISPをspモードに設定している場合は、PPTPは利用できません。

■VPNに接続する

1 VPN設定画面▶接続したいVPNをタップ

2 必要な認証情報を入力▶[接続]

VPNに接続すると、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。

■VPNを切断する

1 通知パネルを開く▶VPN接続中を示す通知をタップ▶切断したいVPNをタップ▶[切断]

USBテザリングを利用する

microUSB接続ケーブル 01（別売）でUSB対応のパソコンなどを本端末と接続し、モデムとして利用することでインターネットに接続させることができます。

1 端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブルで接続する

- 接続方法については☞P.260「パソコンとの接続」手順3～4

2 ホーム画面▶[本体設定]▶[その他...]

3 [テザリング]▶[USBテザリング]

4 [注意事項の詳細]▶内容を確認▶ ⮌ ▶[OK]

USBテザリングが有効になります。

お知らせ

- USBテザリングに必要なパソコンの動作環境（OS）は以下のとおりです。なお、OSのアップグレードや追加／変更した環境での動作は保証いたしかねます。
  Windows 7、Windows Vista、Windows XP (Service Pack 3以降)
- お使いのパソコンの動作環境により、USBテザリングを利用してインターネットに接続しにくかったり、無効になる場合があります。その場合は、USBテザリングを再度有効にしてからご利用ください。
- OSがWindows XPの場合、USBテザリングを行うには専用のドライバが必要です。ドライバのダウンロードなどについては、下記のホームページをご覧ください。
  http://panasonic.jp/mobile/
- [データ移行モード]にチェックを付けている場合は、USBテザリングを利用できません。[データ移行モード]のチェックを外してください（☞P.244）。

Wi-Fiテザリングを利用する

本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用することで、無線LAN対応のパソコンなどをインターネットに最大10台まで同時接続させることができます。

1 **ホーム画面▶[本体設定]▶[その他...]**

2 **[テザリング]▶[Wi-Fiテザリング]**

3 **[注意事項の詳細]▶内容を確認▶ ⮌ ▶[OK]**

Wi-Fiテザリングが有効になります。

- お買い上げ時は、ネットワークSSIDは「P-03E_XXXX」(Xは端末固有の値)、チャネルは「Auto」、セキュリティは「WPA2 PSK」に設定されています。パスワードはランダムに設定されていますが、任意のパスワードに変更できます。
- [SSIDを通知しない]にチェックを付けると、ネットワークSSIDを非通知にできます。非通知にすることで、ネットワークSSIDを入力した端末だけが接続できるようにします。

お知らせ

- USBテザリングとWi-Fiテザリングは同時に利用できます。

Wi-Fiアクセスポイントを設定する

1 **ホーム画面▶[本体設定]▶[その他...]**

2 **[テザリング]▶[Wi-Fiアクセスポイントを設定]**

3 **ネットワークSSID、チャネル、セキュリティを設定**

- セキュリティを[WEP]／[WPA2 PSK]／[WPA/WPA2 Mixed]に設定すると、パスワードを設定できます。

4 **[保存]**

お知らせ

- セキュリティを[Open]に設定すると、接続可能な台数は1台のみになります。

端末

通話設定

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[通話設定]

- 通話設定については☞P.116

音／バイブ／イルミネーション

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[音／バイブ／イルミネーション]

音／バイブ／イルミネーションの設定画面が表示されます。

2 以下の操作を行う

音量		☞P.221
マナーモード		マナーモードを設定します。
着信音		電話着信音を設定します。
着信バイブレーション		着信音が鳴るときにバイブレーションを動作させるかどうかを設定します。 • Gmail を受信した際のバイブレーション動作はGmail アプリの設定に従います。
着信イルミネーション		着信時のイルミネーションを設定します。
音	**着信音**	電話着信音を設定します。
	通知音	メッセージ（SMS）などを受信したときの通知音を設定します。
	ダイヤルパッド操作音	電話のダイヤルパッド操作音のON／OFFを設定します。
	タッチ操作音	特定の画面操作における操作音のON／OFFを設定します。
	画面ロック音	画面のロック／ロック解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。
	オーディオ効果	音楽または動画再生時や着信音・通知音・アラーム音鳴動時にクリアかつ大きな音量で再生するかどうかを設定します。

バイブレーション	基本設定	バイブレーションのON／OFFを設定します。
	振動レベル	振動の強さを設定します。
	サウンド連動	ゲームとメディアの音声に連動して振動します。
	着信バイブレーション	☞P.219
	フィットキー	フィットキーのバイブレーションを設定します。
	ケータイキー	ケータイキーのバイブレーションを設定します。
	クイック手書き	クイック手書きで文字を入力する際のバイブレーションを設定します。
	画面ロック	ロック解除操作時、画面にタッチしたときに振動します。
	パーソナルプロテクト	パーソナルプロテクト解除操作時に振動します。
イルミネーション	着信イルミネーション	着信時のイルミネーションを設定します。
	通知イルミネーション	不在着信やメール受信などの新しい通知があるとイルミネーションでお知らせします。
	不在着信	不在着信時のイルミネーションのカラーとパターンを設定します。
	Gmail受信	Gmail 受信時のイルミネーションのカラーとパターンを設定します。
	メッセージ受信	メッセージ（SMS）受信時のイルミネーションのカラーとパターンを設定します。
	メール受信	Eメール受信時のイルミネーションのカラーとパターンを設定します。
	その他	その他の通知のイルミネーションのカラーとパターンを設定します。 • アプリによってはイルミネーションが光らなかったり、設定と異なるカラーやパターンで光る場合があります。

音量を調節する

メディア再生音、着信音や通知音、アラーム、通話の音量を調節できます。

1 音／バイブ／イルミネーションの設定画面▶[音量]▶調節したい音のスライダーを左右にドラッグ

2 [OK]

お知らせ

- ▲／▼で着信音、通知音の音量を調節できます。ただし、音楽や動画の再生中やワンセグ視聴中などは各機能の音量調節キーになります。
- 本端末は受話口とスピーカーを兼用しているため、通話終了直後に各種の音が鳴った場合は、設定した音量にかかわらず小さい音量で鳴り始め、設定した音量まで次第に大きくなります。

画面設定

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[画面設定]

2 以下の操作を行う

画面の明るさ	画面の明るさを設定します。
屋外モード	屋外など周囲の明るさに応じて色調を自動補正して画面を見やすくします。また、夜道など暗いところでは、画面の明るさを抑え見やすいように自動補正します。 • 補正には少し時間がかかる場合があります。
スリープ	無操作の状態が続いたときに、自動的にスリープモードになるまでの時間を設定します。 • 赤外線通信機能やMiracast、MHLを利用中の場合は、無操作のまま設定時間が過ぎてもスリープモードになりません。Miracast利用中のスリープ設定はMiracastの詳細設定で変更できます。

ポップアップ通知	**ポップアップ通知**	ポップアップ通知を表示するかどうかを設定します。
	表示時間設定	ポップアップ通知の表示時間を設定します。
	通知元アプリ設定	ポップアップで通知するアプリを設定します。
電池残量（%）表示		電池の残量（%）をステータスバーに表示するように設定します。
壁紙		☞P.99
カラーテーマ設定		カラーテーマを設定します。 • カラーテーマを変更すると壁紙も変更されます。
スクリーンセーバー		充電中にスリープモードになった際にスクリーンセーバーを表示するかどうかを設定します。
フォントサイズ		フォントサイズを設定します。
フォント設定		本端末で表示するフォントを設定します。
画面の自動回転		端末の向きに合わせて縦／横画面表示を自動的に切り替えます。
近接センサー		通話中にタッチパネルの誤動作を防ぐためのセンサーを有効にします。
モバイルPEAKSエンジン		YouTube などの動画を、明るく色鮮やかで奥行きのあるくっきりした映像で楽しめます。ピクチャアルバムでは静止画にも対応しています。
ブラウザ省電力		ウェブページを読み込んでいる間、画面を微灯にするかどうかを設定します。
ビューブラインド設定		周囲からディスプレイを見えにくくするビューブラインドを設定します。
ビューブラインド強度		ビューブラインドの強さを設定します。

日付と時刻

お買い上げ時は[日付と時刻の自動設定]、[タイムゾーンを自動設定]にチェックが付いていますので、日時を手動で設定する必要はありません。

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[日付と時刻]

2 以下の操作を行う

日付と時刻の自動設定	ネットワーク上の日付、時刻を取得して自動的に補正します。
タイムゾーンを自動設定	ネットワーク上のタイムゾーンを取得して自動的に補正します。
日付設定	年月日を手動で設定します。
時刻設定	時刻を手動で設定します。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを手動で設定します。
24時間表示	時刻を24時間表示に切り替えます。
日付形式の選択	年月日の表示方法を切り替えます。

ストレージ

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[ストレージ]

ストレージの設定画面が表示されます。

2 以下の操作を行う

合計容量（本体ストレージ）	本端末のメモリの合計容量とデータごとの保存容量、空き容量を表示します。
合計容量（SDカード）	microSDカードの合計容量と空き容量を表示します。
SDカードのマウント解除／SDカードをマウント	本端末からmicroSDカードを安全に取り外します／本端末にmicroSDカードを認識させます。 • microSDカードの使用中は、SDカードのマウント解除やUSBストレージをONにする操作を行わないでください。データが破損する恐れがあります。
SDカード内データを消去	☞P.224

microSDカード内の全データを消去する

1 **ストレージの設定画面▶[SDカードのマウント解除]▶[OK]**

[SDカード内データを消去]が選択可能になります。

2 **[SDカード内データを消去]▶[SDカード内データを消去]**

- 画面ロックを設定している場合は、設定した解除方法を行います。

3 **[すべて消去]**

電池

1 **ホーム画面▶[本体設定]▶[電池]**

電池の使用状況が表示されます。

アプリ

1 **ホーム画面▶[本体設定]▶[アプリ]**

アプリの管理画面が表示されます。アプリのデータやキャッシュの消去などを行います。
画面上部の[ダウンロード済み][実行中][すべて]をタップしてタブを切り替えることができます。

インストールしたアプリを削除する

1 **アプリの管理画面▶[ダウンロード済み]タブ**

2 **削除したいアプリをタップ▶[アンインストール]▶[OK]**

アプリを無効にする

アンインストールできない一部のアプリを無効にすることができます。無効にしたアプリは、動作が停止し、アプリ一覧画面などの画面に表示されなくなります。

- アプリを無効にしても、アンインストールはされません。

1 アプリの管理画面▶[すべて]タブ

2 無効にしたいアプリをタップ▶[無効にする]▶[OK]

- 無効にしたアプリを有効にするには、有効にしたいアプリをタップ▶[有効にする]をタップします。

お知らせ

- アプリを無効にした場合、無効にしたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しない場合があります。無効にしたアプリを再度有効にすることで、正しく動作します。

ELUGA

エコナビ

エコナビを利用して電池の消費を抑えることができるecoモードの設定を管理できます。

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[エコナビ]

2 以下の操作を行う

eco設定	ecoモードに切り替える設定をします。 [OFF]：ecoモードに切り替わりません。 [今すぐeco]:ecoモード中は個別に設定した各種機能の動作になります。 [条件でeco]：電池残量、場所、時間による設定条件でecoモードに切り替わります。なお、動作の優先順位は電池残量>場所>時間となります。 [今すぐ最大eco]:ecoモード中は電池の消費をさらに抑える各種機能の動作になります。 [今すぐeco][条件でeco][今すぐ最大eco]の[設定]をタップすると、各種機能の動作を個別に設定できます。
バッテリーグラフ	電池使用量などの情報が表示されます。

ボイスレコーダ

音声を録音する機能です。会議中の音声などをメモ代わりに録音できます。

録音する

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[ボイスレコーダ]

録音データ一覧画面が表示されます。

2 [録音]

録音を開始します。

- ■をタップすると録音を停止します。

再生する

1 録音データ一覧画面▶再生したいデータをタップ

再生画面が表示され、再生が始まります。

⏸／▶：一時停止／再生

■：停止

- データをロングタッチすると、タイトル編集などができます。

録音データ一覧画面のメニュー

1 録音データ一覧画面▶ ≡ ▶以下の操作を行う

セキュリティボックスに録音	録音が開始され、録音したデータが直接セキュリティボックスに保存されます。
セキュリティボックスに切替	セキュリティボックスに保存した録音データを表示します。
録音品質を変更	[低]に設定すると、音声品質を下げて長時間録音できます。
削除	録音データを削除します。

おすすめ設定

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[おすすめ設定]

おすすめ設定の設定画面が表示されます。

2 以下の操作を行う

タッチアシスト	☞P.228
タスクマネージャーPLUS	タスクマネージャーPLUSを有効にするかどうかを設定します。 • タスクマネージャーPLUSについては☞P.94
ワンハンドPLUS	ワンハンドPLUSを有効にするかどうかを設定します。有効にすると、画面下部にある を上に押し上げることにより、画面を一時的に引き下げて片手で操作しやすくします。
フィンガータップ設定	☞P.230

タッチアシスト

1 おすすめ設定の設定画面▶[タッチアシスト]

- タッチアシストがOFFの場合はONにします。

2 以下の操作を行う

アプリ設定	各アプリでタッチアシストを有効にするかどうかを設定します。項目を選択すると、アプリのタッチアシストガイドを表示します。
タッチアシストガイド	アプリ設定の中の全てのアプリのタッチアシストガイドを表示します。

■タッチアシストでできること

アプリ設定で各アプリのタッチアシストをONにすると、以下の操作が行えます。

<table>
<tr><td rowspan="4">画面ロック</td><td colspan="2">画面に触れずに画面ロックの解除ができます。</td></tr>
<tr><td>docomoロック／シンプルロック</td><td>画面に触れずにの周りに指で円を描くと、ロックを解除できます。</td></tr>
<tr><td>フィットロック</td><td>指を近づけるとロック解除ボタンが表示されます。</td></tr>
<tr><td>パターン</td><td>画面に触れずに解除パターンを描いてロックを解除できます。
画面に表示された軌跡が登録されている解除パターンと一致したときにロック解除されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ホーム</td><td colspan="2">docomo Palette UIとフィットホームでタッチアシストが使えるようになります。</td></tr>
<tr><td>アイコンの拡大</td><td>アプリ一覧画面やホーム画面（フィットホームのみ）でアイコンに指を近づけると、アイコンを拡大表示します。</td></tr>
<tr><td>ガイダンス表示</td><td>フィットホームのアプリ一覧画面でアイコンに指を近づけると、アプリのガイダンスを表示します。</td></tr>
</table>

電話	画面に触れずに応答したり、通話を終了したりできます。	
	操作開始	画面に触れずに[タッチで操作開始]の周りに指で円を描くと、操作を開始できます。
	着信応答	画面に触れずに[通話]の周りに指で円を描くと、通話を開始します。
		画面に触れずに[伝言メモ]の周りに指で円を描くと、伝言メモで応答します。
	着信拒否	画面に触れずに[拒否]の周りに指で円を描くと、着信拒否します。
		画面に触れずに[拒否してSMS送信]の周りに指で円を描くと、応答を拒否して相手にメッセージ（SMS）を送信します。
ブラウザ[※1]	画面に触れずにウェブページの操作ができます。	
	ズームバー表示	指を近づけたままにすると、ズームバーを表示します。
	オートスクロール	画面に触れたままフリックしてスクロールを開始したあと、そのまま指を近づけてしばらく静止すると、自動でスクロールします。
	リンクの選択[※2]	画面に触れずにリンクの周りに指で円を描くと、リンクを選択します。
	1つ前に戻る[※2]	画面に触れずに「<」を描くと、1つ前のページに戻ります。
	スクロール[※2]	画面に触れずに指を大きくスライドすると、スクロールします。
文字入力	フリック入力のガイド表示や、変換候補を拡大表示します。	
	ガイド表示[※3]	キーに指を近づけるとフリック入力のガイドを表示します。
	キー拡大[※4]	キーに指を近づけると拡大表示します。
	候補拡大[※5]	表示されている変換候補に指を近づけると、拡大表示します。
	音声入力[※1][※2]	フィットキーで文字入力時、画面に触れずに[音声]の周りに指で円を描くと、音声入力を利用できます。

カメラ	指を近づけた場所にシャッターボタン、動画録画開始ボタン、ズームボタン、ピクチャアルバムアイコンを表示します。	
	ガイド表示	メニュー項目に指を近づけると、メニューのガイドを表示します。
	撮影する	シャッターボタンに指を近づけたままにすると、カウントが表示され、画面に触れずに撮影できます。
ピクチャアルバム	画面に触れずにピクチャアルバムの操作ができます。	
	プレビュー	フォルダに指を近づけると、フォルダ内の画像をプレビューします。
	拡大表示	一覧表示で画像に指を近づけると、拡大表示します。
	サムネイル再生	一覧表示で動画に指を近づけると、再生します。
プレゼンサポート	指を近づけると出力先の画面にポイントを表示します。	
熱帯楽園	水槽に指を近づけると、周辺が拡大します。	
ダウンロード	対応したダウンロードアプリでタッチアシスト機能を利用できます。	

※1 [ブラウザ]アプリでのみ操作できます。

※2「ブラウザ」の「タッチレス」を有効にしているときのみ操作できます。

※3 フィットキーのテンキーキーボードで表示されます。

※4 フィットキーのPCキーボードで表示されます。

※5 フィットキー、ケータイキーで表示されます。

フィンガータップ設定

1 おすすめ設定の設定画面▶[フィンガータップ設定]

2 以下の操作を行う

操作練習	フィンガータップの練習を行います。

バックライト点灯	ディスプレイが微灯または消灯した直後に本体背面をダブルタップすると、ディスプレイを再点灯するようにします。
画面回転	画面が自動回転した直後に本体側面をダブルタップすると、縦／横画面表示が切り替わり表示方向が固定され、が表示されます。固定中はダブルタップするたびに縦／横画面表示を切り替えます。
通話音量	通話中に本体背面をダブルタップすると通話音量を上げるようにします。本体側面をダブルタップすると通話音量を下げるようにします。
クイックサイレント	着信中に本体背面をダブルタップすると着信音を消去するようにします。
アラーム停止	アラーム鳴動中に本体背面をダブルタップするとスヌーズを設定するようにします。

ユーザー設定

ドコモサービス

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[ドコモサービス]

2 以下の操作を行う

アプリケーション管理	定期アップデート確認などの設定を行います。
docomo Wi-Fiかんたん接続	docomo Wi-Fiや自宅Wi-Fiを利用するための設定を行います。
ドコモアプリWi-Fi利用設定	Wi-Fi経由でドコモサービスを利用するための設定を行います。
ドコモアプリパスワード	ドコモアプリで利用するパスワードを設定／変更します。 • お買い上げ時は「0000」に設定されています。
オートGPS	お客様の居場所に合わせて、天気情報やお店などの周辺情報、観光情報などをお知らせするオートGPS対応サービスをご利用になるための設定を行います。
ドコモ位置情報	イマドコサーチ、イマドコかんたんサーチ、ケータイお探しサービス、緊急通報位置通知にて位置情報を提供するための設定を行います。 また、各種設定変更や設定サイト・サービスサイトへのアクセスができます。
データ量確認	データ量確認アプリの設定を行います。
SDカードバックアップ	☞P.197
端末エラー情報送信	本端末にエラーが発生した場合に、エラー情報などをドコモに送信するかどうかを設定します。
オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを確認できます。

お知らせ

- ドコモサービスで表示されるアプリの中には無効化設定できるものがあり、無効化設定されたアプリは、ドコモサービスの一覧には表示されなくなる場合があります。
- 新たにドコモ提供のアプリをダウンロード追加することで、ドコモサービスの一覧に項目が追加表示される場合があります。

ドコモクラウド

ドコモクラウドの設定サイトに接続して各アプリでクラウドを利用するかどうかを設定できます。また、保管可能な容量や現在保管している容量を確認することもできます。

アカウントと同期

- アカウントの追加については☞P.88

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[アカウントと同期]

2 アカウントの種類をタップ

アカウントの設定画面が表示されます。

3 同期したいアカウントをタップ▶同期させる項目をタップ

- すべての項目をまとめて同期するには[≡]▶[今すぐ同期]をタップします。

アカウントの削除

オンラインサービスのアカウントを削除すると、本端末に保存されたアカウントのデータ（メッセージや電話帳、設定など）も削除されます。

- オンラインサービス上のデータは削除されません。

1 アカウントの設定画面▶削除したいアカウントをタップ▶[≡]▶[アカウントを削除]▶[アカウントを削除]

お知らせ

- docomoアカウントは削除できません。

位置情報アクセス

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[位置情報アクセス]

2 以下の操作を行う

位置情報にアクセス	位置情報を使用するかどうかを設定します。
GPS機能	より精度の高い位置情報を測位します。 • 視界が良好である必要があり、電池の消費が多くなります。Google の位置情報サービスとの併用をおすすめします。
Wi-Fi／モバイル接続時の位置情報	Google の位置情報サービスで現在地を検索します。

セキュリティ

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[セキュリティ]

2 以下の操作を行う

画面ロック	☞P.239
顔認識の精度を改善	顔写真を追加してフェイスアンロックの認識精度を改善します。 • [画面ロック]を[フェイスアンロック]に設定しているときのみ表示されます。
生体検知	ロック解除時にまばたきを必要とするかどうかを設定します。 • [画面ロック]を[フェイスアンロック]に設定しているときのみ表示されます。
パターンを表示する	パターンでのロック解除時に指でなぞった軌跡を画面に表示するかどうかを設定します。 • [画面ロック]を[パターン]または[ICカード][フェイスアンロック]で予備の解除方法を[パターン]に設定しているときのみ表示されます。

自動ロック	自動的にスリープモードになったときに画面ロックがかかるまでの時間を設定します。 • [画面ロック]を[パターン][PIN][パスワード][ICカード][パッド][サークル][ダイヤル][フェイスアンロック]に設定しているときのみ表示されます。
電源ボタンですぐにロック	⏻を押したときにすぐに画面ロックをかけるかどうかを設定します。 • [画面ロック]を[パターン][PIN][パスワード][ICカード][パッド][サークル][ダイヤル][フェイスアンロック]に設定しているときのみ表示されます。
ウィジェットを表示	ロック画面にウィジェットを表示するかどうかを設定します。有効にすると、ロック画面で左右にフリックしてウィジェットを表示したりカメラを起動したりできます。 • [画面ロック]を[なし]以外に設定しているときに表示されます。
所有者情報	ロック画面に所有者情報を表示するかどうかを設定します。 • [画面ロック]を[なし]以外に設定しているときに表示されます。
パーソナルプロテクト	☞P.199
端末の暗号化	☞P.241
SIMカードロック設定	☞P.238
パスワードを表示する	パスワード入力時に文字を表示するかどうかを設定します。
端末管理者	本端末の管理者の権限の有効／無効を設定します。
提供元不明のアプリ	Google Play ストア以外のサイトやメールなどから入手したアプリのインストールを許可します。 • お使いの端末と個人データを保護するため、Google Play ストアなどの信頼できる発行元からのアプリのみダウンロードしてください。
アプリを確認する	損害をもたらす可能性があるアプリに対してインストール前に警告をしたり、インストール自体を禁止にしたりします。
信頼できる認証情報	証明書の有効／無効設定や削除を行います。

本体ストレージからインストール	暗号化された証明書を本体ストレージからインストールします。
認証ストレージの消去	認証情報ストレージからすべての認証情報や証明書、VPN設定を消去します。
端末パスワード設定	☞P.242

本端末で利用する暗証番号について

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。端末の画面ロック用パスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

■各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは、「総合お問い合わせ先」までご相談ください（☞P.339）。
- PINロック解除コード（PUK）は、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、「総合お問い合わせ先」までご相談ください（☞P.339）。

■画面ロック用PIN／パスワード

本端末の画面ロック機能を使用するための暗証番号です。PINは4～16桁の番号、パスワードは英字を1文字以上含む4～16桁の英数字を設定できます（☞P.239）。

■端末パスワード

端末リセット時などに入力する4～8桁の英数字です（☞P.242）。

■ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」※1の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。なお、dメニューからは、dメニュー ▶「お客様サポート」▶「各種お申込・お手続き」からお客様ご自身で変更できます。

※1「My docomo」「お客様サポート」については☞P.335

■PINコード

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます（☞P.238）。

PINコードは、第三者によるドコモminiUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモminiUIMカードを本端末に取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号（コード）です。

PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 別の端末で利用していたドコモminiUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

■PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモminiUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

PINコードを設定する

電源を入れたときにPINコードを入力するように設定します。

1. **ホーム画面▶[本体設定]▶[セキュリティ]**
2. **[SIMカードロック設定]**
3. **[SIMカードをロック]▶PINコードを入力▶[OK]**

   [SIMカードをロック]にチェックが付きます。

PINコードを変更する

1. **P.238「PINコードを設定する」の手順1～3を行う**
2. **[SIM PINの変更]**
3. **現在のPINコードを入力▶[OK]**
4. **新しいPINコードを入力▶[OK]**
5. **新しいPINコードを再度入力▶[OK]**

PINロックを解除する

PINコードの入力を3回連続して間違えるとPINコードがロックされ、[SIMカードはPINロック解除コードでロックされています。PINロック解除コードを入力してください。]が表示されます。以下の操作でPINロックを解除できます。

1. **PINロック解除コード（PUK）を入力**
2. **新しいPINコードを入力**
3. **新しいPINコードを再度入力**

画面ロックを設定する

電源を入れたあとやスリープモードを解除したあとの画面ロックを設定します。
画面ロックには以下の方法があります。

種類		説明
タッチ	docomoロック	をタップしてロックを解除します。 • ロック画面で機能のアイコンをタップすると各機能を起動できます。
	シンプルロック	をタップしてロックを解除します。
	フィットロック	画面下半分の任意の位置をタッチすると表示されるをにドラッグしてロックを解除します。 また、ロック画面で起動できる機能を設定できます。
	ホーム連動	設定しているホームアプリによって[docomoロック]、[シンプルロック]または[フィットロック]が設定されます。
パターン		4つ以上の点を結んでロックを解除します。
PIN		4～16桁の数字を入力してロックを解除します。
パスワード		4～16桁の英数字を入力してロックを解除します。
ICカード		ICカードを利用してロックを解除します。
パッド		3回のパッド操作でロックを解除します。
サークル		3回円を描いてロックを解除します。
ダイヤル		左右に回すように操作した4つの数字でロックを解除します。
フェイスアンロック		顔認証でロックを解除します。

- [パターン][PIN][パスワード][ICカード][パッド][サークル][ダイヤル][フェイスアンロック]に設定すると、本端末を他の人に使用されないようにロックできます。

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[セキュリティ]

セキュリティの設定画面が表示されます。

2 **[画面ロック]▶画面ロックのロック解除方法を選択▶画面に従って解除パターンを登録する▶[OK]**

- [なし]に設定すると、電源を入れたあとやスリープモードを解除したあとにロック画面は表示されません。
- 設定内容の確認画面で[やり直し]／[やり直す]をタップすると、画面ロックの解除方法を設定し直します。

■ICカードを登録する場合

画面に従って登録したいICカードの中心付近を本端末の マークにかざして登録します。ICカードが認識されないときは､ICカードを前後左右にずらしてかざしてください。

- ICカードを登録する場合は、あらかじめ[Reader／Writer, P2P]を有効にしてください。
- [画面ロック]を[ICカード]に設定するごとにICカードを登録する必要があります。

画面ロックを無効にする

1 **セキュリティの設定画面▶[画面ロック]**

2 **設定した解除方法を行う▶[なし]▶[はい]**

お知らせ

- 電源を入れたあとやスリープモードを解除したあとのロック画面でロック解除パターンの入力を5回連続して間違えた場合は、30秒間再入力できません。ロック解除パターンを忘れた場合は、再入力の画面で[パターンを忘れた場合]をタップしたあとGoogle アカウントでログインし、画面に従って新しいパターンを作成できます。Google アカウントを設定している場合のみ[パターンを忘れた場合]が表示されます。
  また、PINやパスワードを忘れた場合は、画面ロックの解除ができませんのでご注意ください。

端末の暗号化

本端末のすべてのデータを暗号化します。盗難や紛失に備えてデータの保護を強化できます。
暗号化すると、本端末の電源を入れるたびに[画面ロック]で設定したPINまたはパスワードの入力が必要になります。

- 暗号化を解除するには、[データの初期化]を行って本端末をお買い上げ時の状態に戻す必要があります。
- 暗号化処理には1時間以上の時間がかかります。
- 暗号化処理は中断できません。処理を中断すると、一部またはすべてのデータが失われます。
- 暗号化処理を行う際は、電池残量が十分にある状態で、充電しながら操作を行ってください。
- あらかじめ[画面ロック]でPINまたはパスワードを設定してください（☞P.239）。
- [SIMカードロック設定]で[SIMカードをロック]にチェックを付けている場合や、ドコモminiUIMカードを取り付けていない場合は、端末の暗号化後の起動時に表示されるPINまたはパスワードの入力画面では、日本国内では緊急通報110番、119番、118番に発信できません。

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[セキュリティ]

2 [端末の暗号化]▶暗号化についての内容を確認▶[携帯端末を暗号化]

3 PINまたはパスワードを入力▶[次へ]▶[携帯端末を暗号化]

暗号化処理が開始されます。処理には1時間以上の時間がかかります。処理が完了してPINまたはパスワードの入力画面が表示されるまでそのままお待ちください。

- 処理中に端末が自動的に再起動する場合があります。

4 暗号化処理が完了したら、PINまたはパスワードを入力

端末パスワードを設定する

1 **ホーム画面▶[本体設定]▶[セキュリティ]**

セキュリティの設定画面が表示されます。

2 **[端末パスワード設定]**

3 **端末パスワードを入力▶[OK]**

4 **端末パスワードを再度入力▶[OK]**

端末パスワードを変更する

1 **セキュリティの設定画面▶[端末パスワード設定]**

2 **現在の端末パスワードを入力▶[OK]**

3 **新しい端末パスワードを入力▶[OK]**

4 **新しい端末パスワードを再度入力▶[OK]**

言語と入力

1 **ホーム画面▶[本体設定]▶[言語と入力]**

2 **以下の操作を行う**

言語	使用する言語を設定します。
ダウンロード辞書	使用するダウンロード辞書を設定します。
スペルチェック	スペルチェッカーの有効／無効を切り替えます。 • をタップしてスペルチェッカーの動作を設定できます。
ユーザー辞書	Android キーボード用の単語リストに登録します。 ▶[+]▶単語を入力▶
デフォルト	デフォルトの入力方法を選択します。

項目		説明
Androidキーボード		をタップしてAndroid キーボードの動作を設定できます。
Google音声入力		Google 音声入力の有効／無効を切り替えます。 • をタップしてGoogle 音声入力の動作を設定できます。
クイック手書き		☞P.74
ケータイキー		☞P.72
ドコモ文字編集		をタップするとアプリ情報が確認できます。
フィットキー		☞P.71
音声検索	**言語**	音声によるテキスト入力で使用する言語を設定します。
	音声出力	常に音声で出力するか重要情報のみ出力するかなどを設定します。
	不適切な語句をブロック	音声によるテキスト入力で不適切な語句を表示しないように設定します。
	オフライン音声認識のダウンロード	オフライン時でも音声入力を行えるように設定します。
	Bluetoothヘッドセット	Bluetoothヘッドセットで音声を録音するかどうかを設定します。
テキスト読み上げの出力	**Googleテキスト読み上げエンジン**	をタップして音声合成エンジンの動作を設定できます。 • 日本語の読み上げには対応していません。
	音声の速度	テキストの読み上げ速度を設定します。
	サンプルを再生	音声合成のサンプルを再生します。
ポインタの速度		ポインタの速度を設定します。
あんしんログイン		あんしんログイン機能の有効／無効を切り替えます。

バックアップとリセット

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[バックアップとリセット]

バックアップとリセットの設定画面が表示されます。

2 以下の操作を行う

項目		内容
初期設定		☞P.81
メモリリフレッシュ	メモリリフレッシュ	設定した時刻に自動的に本端末を再起動し、メモリ使用領域をリフレッシュします。
	時刻設定	メモリリフレッシュを実行する時刻を設定します。
	曜日設定	メモリリフレッシュを実行する曜日を設定します。
データのバックアップ		アプリのデータや設定をGoogle サーバーにバックアップします。
バックアップアカウント		データのバックアップに使用するアカウントを設定します。
自動復元		アプリの再インストール時に、バックアップした設定やデータを復元します。
ケータイデータお引越し		☞P.245
データ移行モード		ドコモショップなど窓口にてデータを移し替える際に設定します。 ・「USBデバッグ」、「USBテザリング」、「Wi-Fi」を利用中は設定できません。
データの初期化		☞P.245

ｉモードケータイのデータを取り込む

ｉモードケータイでmicroSDカードにバックアップした電話帳、スケジュール、ブックマーク、ｉモードメール、ピクチャ（デコメ®ピクチャ、デコメ絵文字®を含む）を本端末に取り込みます。

- あらかじめｉモードケータイでmicroSDカードにデータをバックアップし、そのmicroSDカードを本端末に取り付けてください。
- ｉモードケータイ側のバックアップ手順については、ｉモードケータイの取扱説明書をご覧ください。

1 バックアップとリセットの設定画面▶[ケータイデータお引越し]

2 画面に従って操作する

お知らせ

- スケジュールデータをカレンダーに取り込むにはGoogle アカウントが必要です。
- メールデータの取り込みを完了するには、spモードメールを起動して［≡］▶[取り込み]をタップして取り込みを行ってください。
- デコメ®ピクチャ、デコメ絵文字®は、spモードメールで確認できます。
- データは追加保存されるため上限値により取り込めない場合があります。重複したデータがある場合は別のデータとして保存されます。
- ｉモードケータイとスマートフォンのアプリの違いにより、データによっては取り込めない場合があります。

端末をリセットする

本端末をお買い上げ時の状態に戻します。

- この操作を行うと、ご購入後に本端末にお客様がインストールしたアプリや登録したデータは、一部を除きすべて削除されます。

1 バックアップとリセットの設定画面▶[データの初期化]▶端末パスワードを入力▶[OK]

- 端末パスワードが未設定の場合は☞P.242「端末パスワードを設定する」手順3～4

2 [携帯端末をリセット]

- 画面ロックを設定している場合は、設定した解除方法を行います。

3 [すべて消去]

端末が再起動します。

お知らせ

- [通信事業者]の設定はリセットされません（☞P.278）。

外部接続

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[外部接続]

2 以下の操作を行う

メディアデバイス（MTP）	MTPに対応しているパソコンと接続し、本体内、microSDカード内のファイルを相互に転送できるようにします（☞P.260）。
カメラ（PTP）	MTPに対応していないパソコンと接続し、本体内のファイルを相互に転送できるようにします。
カードリーダーモード	microSDカードをリムーバブルディスクとしてパソコンに認識させます。
接続モード	MHL接続時の接続モードを設定します。 • MHLケーブル接続中は設定を変更できません。

システム

ユーザー補助

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[ユーザー補助]

- [スクリーンリーダーをご利用になりますか？]が表示されたら、[OK]をタップしてGoogle Play ストアからTalkBackをインストールするか、[キャンセル]をタップします。

2 以下の操作を行う

TalkBack	TalkBackのON／OFFを設定します。 • TalkBackがインストールされているときのみ表示されます。
拡大操作	画面を3回続けてタップすると、その画面を拡大／縮小するように設定します。
大きい文字サイズ	文字サイズを大きくします。
電源ボタンで通話を終了	⏻を押して通話を終了できるようにします。 • チェックを付けた場合、通話中にスリープモードを解除するには[ホーム]を押してください。
画面の自動回転	☞P.222
パスワードの音声出力	パスワード入力時に音声で出力します。
ユーザー補助のショートカット	TalkBackなどのユーザー補助機能を2ステップで有効にできるように設定します。
テキスト読み上げの出力	☞P.243
押し続ける時間	ロングタッチするときに押し続ける時間を設定します。
ウェブアクセシビリティの拡張	Google からのウェブスクリプトのインストールを許可するかどうかを設定します。

端末情報

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[端末情報]

2 以下の操作を行う

項目		内容
ソフトウェア更新		☞P.298
Androidバージョンアップ		☞P.298
Psmart更新通知		Psmartの更新時に通知するかどうかを設定します。
端末の状態		電池残量や電話番号などを確認できます。
法的情報	Immersionコピーライト	Immersionソフトウェアのコピーライトを確認できます。
	オープンソースライセンス	オープンソースライセンス（GPL v2／LGPL含む）を確認できます。
	Google利用規約	Google 利用規約を確認できます。
モデル番号		型番を確認できます。
Androidバージョン		ソフトウェアのバージョンを確認できます。
ベースバンドバージョン		
カーネルバージョン		
ビルド番号		

ファイル管理

ストレージ構成

本端末内やmicroSDカード内には撮影した写真やダウンロードしたデータなど、さまざまなファイルを保存できます。

- パソコンで本端末内やmicroSDカード内のデータを確認するには☞P.260

本体ストレージ

お買い上げ時の本体ストレージに作成されるフォルダ構成は以下のとおりです。

- 本端末の操作状況によっては、表示されるフォルダが異なる場合があります。

フォルダ	内容
Alarm※1	アラーム音などが保存されます。
Android	本端末内のアプリが使用するファイルなどが保存されます。 • このフォルダ内の構成やファイルを変更／削除すると、アプリが正常に動作しなくなる場合があります。
DCIM	カメラで撮影した静止画や動画ファイルが保存されます。
Download	ウェブブラウザなどからダウンロードしたファイルが保存されます。
Movies	動画ファイルなどが保存されます。
Music	音楽ファイルなどが保存されます。
Notifications※1	通知音などが保存されます。
Pictures	画面キャプチャされた画像ファイルなどが保存されます。
Podcasts	ポッドキャストからダウンロードしたファイルが保存されます。
Ringtones※1	着信音などが保存されます。
SmartArch	スマートアーチでパソコンから送受信したファイルが保存されます。

※1 本端末では使用しません。

microSDカード（外部ストレージ）

- 本端末は、2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカード、64GBまでのmicroSDXCカードに対応しています（2013年6月現在）。
  microSDカードの製造メーカーや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。掲載されているmicroSDカード以外については、各microSDカードの製造メーカーへお問い合わせください。
  http://panasonic.jp/mobile/
  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

■ microSDXCカードご利用時の注意

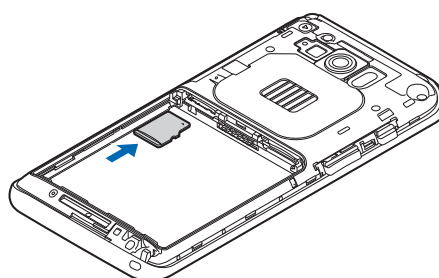
- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損等することがあるため、差し込まないでください。データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードの初期化（データはすべて削除されます）をする必要があります。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、microSDHCもしくはmicroSDカード等コピー先（元）機器の規格に準拠したカードをご利用ください。

microSDカードの取り付け／取り外し

- microSDカードの取り付け／取り外しは、端末の電源を切り、リアカバーと電池パックを取り外してから行ってください（☞P.35、P.46）。

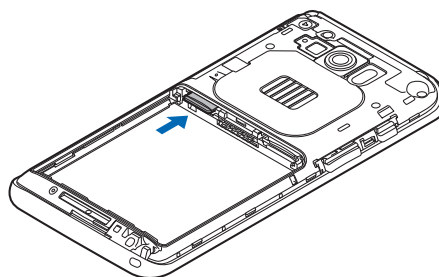
■ microSDカードを取り付ける

1 金属端子面を下にして、イラストの向きでmicroSDカード挿入部にロックするまで差し込む

- 「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

■ microSDカードを取り外す

- microSDカードを取り外すとき、microSDカードが端末から飛び出す場合がありますのでご注意ください。

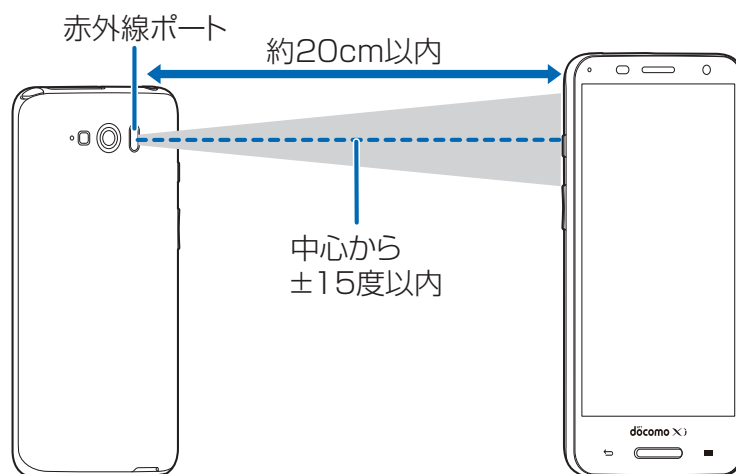
1 microSDカードを軽く押し込む

microSDカードが少し出ます。

2 microSDカードをまっすぐ引き出す

データ通信

赤外線通信

本端末はIrMC™バージョン1.1規格に準拠しています。赤外線通信機能を持つ他の端末などとの間で、データを送受信できます。

- 電話帳、spモードメール、スケジュール、メモ、画像、トルカなどのデータを送受信できます。
- アプリによっては、赤外線通信による共有メニューを選択しても、データを送信できない場合や、受信したデータが利用不可能な場合があります。
- 送信する画像と同じファイル名の画像が受信側にある場合、受信側のファイルが上書きされることがあります。
- データの送受信が終わるまで相手側の赤外線ポート部分に向けたままにして動かさないでください。
- 端末を手に持つ場合は、ぶれないようにしっかりと固定させてください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の直下・赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
- 赤外線通信機能が実行中の場合は、無操作のまま設定時間が過ぎてもスリープモードになりません。
- ⏻を押して手動でスリープモードにした場合、赤外線通信機能は終了します。

赤外線通信でデータを送信する

1 赤外線アプリから送信する場合

ホーム画面▶[ツール]▶[赤外線]

赤外線メニュー画面が表示されます。

[全件送信]▶[電話帳]／[spモードメール]／[スケジュール&メモ]

- 全件送信する場合は、ドコモアプリパスワードと、受信側と同じ4桁の認証パスワードを入力する必要があります。

各アプリから送信する場合

各アプリを起動▶送信したいデータを選択▶[≡]▶赤外線による送信／共有のメニューをタップ

- ピクチャアルバムで画像を送信する場合は、送信したいデータを選択▶[共有アイコン]▶[赤外線]をタップします。

2 [OK]▶送信後、[OK]

- 連絡先を1件ずつ送信する場合、グループ名は送信されません。

赤外線通信でデータを受信する

1 1件受信する場合

赤外線メニュー画面▶[1件受信]▶[OK]▶受信後、[OK]▶[OK]

全件受信する場合

赤外線メニュー画面▶[全件受信]▶ドコモアプリパスワードを入力▶[OK]▶4桁の認証パスワードを入力▶[決定]▶[OK]▶受信後、[OK]▶[保存する]

- 全件受信する場合は、送信側でも同じ4桁の認証パスワードを入力する必要があります。
- 送信側から送られるデータが1件の場合は、[1件受信]を選択してください。[全件受信]を選択すると受信データを保存できない場合があります。
- 複数のアカウントがあるときに連絡先を受信した場合は、登録するアカウントを選択します。

Bluetooth通信

本端末のBluetooth機能を利用して、近くにあるBluetooth機器と無線でデータをやりとりできます。

- Bluetooth対応バージョンやプロファイルについては☞P.309
- 設定や操作方法については、接続するBluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。
- 本端末とすべてのBluetooth機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

■ 良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。

- 他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。本端末と他のBluetooth機器の間に障害物がある場合も、接続可能距離は短くなります。
  特に鉄筋コンクリートの建物では、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁をはさんで設置した場合、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
- 他の機器（電気製品／AV機器／OA機器など）からなるべく離して接続してください。（電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。）近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。（UHFや衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります。）
- 放送局や無線機などが近く、正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の場所を変更してください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器を鞄やポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器と本端末の間に身体を挟むと通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。

■ 無線LANとの電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- 本端末やワイヤレス接続するBluetooth機器は、無線LANと10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切ってください。

■ **Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。**

場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

- 電車内
- 航空機内
- 病院内
- 自動ドアや火災報知器から近い場所
- ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

Bluetooth機器と接続する

Bluetooth機能を持ったパソコンや携帯電話などと、Bluetooth通信でデータをやりとりできます。また、ワイヤレスイヤホンセットを接続して、ハンズフリーで通話したり、音楽を聴いたりすることができます。

- あらかじめ相手のBluetooth機能をONにして、接続可能になっていることを確認してください。

1 **ホーム画面▶[本体設定]▶[Bluetooth]**

2 **「Bluetooth」をONにする**

Bluetooth設定画面が表示されます。
Bluetooth機器の検索が開始され、[使用可能なデバイス]欄に検出されたBluetooth機器が表示されます。

- 本端末名をタップするたびに、他のBluetooth機器からの検出可／不可の状態が切り替わります。検出可能時間は[≡]▶[表示のタイムアウト]で設定できます。

3 **検出されたBluetooth機器を選択してペア設定を行う**

4 **必要な場合はパスコード（PIN）を入力▶[OK]**

ペア設定が完了すると、[ペアリングされたデバイス]欄にペアリングされたBluetooth機器が表示されます。

- 相手のBluetooth機器もパスコード（PIN）が必要な場合は、パスコード（PIN）を入力してください。

お知らせ

- Bluetooth通信を使用しないときは、電池の減りを防ぐため、Bluetooth機能をOFFにしてください。
- Bluetooth機能のON／OFF設定は、電源を切っても変更されません。

端末名を変更する

Bluetooth通信を行ったときに、相手の機器に表示される本端末の名前を変更できます。

1 **Bluetooth設定画面▶ ≡ ▶[端末の名前を変更]▶名前を入力▶[名前を変更]**

Bluetooth通信でデータを送受信する

- アプリによっては、Bluetooth通信による共有メニューを選択しても、データを送信できない場合や、受信したデータが利用不可能な場合があります。

Bluetooth通信でデータを送信する

画像やウェブページのURLなどを他のBluetooth機器に送信できます。

- 各アプリの送信／共有のメニューから操作を行ってください。
- ステータスバーにが表示されたら、通知パネルを開いて送信が完了したことを確認します。

Bluetooth通信でデータを受信する

1 **送信側からデータを送信**

データを着信すると、ステータスバーにが表示されます。

2 **通知パネルを開く▶通知をタップ▶[承諾]**

- ステータスバーにが表示されたら、通知パネルを開いて受信が完了したことを確認します。

Bluetooth機器の接続を解除する

1 **Bluetooth設定画面▶解除したい機器の🔧をタップ▶[ペアを解除]**

NFC通信

NFC機能を利用して、他の対応機器とデータのやりとりができます。

- 対向機にかざす際の注意事項については（☞P.154）

Android ビーム

Reader／Writer, P2P機能を搭載した端末との間でデータを送受信できます。

- あらかじめ[Reader／Writer, P2P]を有効にし、Android ビームを[ON]にしておいてください。
- NFC／おサイフケータイ ロックを設定している場合は、Android ビームを利用できません。
- アプリによってはAndroid ビームをご利用になれません。
- すべてのReader／Writer, P2P機能を搭載した端末との通信を保証するものではありません。

■データを送信

例：電話帳のとき

1 ホーム画面▶[電話帳]

2 連絡先を選択

3 相手の端末と マークを重ね合わせる

- [タップしてビーム]が表示されます。

4 画面をタッチ

■データを受信

例：電話帳のとき

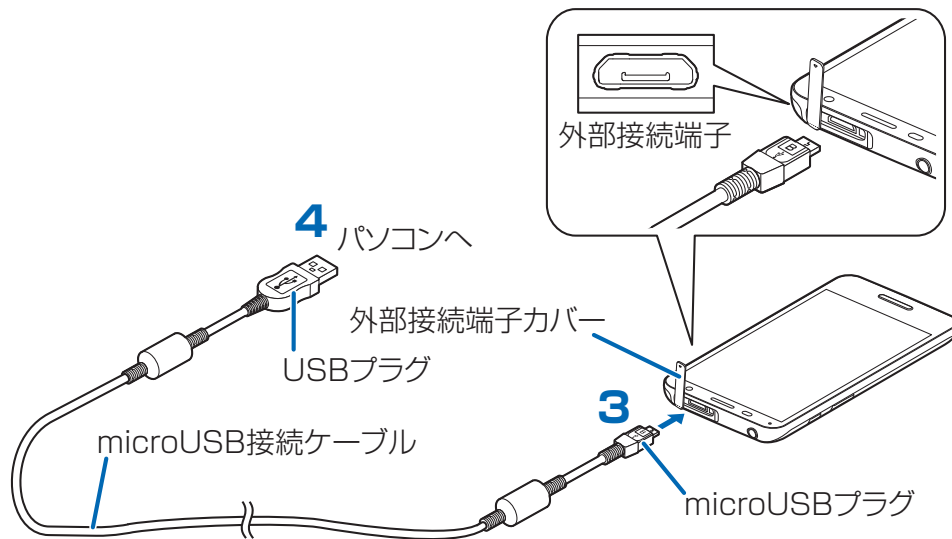
1 相手の端末と マークを重ね合わせる▶必要に応じてアプリを選択

外部機器接続

パソコンとの接続

microUSB接続ケーブルでパソコンと接続する

microUSB接続ケーブル 01（別売）で本端末とパソコンを接続すると、本体ストレージやmicroSDカードのデータをパソコンから読み書きできます。

- カメラソフトやMTP非対応パソコンとデータをやりとりする場合は、[外部接続]を[カメラ（PTP）]に設定してください（☞P.246）。
- microSDカードをリムーバブルディスクとしてパソコンに認識させる場合は、[外部接続]を[カードリーダーモード]に設定してください（☞P.246）。

1 **ホーム画面▶[本体設定]▶[外部接続]**

2 **[メディアデバイス（MTP）]にチェックを付ける**

3 **microUSB接続ケーブルのmicroUSBプラグを、USBマーク（⭠）を上にして外部接続端子に水平に差し込む**

- 外部接続端子のカバーをイラストの位置にしてください。外部接続端子カバーの開けかたについては☞P.34

4 **microUSB接続ケーブルのUSBプラグを、パソコンのUSBコネクタに水平に差し込む**

5 パソコン側▶「マイ コンピュータ」／「コンピュータ」／「コンピューター」を開く▶「P-03E」を開く▶「SDカード」／「本体ストレージ」を選択

microSDカードまたは本体ストレージのデータが表示されます。

6 端末とパソコンの間で、ファイルをドラッグ＆ドロップ

お知らせ

- メディアファイル（音、映像）以外をパソコンからコピーする場合は、[外部接続]を[カードリーダーモード]に設定してください。

■ microUSB接続ケーブルを安全に取り外す

データ転送中でないことを確認してmicroUSB接続ケーブルを取り外します。

- データ転送中にmicroUSB接続ケーブルを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

スマートアーチでレッツノートと連携する

Bluetooth通信とWi-Fi通信を利用して、連携機能に対応しているノートパソコン「レッツノート」と本端末の間でファイルをコピーしたり、ノートパソコンの画面を表示、操作したり、プレゼンテーション操作を簡単にできます。また、テザリングを利用して、リモートデスクトップで操作中のノートパソコンをインターネットに接続できます。

- 使用できるノートパソコンやノートパソコン用アプリなど、最新の動作確認情報については下記サイト内の記載をご覧ください。
  http://askpc.panasonic.co.jp/spsup/
  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ノートパソコンにもノートパソコン用アプリをインストール（またはアップデート）する必要があります。また、インストールしたノートパソコン用アプリを起動するなどの操作を行ってください。

連携先PC設定

スマートアーチを利用するには、連携機能に対応しているノートパソコンを連携先として設定する必要があります。

1 ホーム画面▶[ツール]▶[ELUGA Link]

2 [スマートアーチでレッツノートと連携する]▶[設定]

- [連携先PC設定]を設定している場合は☞P.263

3 [連携先PC設定]▶画面に従って操作する

- ノートパソコン側のノートパソコン用アプリを起動して、ウィザードに従い操作する必要があります。
- Bluetooth許可リクエストの画面が表示された場合は、[はい]をタップします。
  セキュリティボックスやあんしんログインの利用確認画面が表示された場合は、「はい」または「いいえ」をタップします。

ノートパソコンと連携して利用する

1 ホーム画面▶[ツール]▶[ELUGA Link]

2 [スマートアーチでレッツノートと連携する]▶以下の操作を行う

- [設定]をタップすると、連携先PCの設定やテザリング設定、イベント通知の設定などが行えます。

リモートデスクトップ	連携先のノートパソコンの画面を本端末で表示し、操作できます。 • あんしんログインと連携してパスワードを自動入力できます。
ファイル送受信	ノートパソコンの指定フォルダと本端末の間でファイルを送受信します。 • セキュリティボックスに格納されているファイルも送受信できます。
ドキュメントビューア	Officeドキュメントの表示が可能なアプリを起動します。
プレゼンサポート	ノートパソコンに表示されているPowerPointファイルを本端末で操作できます。 ※本機能を利用するにはMicrosoft PowerPoint 2003以上がノートパソコンにインストールされている必要があります。(PowerPointは最新の状態にしてお使いください。)
イベント通知	本端末の電話着信やメール受信、アプリからの通知などをノートパソコンで確認できます。

お知らせ

- ノートパソコンがスリープ状態でも利用できます。

プリンターとの接続

EPSON製のWi-Fi対応プリンターでウェブページや画像を印刷できます。

- 対応するWi-Fi対応プリンターなど詳細については、下記のホームページをご覧ください。
  http://www.epson.jp/products/colorio/printer/
- Wi-Fi対応プリンターの操作方法は、Wi-Fi対応プリンターの取扱説明書をご覧ください。
- あらかじめWi-Fiを[ON]にし、Wi-Fi対応プリンターと同じアクセスポイントに接続してください（☞P.86）。

1 ウェブページ表示中またはピクチャアルバムの拡大画面▶ ≡ ▶[印刷]

- 初回起動時はソフトウェア使用許諾契約書を読み、[OK]をタップします。
- ピクチャアルバムの拡大画面▶ ▶[EPSON プリンター]をタップしても設定できます。

2 印刷設定を行う▶[完了]

- プリンターや用紙サイズなどを設定できます。

3 [印刷]

お知らせ

- 画面に表示されている内容と実際に印刷される内容が異なる場合があります。また画像によっては印刷できない場合があります。

DLNA機器との接続

本端末とDLNA対応機器間で静止画や動画などのファイルを共有できます。

- Wi-Fi通信でDLNAを利用する場合は、本端末とDLNA対応機器を同じアクセスポイントに接続する必要があります（☞P.86）。アクセスポイントはIEEE802.11nの無線ブロードバンドルーターをお選びください。
- 使用できるDLNA対応機器など、最新の動作確認情報については下記サイト内の記載をご覧ください。
  http://panasonic.jp/mobile/
  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

1 ホーム画面▶[ツール]▶[ELUGA Link]

2 [VIERA/DIGAと連携する]▶以下の操作を行う

かんたんメニュー	**接続できるVIERA・DIGA**	対応機器一覧を表示します。
	VIERA・DIGAの録画番組を見る	VIERA・DIGAに保存した番組や写真を、ご家庭内のお好きな場所から本端末で楽しめます。
	写真や動画をVIERAに映す	本端末で撮影した写真や動画、持ち出し番組をVIERAの大画面に映してみんなで楽しめます。
	DIGAの録画番組を持ち出す	DIGAで録画した番組を本端末に持ち出して、外出先でも楽しめます。
	テレビ放送を見る	VIERA・DIGAから現在放送中の番組を本端末で受信して、きれいな画質で楽しめます。

詳細メニュー	DLNA機器のデータ操作	接続可能なDLNA対応機器の一覧を表示します。DLNA対応機器を選択すると、DLNA対応機器に保存されているファイルが表示されます。表示されているファイルを本端末で再生したり、持ち出したりできます。
	ELUGA内のデータ操作※1	端末内のファイルを表示します。DLNA対応機器と接続すると、ファイルをDLNA対応機器に送信したり、DLNA対応機器でファイルを表示したりできます。
	DLNAサーバー※1	本端末を接続待ち状態にし、DLNA対応機器側から操作できるようにします。 ● DLNA対応機器側の操作については、DLNA対応機器の取扱説明書をご覧ください。
	自動で番組持ち出し	ブルーレイディスクレコーダーで録画した番組を自動で本端末に保存する設定を行います。
	自動で写真保存※2	本端末で撮影した写真を自動でDLNA対応機器に保存する設定を行います。
	外からDIGA接続	あらかじめDIGAの機器IDを登録しておくことで、インターネット経由でDIGAとファイルの共有を行うことができます（録画番組には対応していません）。
履歴		過去に再生、データ転送したファイルが格納されているDLNA対応機器のフォルダの履歴を表示します。タップするとフォルダを表示します。
設定		スライドショーやMeMORA、画質など、DLNAに関する設定を行います。

※1 本体ストレージとmicroSDカードに保存されている持ち出し番組、および以下のフォルダに保存されている静止画／動画／音楽ファイルが操作できます。
・DCIM
・Download
・Movies
・Music
・Pictures

※2 本体ストレージのDCIMフォルダに保存された静止画が対象です。

お知らせ

- DIGAで録画したテレビ番組（VGA画質）をmicroSDカードに保存する場合は、1番組につき最大3.86GB（最大5時間25分）まで転送することができます。また、本端末で録画したワンセグや、ブルーレイディスクレコーダーなど他の機器で録画したものを含み、最大99番組まで保存できます。
- ブルーレイディスクレコーダーで録画したテレビ番組（VGA画質以外）をmicroSDカードに保存した場合は、本端末のみで再生が可能です。
- ブルーレイディスクレコーダーで録画したテレビ番組の転送にかかる時間は、録画モードや、保存先、保存画質によって変わります。放送画質（DRモード）で録画した1時間の番組を転送する場合、オリジナル画質で約50分、VGA画質で約10分です。

その他機器との接続

Wi-Fi Direct対応機器と接続する

アクセスポイントがなくても、Wi-Fi Direct対応機器どうしを最大7台まで同時に接続することができます。

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[Wi-Fi]

- Wi-FiがOFFの場合はONにします。

2 [≡]▶[Wi-Fi Direct]▶[OK]

Wi-Fi Direct設定画面が表示されます。
Wi-Fi DirectがONになり、利用可能なWi-Fi Direct対応機器を検索します。

3 検出された機器名を選択

■Wi-Fi Directの接続を解除する

1 Wi-Fi Direct設定画面▶接続中の機器名をタップ▶[OK]

テレビなどの外部機器と接続する

Miracastで接続する

本端末に表示している映像や音声をテレビなどの外部機器に表示します。

- 別途、Miracast対応アダプターが必要です。

1 **ホーム画面▶[本体設定]▶[その他...]**

2 **[Miracast]▶[OK]**

Miracast設定画面が表示されます。
Wi-Fi DirectがONになり、出力可能な外部機器を検索します。

3 **検出された外部機器名を選択▶[接続]**

- 一度接続したことがある外部機器を選択した場合はすぐに接続を開始し、本端末の映像や音声が外部機器に表示されることがあります。

4 **Miracast対応アダプターのWPSボタンを押す**

本端末の映像や音声が外部機器に表示されます。

■ Miracastを停止する

1 **Miracast設定画面▶接続中の外部機器名をタップ▶[出力停止]**

お知らせ

- 外部機器に表示中でも、アプリによっては表示を停止する場合があります。また、Miracast利用中に動画を再生すると、本端末側の画面では動画部分が黒く表示される場合があります。
- 利用する外部機器の種類および設定によっては、表示される映像の縁が切れたり、縦横比が正しく表示されない場合があります。その場合は、外部機器の設定を確認してください。
- Bluetooth機器を利用中にMiracastを利用すると、Miracastの接続ができなかったり、映像や音声が乱れたり、ペアリングできないことがあります。その場合は、Bluetooth機器の電源を切ってください。
- 他のWi-Fiネットワーク接続中にMiracastを利用すると、Miracastの接続ができなかったり、映像や音声が乱れたり、映像の出力が失敗することがあります。その場合、他のWi-Fiネットワーク接続を切断してください。
- 周囲の環境によっては、無線の干渉を受けて映像が乱れたり音飛びが発生したりする場合があります。また、接続に失敗したり、映像の出力が切れてしまう場合があります。本端末と外部機器は障害物やそのほかの無線機器のない見通しのよい環境にてご利用ください。
- 充電しながらMiracastを利用すると端末の温度が高くなり、温度異常となる場合があります。
  温度異常を検知すると温度を下げるために端末の処理負荷を下げる処理が行われ、映像が乱れたり音飛びが発生したりする場合があります。

MHLで接続する

本端末とHDMI端子付きのテレビを接続すると、本端末の画面をテレビに表示できます。

- HDMIケーブル（市販品）とHDMI変換ケーブル　L01（別売）が必要です。また、MHLに対応したテレビは、MHLケーブル（市販品）を使用することで接続できます。

1 本端末を必要なケーブルでテレビに接続する

お知らせ

- 外部機器に表示中でも、アプリによっては表示を停止する場合があります。また、MHL接続中に動画を再生すると、本端末側の画面では動画部分が黒く表示される場合があります。
- 利用する外部機器の種類および設定によっては、表示される映像の縁が切れたり、縦横比が正しく表示されない場合があります。その場合は、外部機器の設定を確認してください。
- MHL接続利用時には、お客様の利用環境によって電波状態に影響がでる場合があります。
- MHL接続中に着信があった場合は、MHL接続を中断します。
- MHL接続中は、MHLケーブルやテレビによっては十分に充電できない場合があります。
- ご使用のケーブルによっては正しく表示されない場合があります。正しく表示されない場合は、本端末からケーブルを外して接続モードを[フルHD 60fpsを利用しない]に変更して再度ケーブルを接続してください（☞P.246）。
- すべてのHDMI機器との動作を保証するものではありません。
- 本端末の使用状態などによっては、MHL接続中に端末の温度が高くなり、温度異常となる場合があります。
  温度異常を検知すると温度を下げるために端末の処理負荷を下げる処理が行われ、映像が乱れたり音飛びが発生したりする場合があります。また、本端末の画面がテレビに表示されなくなる場合もあります。その場合は、本端末を一度ケーブルから外して、本端末の温度が下がってから再度ケーブルと接続してください。
- Miracast利用中にMHLケーブルを接続すると、Miracastは停止します。
- MHLケーブル接続中にMiracastは利用できません。
- MHLケーブル接続中は、本端末の画面の回転が固定され、横画面表示になります。ただし、使用中のアプリによっては、横画面とならない場合があります。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用いただけるサービスです。電話、メッセージ（SMS）は設定の変更なくご利用になれます。

- 対応ネットワークについて
  本端末は、クラス4になります。3GネットワークおよびGSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHz／GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。
- 海外ではXiエリア外のため、3GまたはGPRSネットワークをご利用ください。
- 海外でご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。
  ・『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
  ・ドコモの「国際サービスホームページ」

お知らせ

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国・地域および海外通信事業者は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

ご利用できるサービス

（○：利用可能）

主な通信サービス	3G	3G850	GSM（GPRS）
電話	○	○	○
メッセージ（SMS）	○	○	○
メール※1	○	○	○
ブラウザ※1	○	○	○

※1 ローミング時にデータ通信を利用するには、[データローミング]にチェックを付けてください（☞P.278）。

お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

ご利用時の確認

出発前の確認

海外でご利用いただく際は、日本国内で次の確認をしてください。

ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は「総合お問い合わせ先」（☞P.339）までお問い合わせください。

充電について

- 海外旅行で充電する際のACアダプタは、別売の「ACアダプタ 03」または「ACアダプタ 04」をご利用ください。
- 付属のワイヤレスチャージャー P03は、海外ではご利用できません。

料金について

- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。
- ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様ご自身でアプリ提供元にご確認ください。

事前設定

ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」を開始にする必要があります。 渡航先で「遠隔操作設定」を行うこともできます。
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

滞在国での確認

海外に到着後、端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

接続について

[通信事業者]の設定で利用可能なネットワークを[自動的に選択]に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。
定額サービス適用対象国・地域の通信事業者をご利用の場合、海外でのパケット通信料が1日あたり一定額を上限としてご利用いただけます。なお、ご利用には国内のパケット定額サービスへのご加入が必要です。詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

ディスプレイの表示について

- ステータスバーには（ローミング中）が表示されます。パケット通信が可能な場合でもネットワークの種類（3G／GSM）は表示されません。
- 接続している通信事業者名は、通知パネルで確認できます。

日付と時刻について

[日付と時刻の自動設定]、[タイムゾーンを自動設定]にチェックを付けている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- ☞P.223「日付と時刻」

お問い合わせについて

- 本端末やドコモminiUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、「海外での紛失、盗難、故障および各種お問い合わせ先」(☞P.338)をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

海外で利用するための設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

ネットワークモードを設定する

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[その他...]

2 [モバイルネットワーク]▶[ネットワークモード]▶以下の操作を行う

LTE／3G／GSM（自動）	利用できるネットワークに自動的に切り替えます。
LTE／3G	LTE／3Gネットワークを利用します。
GSM	GSMネットワークを利用します。

お知らせ

- 海外ではXiエリア外のため、LTEネットワークは利用できません。

接続する通信事業者を設定する

1 **ホーム画面▶[本体設定]▶[その他...]**

2 **[モバイルネットワーク]▶[通信事業者]**

利用可能なネットワークを検索して表示します。
- [ネットワークを検索]をタップすると、再検索できます。
- ネットワークの検索でエラーが発生する場合は、[データ通信を有効にする]（☞P.214）のチェックを外して再度実行してください。

3 **接続したい通信事業者をタップ**

- 接続する通信事業者を自動で設定する場合は、[自動的に選択]をタップします。

お知らせ
- 滞在先で通信事業者を手動で設定した場合は、日本帰国後に利用可能なネットワークを[自動的に選択]に設定してください。

データローミングを設定する

1 **ホーム画面▶[本体設定]▶[その他...]**

2 **[モバイルネットワーク]▶[データローミング]にチェックを付ける▶注意画面の内容を確認▶[OK]**

滞在先で電話をかける／受ける

滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国から他の国へ電話をかけることができます。

- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

1 ホーム画面▶[電話]

2 ＋（[0]をロングタッチ）▶国番号→地域番号（市外局番）→電話番号の順に入力

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- 電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、滞在国内外にかかわらず国番号として「81」（日本）を入力してください。
- 「＋」や国番号を入力せずに、[≡]▶[国際電話発信]をタップすると国番号や国際プレフィックスを選択して発信できます。

3 [📞]

- [国際ダイヤルアシスト]（☞P.281）で[自動変換機能]にチェックを付けている場合は、「0」で始まる地域番号（市外局番）から入力して発信できます。

滞在国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 ホーム画面▶[電話]

2 地域番号（市外局番）を含む電話番号を入力

- 電話をかける相手が「WORLD WING」利用者の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、国番号として「81」（日本）を入力してください。

3

- [国際ダイヤルアシスト](☞P.281)で[自動変換機能]にチェックを付けている場合は、[元の番号で発信]をタップします。

滞在先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

相手からの電話のかけかた

■日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」をダイヤルしてもらう必要があります。
発信国の国際アクセス番号-81-90（または80）-XXXX-XXXX

国際ローミング時の設定を行う

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[通話設定]

2 [海外設定]▶以下の操作を行う

<table>
<tr><td colspan="2">ローミング時着信規制</td><td>ローミング中に着信を受け付けないように設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ローミング着信通知</td><td>ローミング中に、電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、かかってきた電話に応答できなかったときに、その着信の情報をメッセージ（SMS）にてお知らせします。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ローミングガイダンス</td><td>ローミング中に電話がかかってきたときに、相手にローミング中であることを通知するガイダンスを流します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">国際ダイヤルアシスト</td><td>自動変換機能</td><td rowspan="3">[自動変換機能]にチェックを付けると、国際電話の発信時に国番号や国際プレフィックスを付加して発信できます。また、国番号や国際プレフィックスの追加／編集／削除もできます。</td></tr>
<tr><td>国番号</td></tr>
<tr><td>国際プレフィックス</td></tr>
<tr><td rowspan="6">ネットワークサービス</td><td>遠隔操作（有料）</td><td rowspan="6">海外から留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。
• あらかじめ「遠隔操作設定」を開始にする必要があります。
• 海外から操作した場合は、利用した国の日本向け通話料がかかります。
• 海外通信事業者によっては、設定できないことがあります。</td></tr>
<tr><td>番号通知お願いサービス（有料）</td></tr>
<tr><td>ローミング着信通知（有料）</td></tr>
<tr><td>ローミングガイダンス（有料）</td></tr>
<tr><td>留守番電話サービス（有料）</td></tr>
<tr><td>転送でんわサービス（有料）</td></tr>
</table>

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

- [ネットワークモード]を[LTE／3G／GSM（自動）]に設定してください（☞P.277）。
- [通信事業者]の設定で利用可能なネットワークを[自動的に選択]に設定してください（☞P.278）。

付録

オプション品・関連機器のご紹介

本端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。
なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプション品の詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 電池パック P30
- リアカバー P60
- ワイヤレスチャージャー P03
- 卓上ホルダ P53
- モバキャス外部ロッドアンテナ P01
- ワイヤレスチャージャー 01/02
- ACアダプタ P01（マイクロUSB）
- ACアダプタケーブル P01
- ACアダプタ 04※1
- ACアダプタ 03
- microUSB接続ケーブル 01
- HDMI変換ケーブル L01
- DCアダプタ 03
- ポケットチャージャー 01/02
- 海外用AC変換プラグCタイプ 01
- キャリングケース 02
- 車内ホルダ 01
- ワイヤレスイヤホンセット P01
- ワイヤレスイヤホンセット 02/03
- Bluetoothヘッドセット F01※2
- Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01
- 骨伝導レシーバマイク 02
- 車載ハンズフリーキット 01
- ドライブネットクレイドル 01
- L-03E※3

※1 ACアダプタでの充電方法については☞P.47

※2 Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01が必要です。

※3 本端末への給電を行うチャージャー機能の対応となります。

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- まずはじめにソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（☞P.298）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、「故障お問い合わせ先」（☞P.339）または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■電源

症状	チェックする箇所
本端末の電源が入らない	● 電池パックが正しく取り付けられていますか（☞P.46）。 ● 電池切れになっていませんか（☞P.47）。
画面が動かない、電源が切れない	● 画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に⏻を10秒以上押すと、本端末の電源を強制的に切ることができます。 ※強制的に電源を切る操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

■ 充電

症状	チェックする箇所
充電ができない（充電ランプが点灯しない、またはステータスバーに温度異常／充電異常アイコンが表示される）	• 電池パックが正しく取り付けられていますか（☞P.46）。 • ワイヤレスチャージャーを使って充電している場合、専用ACアダプタを使用していますか。 • 専用ACアダプタの電源プラグ、コネクタが正しく差し込まれていますか（☞P.48）。 • ワイヤレスチャージャーと本端末の間に異物がありませんか。 • ワイヤレスチャージャーに本端末が正しく置かれていますか（☞P.48、P.50）。 • ワイヤレスチャージャーを使って充電している場合、本端末の温度が高すぎる、または低すぎる状態になっていませんか（☞P.51）。 • アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか（☞P.52）。 • ACアダプタ（別売）をご使用の場合、microUSBプラグが本端末と正しく接続されていますか（☞P.52）。 • 本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル（別売）で接続している場合、パソコンの電源が入っていますか。 • 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇してステータスバーに温度異常アイコンが表示される場合があります。その場合は、本端末を一度アダプタやワイヤレスチャージャーから外して、本端末の温度が下がってから再度充電を開始してください。 • ステータスバーに充電異常アイコンが表示されたときは、通知パネルを開き、対処方法に従って操作してください。

■端末操作

症状	チェックする箇所
操作中・充電中に熱くなる	• 操作中や充電中、また、充電しながら電話やワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、本端末や電池パック、アダプタ、ワイヤレスチャージャーが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください（☞P.24、P.26）。
電池の使用時間が短い	• 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。 圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています（☞P.310）。 • 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります（☞P.310）。 • 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください（☞P.48）。
電源断・再起動が起きる	• 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください（☞P.23）。
タッチパネルをタップしたとき／ボタンを押したときに動作しない	• スリープモードになっていませんか。 ⏻または[ホーム]を押してスリープモードを解除してください（☞P.54）。 • 電源を入れ直してください（☞P.54）。
▲／▼を押しても音量調整できない	• マナーモード（バイブレーション）になっていませんか。マナーモードを解除してください（☞P.112）。
タッチパネルをタップしたとき／ボタンを押したときの画面の反応が遅い	• 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。
ドコモminiUIMカードが認識しない	• ドコモminiUIMカードを正しい向きで挿入していますか（☞P.44）。

症状	チェックする箇所
時計がずれる	● 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。 [日付と時刻の自動設定]、[タイムゾーンを自動設定]にチェックが付いているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください(☞P.223)。
端末動作が不安定	● ご購入後に端末へインストールしたアプリによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 ※セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。 ・セーフモードの起動方法 [電源キー]を1秒以上押し、[電源を切る]をロングタッチして[OK]をタップするか、電源がOFFの状態から[電源キー]を2秒以上押し、「NTT docomo」のロゴが表示されたときからホーム画面が表示されるまで[音量キー下]を押し続けてください。 ※セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。 ※セーフモードを終了するには、電源を1度OFFにし起動し直してください。 ・必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 ・お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 ・セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。
アプリが正しく動作しない(起動できない、エラーが頻繁に起こるなど)	● 無効にしているアプリはありませんか。無効にしているアプリを有効にしてから再度お試しください(☞P.225)。

■通話

症状	チェックする箇所
[phone button] をタップしても発信できない	• 機内モードになっていませんか（☞P.214）。
着信音が鳴らない	• 着信音量をサイレントにしていませんか（☞P.221）。 • マナーモードを設定していませんか（☞P.112）。 • 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」にしていませんか（☞P.116）。
通話ができない（場所を移動しても圏外の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	• 電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモminiUIMカードを取り付け直してください（☞P.44、P.46、P.54）。 • 電波の性質により、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態（[antenna icon]）でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。

■画面

症状	チェックする箇所
ディスプレイが暗い	• 画面の明るさを変更していませんか（☞P.221）。 • エコナビを設定していませんか（☞P.226）。

■音声

症状	チェックする箇所
通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	• 通話音量を変更していませんか（☞P.113）。

■メール

症状	チェックする箇所
メールを自動で受信しない	• メールのアカウント設定で受信トレイの確認頻度を[自動確認しない]に設定していませんか（☞P.133）。

■カメラ

症状	チェックする箇所
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	• カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください（☞P.172）。 • 人物を撮影するときは、[フォーカスモード]を[顔認識]に設定するか、[撮影モード]を[シーン]の[人物]に設定してください（☞P.175、P.176）。 • [手ブレ補正]を[オート]に設定して撮影してください（☞P.175）。

■ワンセグ

症状	チェックする箇所
ワンセグの視聴ができない	• 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか（☞P.163）。 • チャンネル設定をしていますか（☞P.168）。

■おサイフケータイ

症状	チェックする箇所
おサイフケータイが使えない	• 電池パックを取り外したり、おまかせロックを起動したりすると、NFC／おサイフケータイ ロックの設定に関わらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります（☞P.46）。 • NFC／おサイフケータイ ロックを起動していませんか（☞P.155）。 • 本端末の マークがある位置を読み取り機にかざしていますか（☞P.153）。

■ 海外利用

症状	チェックする箇所
海外で本端末が使えない	● アンテナマークが表示されている場合 ・WORLD WINGのお申し込みをされていますか。 WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。 ● 圏外が表示されている場合 ・国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。 利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」で確認してください。 ・ネットワークモードや通信事業者を変更してみてください。 [ネットワークモード]を[LTE／3G／GSM（自動）]に設定してください（☞P.277）。 [通信事業者]でサービスに対応している通信事業者を検索してください（☞P.278）。 ・本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直すことで回復する場合があります（☞P.54）。
海外でデータ通信ができない	● [データローミング]にチェックを付けてください（☞P.278）。
海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった	● 利用停止目安額を超えていませんか。 「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください（☞P.338）。
海外で電話がかかってこない	● [ローミング時着信規制]を[規制開始]に設定していませんか（☞P.281）。 ● [ネットワークモード]を[LTE／3G／GSM（自動）]以外に設定していませんか（☞P.277）。

症状	チェックする箇所
相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	• 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

■データ管理

症状	チェックする箇所
データ転送が行われない	• USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
microSDカードに保存したデータが表示されない	• microSDカードを挿入し直してください（☞P.251）。
画像表示しようとすると真っ黒の画面が表示される	• 画像データが壊れている場合は真っ黒の画面が表示されます。

■Bluetooth機能

症状	チェックする箇所
Bluetooth機器と接続ができない／検索しても見つからない	• Bluetooth機器（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth機器（市販品）と本端末の双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください（☞P.256）。
カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない	• 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください（☞P.54）。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明／対処方法
電池残量が少ないためバックアップを実行できません。充電後、再度実施してください。	• 電池残量が少ない状態でドコモバックアップ（microSDカードへ保存）を開始しようとしたときに表示されます。 十分充電してから再度操作してください（☞P.47）。
空き容量低下	• 端末の空き容量が低下しています。このままご使用になられると一部機能やアプリが動作しない場合があります。[本体設定]の[アプリ]から不要なアプリを選択し、アンインストールしてください。
PINコードを入力してください	• PINコードを設定している場合に表示されます。正しいPINコードを入力してください。
SIMカードが認識できません PINロック解除コードがロックされています	• PINロック解除コードがロックされている場合に表示されます。ドコモショップ窓口までお問い合わせください。
しばらくお待ちください。	• 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。 場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

■ DLNA機器との接続

エラーメッセージ	説明／対処方法
エラーが発生しました。再生を終了します。／通信に失敗しました。	• DIGAを操作中のため、再生できません。DIGAの操作を終了してから再度行ってください。
コンテンツ取得中にエラーが発生しました。	• DIGAを操作中のため、コンテンツ取得できません。DIGAの操作を終了してから再度行ってください。 • DIGAと接続できません。DIGAのアクセス許可を自動に変更してください。

エラーメッセージ	説明／対処方法
転送するファイルはありませんでした。	• 「自動で番組持ち出し」の転送対象期間外です。「自動で番組持ち出し」の転送期間の設定と、対象番組の録画日時を確認してください。 • 持ち出し番組が作成されていません。DIGAで持ち出し番組を作成してください。 • 持ち出し番組の持ち出し方法が「SD/USB経由」に設定されています。持ち出し方法を「ネットワーク経由」に設定してください。 • かんたん転送がOFFになっています。ONにしてください。
機器が見つかりません。	• DIGAの「お部屋ジャンプリンク」機能が有効になっていません。DIGAの設定を確認してください。

スマートフォンあんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をドコモと共有することで、端末操作や設定に関する操作サポートを受けることができます。

- ドコモminiUIMカード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 スマートフォン遠隔サポートセンターへ電話

- スマートフォン遠隔サポートセンター
  (フリーダイヤル) 0120-783-360
  受付時間 午前9:00～午後8:00（年中無休）

2 ホーム画面▶[アプリ]▶[遠隔サポート]

- はじめてご利用される際には、「ソフトウェア使用許諾書」に同意いただく必要があります。

3 ドコモからご案内する接続番号を入力

4 接続後、遠隔サポートを開始

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

※ 本端末はケータイデータお預かりサービス（お申し込みが必要なサービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターにバックアップしていただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。
それでも調子がよくないときは、「故障お問い合わせ先」（☞P.339）にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■以下の場合は、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・イヤホンマイク端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、「故障お問い合わせ先」（☞P.339）へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  ・火災・けが・故障の原因となります。
  ・改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
  以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - 液晶部やボタン部にシールなどを貼る
    - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  ・改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。
  キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：受話口／スピーカー
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新／Android バージョンアップ

ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中／Android バージョンアップ中は電池パックを外さないでください。ソフトウェア更新／Android バージョンアップに失敗することがあります。
- ソフトウェア更新／Android バージョンアップを行う際は、電池をフル充電しておいてください。ソフトウェア更新時／Android バージョンアップ時は充電ケーブルを接続することをおすすめします。
- 次の場合はソフトウェア更新／Android バージョンアップができません。
  - ・通話中
  - ・圏外が表示されているとき※
  - ・国際ローミング中※
  - ・機内モード中※
  - ・テザリングを有効にしているとき
  - ・ソフトウェア更新中／Android バージョンアップ中
  - ・日付と時刻を正しく設定していないとき
  - ・ソフトウェア更新／Android バージョンアップに必要な電池残量がないとき

  ※ 圏外、国際ローミング中は、Wi-Fi接続中であってもソフトウェア更新／Android バージョンアップができません。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）／Android バージョンアップ（ダウンロード、インストール）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新中／Android バージョンアップ中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用できません。ダウンロード中は電話の着信は可能です。ただし、電話の着信時はダウンロードが中断されます。
- ソフトウェア更新／Android バージョンアップは電波状態の良い所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェア更新／Android バージョンアップを中断することがあります。
- ソフトウェア更新が不要な場合は、[更新の必要はありません。このままお使いください]と表示されます。
  Android バージョンアップが不要な場合は、[バージョンアップの必要はありません。このままご利用ください]と表示されます。

- 国際ローミング中、もしくは、圏外にいるときには、[ドコモの電波が受信できない場所、またはローミング中はWi-Fi接続中であってもダウンロードを開始できません]／[ドコモの電波を受信できる場所へ移動したうえ、再度バージョンアップを実行してください。]と表示されます。Wi-Fi接続中も同様です。
- ソフトウェア更新中／Android バージョンアップ中に送信されてきたメッセージ（SMS）は、SMSセンターに保管されます。
- ソフトウェア更新／Android バージョンアップの際、お客様のP-03E固有の情報（機種や製造番号など）が、当社のソフトウェア更新用サーバー／Android バージョンアップ用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新／Android バージョンアップ以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新／Android バージョンアップに失敗した場合に、端末が起動しなくなることや、[ソフトウェア更新に失敗しました。お手数ですが、お近くのショップへお持ちください。]と表示され、一切の操作ができなくなることがあります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後／Android バージョンアップ後の再起動の途中で、PINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中／Android バージョンアップ中は、他のアプリを起動しないでください。
- Android バージョンアップを行うと、以前のAndroid バージョンへ戻すことはできません。
- Android バージョンアップにはドコモminiUIMカードが必要です。なお、パケット通信を利用した場合、spモードの契約が必要です。
- Android バージョンアップを行うと、一部の設定が初期化されますので、再度設定を行ってください。

ソフトウェア更新について

P-03Eのソフトウェア更新が必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合には、ドコモのホームページにてご案内いたします。
更新方法は、次の3種類があります。
自動更新：更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。
即時更新：今すぐ更新を行います。
予約更新：予約した時刻に自動的に更新をします。

お知らせ

- ソフトウェア更新は、本端末に登録した電話帳、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

ソフトウェアの自動更新

更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。

ソフトウェアの自動更新設定

お買い上げ時は、自動更新の設定が[自動で更新を行う]に設定されています。

1 ホーム画面▶[本体設定]▶[端末情報]

2 [ソフトウェア更新]▶[ソフトウェア更新設定の変更]

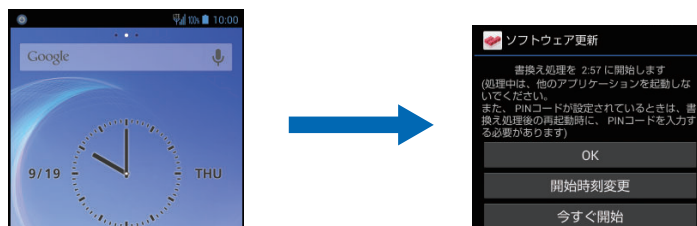
3 [自動で更新を行う]／[自動で更新を行わない]

ソフトウェア更新が必要になると

更新ファイルが自動でダウンロードされると、ステータスバーに(ソフトウェア更新有)が通知されます。

- （ソフトウェア更新有）が表示された状態で書き換え時刻になると、自動で書き換えが行われ、（ソフトウェア更新有）は消えます。

1 通知パネルを開く▶通知をタップ

書き換え時刻が表示されます。

2 設定時刻に書き換えを行う場合

[OK]

- ホーム画面に戻ります。設定時刻になると更新を開始します。

書き換え時刻を変更する場合

[開始時刻変更]

- 予約更新☞P.304「ソフトウェアの予約更新」

今すぐ書き換えを行う場合

[今すぐ開始]

- 即時更新☞P.303「ソフトウェアの即時更新」

お知らせ

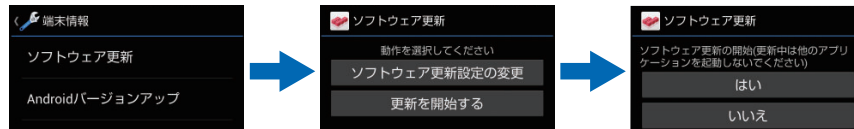
- ソフトウェア書き換えが開始できなかった場合には、ステータスバーに（ソフトウェア更新有）が表示されます。
- 書き換え時刻にソフトウェア書き換えが実施できなかった場合、翌日の同じ時刻に再度書き換えを行います。
- 自動更新設定が、[自動で更新を行わない]の場合や、ソフトウェアの即時更新が通信中の場合は、ソフトウェアの自動更新ができません。

ソフトウェアの即時更新

すぐにソフトウェアを更新します。

- ソフトウェア更新を起動するには書き換え予告画面から起動する方法とメニューから起動する方法があります。

1 **ホーム画面▶[本体設定]▶[端末情報]**

2 **[ソフトウェア更新]▶[更新を開始する]▶[はい]**

書き換え予告画面から起動する場合

書き換え予告画面を表示▶[今すぐ開始]

3 **[ソフトウェア更新を開始します。]表示後、約10秒後に自動的に書き換え開始**

- [OK]をタップすると、すぐに書き換えを開始します。
- 更新中は、すべてのタッチ操作やボタン操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- ソフトウェア更新が完了すると再起動がかかり、ホーム画面が表示されます。

お知らせ

- ソフトウェア更新の必要がないときには、[更新の必要はありません。このままお使いください]と表示されます。

ソフトウェア更新終了後の表示

ソフトウェア更新が完了すると、ステータスバーに通知されます。通知パネルを開いて通知をタップすると完了画面が表示されます。

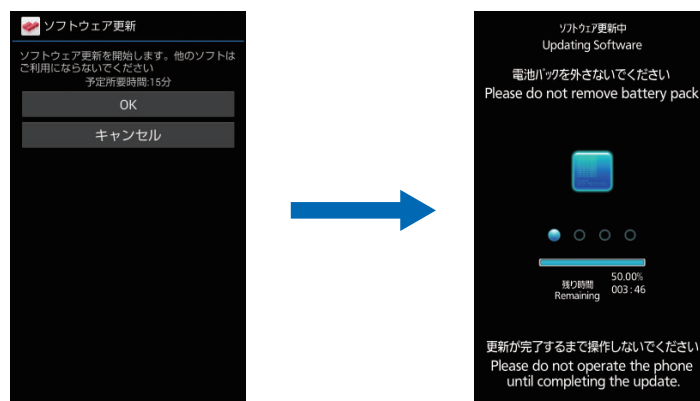
ソフトウェアの予約更新

更新ファイルのインストールを別の時刻に予約したい場合は、ソフトウェア書き換えを行う時刻をあらかじめ設定しておくことができます。

1 **書き換え予告画面を表示▶[開始時刻変更]**

2 **時刻を入力▶[設定]**

予約した時刻になると

開始時刻になるとソフトウェア更新開始画面が表示され、約10秒後に自動的にソフトウェア書き換えが開始されます。

お知らせ

- 更新中は、すべてのタッチ操作やボタン操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- 開始時刻にソフトウェア更新が開始できなかった場合には、翌日の同じ時刻にソフトウェア更新を行います。
- Android バージョンアップ中の場合、予約時刻になってもソフトウェア更新は行われません。
- 開始時刻と同じ時刻にアラームなどが設定されていた場合でも、ソフトウェア更新は実施されます。
- 開始時刻にP-03Eの電源がOFFの場合、電源を入れたあと、予約時刻と同じ時刻になったときにソフトウェア更新を行います。

Android バージョンアップについて

本端末のAndroid バージョンアップが必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、Android バージョンを更新する機能です。
Android バージョンアップが必要な場合には、ステータスバーの通知アイコン（Android バージョンアップ）やドコモのホームページにてご案内いたします。
バージョンアップにより、以下の内容が本端末に適用されます。
・機能の向上、追加
・操作性の向上
・品質改善
・セキュリティパッチの最新化
本端末を安全でより快適にご利用いただくため、必ず最新バージョンへの更新をお願いいたします。

お知らせ

- Android バージョンアップは、本端末に保存されたデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、バックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。
- ホーム画面▶[本体設定]▶[端末情報]▶[Androidバージョンアップ]▶[バージョンアップ設定の変更]をタップすると、バージョンアップが必要な場合に通知するかどうかを設定できます。

更新ファイルのダウンロード

1 **ホーム画面▶[本体設定]▶[端末情報]**

2 **[Androidバージョンアップ]▶[バージョンアップを開始する]**

3 **Wi-Fiのみですぐダウンロードする場合**
[すぐダウンロード（Wi-Fiのみ）]

Wi-Fi接続により、即時に更新ファイルをダウンロードします。

Wi-FiまたはXiであとでダウンロードする場合
[後でダウンロード（Wi-FiまたはXi）]

Wi-Fi接続またはパケット通信により、自動的に設定された時刻に更新ファイルをダウンロードします。

Wi-Fiのみであとでダウンロードする場合
[後でダウンロード（Wi-Fiのみ）]

Wi-Fi接続により、予約した時刻に更新ファイルをダウンロードします。パケット通信によるダウンロードができない場合の表示となります。

バージョンアップを実施しない場合
[バージョンアップを実施しない]

Android バージョンアップを実施せずに、Android バージョンアップを終了します。

お知らせ

- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードしたデータは保持されます。ダウンロードを再開する場合は、ステータスバーの通知アイコン（ダウンロードが中断されました）から再開ください。
- [後でダウンロード]を選択した場合、ダウンロードの時刻は自動的に設定されます。開始時刻の変更はできません。自動で設定された時刻にダウンロードされたくない場合は、ホーム画面▶[本体設定]▶[端末情報]▶ [Androidバージョンアップ]▶[予約を取消]をタップしたあと、[すぐダウンロード（Wi-Fiのみ）]を選択して更新ファイルをダウンロードしてください。

更新ファイルのインストール

更新ファイルのダウンロードが完了すると、本端末へインストールができるようになります。
[すぐインストール]：即時に更新ファイルをインストールします。
[後でインストール]：予約した時刻に更新ファイルをインストールします。

- インストールが完了すると、本端末が再起動されます。
  [後でインストール]を選択した場合、インストールの時刻は自動的に設定されます。開始時刻を変更したい場合は、ホーム画面▶[本体設定]▶[端末情報]▶[Androidバージョンアップ]をタップして開始時刻変更を行ってください。

Android バージョンアップ実施後について

- Android バージョンアップ実施後には、ホーム画面▶[アプリ]▶[Playストア]▶ ≡ ▶[マイアプリ]などより各アプリの更新確認を行ってください。アプリに更新がある場合、アプリ更新を行わないと動作が不安定になったり、機能が正常に動作しなくなったりする場合があります。
- 各アプリのOSバージョン対応状況については、アプリの提供元にご確認ください。

主な仕様

■本体

品名		P-03E
サイズ		高さ約132mm×幅約65mm×厚さ約10.9mm（最厚部約10.9mm）
質量		約146g（電池パック装着時）
メモリ		ROM 32GB RAM 2GB
連続待受時間	FOMA／3G	静止時（自動）：約490時間
	GSM	静止時（自動）：約420時間
	LTE	静止時（自動）：約440時間
連続通話時間	FOMA／3G	約610分
	GSM	約580分
モバキャス	視聴時間	約330分
ワンセグ	視聴時間	約390分
充電時間		ワイヤレスチャージャー P03：約270分 ACアダプタ 03：約240分 ACアダプタ 04：約190分 DCアダプタ 03：約250分
ディスプレイ	方式	TFT 16,777,216色
	サイズ	約4.7inch
	ドット数	横1080ドット×縦1920ドット
撮像素子	種類	インカメラ：表面照射型CMOS アウトカメラ：表面照射型CMOS
	サイズ	インカメラ：1/7.8inch アウトカメラ：1/3.0inch
カメラ	カメラ有効画素数	インカメラ：約130万画素 アウトカメラ：約1340万画素
	記録画素数（最大時）	インカメラ：約120万画素 アウトカメラ：約1300万画素
	デジタルズーム	アウトカメラ 静止画：最大約4.7倍 動画：最大約4.7倍
イヤホンマイク端子		Φ3.5、3極／4極

項目		内容
表示言語		日本語 英語（US） ブルガリア語 カタルーニャ語 チェコ語 デンマーク語 ドイツ語 ギリシャ語 スペイン語 フィンランド語 フランス語（ベルギー） フランス語（本国） クロアチア語 英語（イギリス） ハンガリー語 イタリア語 リトアニア語 ラトビア語 ノルウェー語 オランダ語（ベルギー） オランダ語（オランダ） ポーランド語 ポルトガル語 ルーマニア語 ロシア語 スロバキア語 セルビア語 スウェーデン語 トルコ語
入力言語	**文字入力**	日本語／英語
	音声入力	Google 音声検索機能による
音楽再生	**MP3ファイル**	連続再生時間約2000分（バックグラウンド再生対応）
無線LAN		IEEE802.11a/b/g/n準拠※1
Bluetooth機能	**対応バージョン**	Bluetooth標準規格Ver.4.0に準拠※2
	出力	Bluetooth標準規格Power Class 2
	対応プロファイル※3	HFP、HSP、OPP、SPP、HID、A2DP/aptX、AVRCP、PBAP、FMP、PXP

※1 IEEE802.11nは、2.4GHz／5GHzに対応しています。

※2 本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

※3 Bluetooth通信の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場所）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。
- インターネット接続を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やインターネット接続をしなくても、メールやアプリ、ワンセグなどの各種機能のご利用頻度が多い場合、通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間とは、端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

■電池パック

品名	電池パック P30
使用電池	Li-ion（リチウムイオン）電池
電圧	3.8V
容量	2600mAh

■ワイヤレスチャージャー

品名	ワイヤレスチャージャー P03	
	ワイヤレスチャージャー	専用ACアダプタ
入力	DC12V　650mA	AC100V～240V 18～24VA　50/60Hz
出力	最大5W	DC12V　650mA
充電温度範囲	5℃～35℃	5℃～35℃
コードの長さ	–	約183cm

■ファイル形式

本端末で撮影した静止画と動画は以下のファイル形式で保存されます。

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPEG	jpg
動画	3GPP	3gp/mp4

■静止画の撮影枚数（目安）

お買い上げ時の保存可能枚数です。

解像度	本端末のメモリに保存できる撮影枚数※1	microSDカード（1GB）に保存できる撮影枚数※1
13M（4128×3088）	約11000枚	約495枚
10Mワイド（4128×2336）	約12000枚	約558枚
8M（3264×2448）	約14000枚	約627枚
6Mワイド（3264×1840）	約19000枚	約830枚
3M（2048×1536）	約32000枚	約1396枚
2Mワイド（1920×1080）	約54000枚	約2364枚
4VGA（1280×960）※2	約78000枚	約3414枚
HD（1280×720）※2	約100000枚	約4390枚
VGA（640×480）	約230000枚	約10244枚

※1 クオリティ：スタンダード

※2 インカメラでのみ設定できます。

■動画の録画時間（目安）

お買い上げ時の録画可能時間です。

解像度	本端末のメモリに保存できる総録画時間※1	microSDカード（1GB）に保存できる総録画時間※1
フルHD（1920×1080）	約369分	約16分
HD（1280×720）	約739分	約32分
VGA（640×480）	約2564分	約111分
QVGA（320×240）	約7992分	約346分

※1 クオリティ：スタンダード

■ワンセグの録画時間（目安）

microSDカード（1GB）に保存できる録画時間	約320分

- 放送局、番組によって録画時間は異なります。

■ボイスレコーダの録音時間（目安）

本端末のメモリに保存できる総録音時間※1	約3000時間

※1 録音品質：低

- 1回あたりの最大録音時間は約3時間です。

携帯電話機の比吸収率（SAR）

この機種P-03Eの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.331 W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社のホームページ
http://panasonic.jp/mobile/support/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

European RF Exposure Information

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits for exposure to radiofrequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard is 0.366 W/kg for head configuration.**
While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet* the EU requirements for RF exposure.**

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

CE Declaration of Conformity

CE0168ⓘ

The product "P-03E" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://panasonic.net/pmc/support/index.html.

The European RTTE approval of this product is limited to the use of the P-03E handset, Battery Pack and AC Adaptor 04 only. Other accessories are not part of the approval.
Wi-Fi Use in European Economic Area: Operation of the device in the 5GHz frequency band is restricted to indoor use only.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
  1. This device may not cause harmful interference, and
  2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.
- Wi-Fi Use in the United States: Operation of the device in the 5.15 to 5.25GHz frequency band is restricted to indoor use only.

FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. government's requirements for exposure to radio waves.
Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver. Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed in various positions and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.482 W/kg, and when worn on the body in a holster or carry case, is 0.771 W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the

Display Grant section at
http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after search on FCC ID UCE313058A.
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

＊ In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

Important Safety Information

Aircraft
Switch off your mobile phone when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your mobile phone offers a 'flight mode' or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

Driving
Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of mobile phones while driving must be observed.

Hospitals
Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

Petrol Stations
Obey all posted signs with respect to the use of mobile phones or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your mobile phone whenever you are instructed to do so by authorized staff.

Interference
Care must be taken when using the mobile phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the mobile phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids
Some mobile phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

Other Medical Devices
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your mobile phone may interfere with the operation of your medical device.

Accessories
With your mobile phone, use the battery packs and adapters specified by NTT DOCOMO, INC. Fire, burns, injury or electric shock may result.
Batteries
Do not dispose of the battery pack with other waste. The battery pack may catch fire or damage the environment. After insulating the battery terminals with tape, take the unneeded battery pack to a handling counter such as a docomo Shop or dispose of it in accordance with local waste disposal regulations.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また、米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権

著作権・肖像権

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得もしくは本製品に搭載された文章、画像、映像、音楽、ソフトウェアなどの著作物は著作権法により保護されています。従って、第三者が著作権を有する著作物は、私的使用目的の複製や引用など著作権法上で認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信、転用、頒布などすることはできません。
  実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。
- お客様は別途著作権者の許諾なく本製品に搭載されたソフトウェアの全部または一部を、複製もしくは改変、ハードウェアからの分離、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングなどの行為を自らせずまたは第三者にさせないでください。またその利用を行わないでください。

商標

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「デコメール®」「デコメ®」「デコメ絵文字®」「トルカ」「ケータイデータお預かりサービス」「おまかせロック」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「ｉチャネル」「おサイフケータイ」「かざしてリンク」「iD」「iCお引っこしサービス」「WORLD WING」「公共モード」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「ケータイお探しサービス」「マチキャラ」「エリアメール」「ｉコンシェル」「spモード」「Xi」「Xi／クロッシィ」「声の宅配便」「eトリセツ」「dメニュー」「dマーケット」および「iD」ロゴ、「Xi」ロゴ、「spモード」ロゴ、「おサイフケータイ」ロゴは（株）NTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Wi-Fi、Wi-Fi Direct、MiracastはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- DLNA®は、Digital Living Network Allianceの商標、サービスマーク、または認証マークです。
- 「ブルーレイディスク」「ブルーレイ」はブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Media®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Google 、Google ロゴ、Google+、 Google+ロゴ、Google Play 、Google Play ロゴ、Google Earth 、Google Earth ロゴ、Gmail 、Gmail ロゴ、YouTube 、YouTube ロゴ、Chrome 、Chrome ロゴ、Google トーク、Google トークロゴ、Google 音声検索、Google 音声検索ロゴは、Google Inc. の商標です。
- 「モバキャス」は、株式会社ジャパン・モバイルキャスティングの商標です。
- 「NOTTV」は、株式会社mmbiの商標です。
- 「Qi」およびQiシンボルはワイヤレスパワーコンソーシアム（WPC）の商標です。
- 日本語変換は、オムロンソフトウェア（株）のiWnnを使用しています。
  iWnn@OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2013 All Rights Reserved.
- TouchSense® Technology and TouchSense® System 3000 Series, and/or TouchSense® System 5000 Series Licensed from Immersion Corporation. TouchSense® System 3000 Series, TouchSense® System 5000 Series, and other Immersion software contained herein are protected under one or more of the U.S. Patents found at the following address www.immersion.com/patent-marking.html and other patents pending

- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License及びAVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
  ・画像情報をMPEG-4 Visual、AVC規格に準拠して（以下、MPEG-4/AVCビデオ）を記録すること。
  ・個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVCビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したMPEG-4/AVCビデオを再生すること。
  詳細についてはMPEG LA, L.L.C. (http://www.mpegla.com)をご参照ください。
- 本製品は、InterDigital Technology社からのライセンスに基づき生産・販売されています。
- 本製品は、マイクロソフト社の知的財産権に係わる技術が含まれています。マイクロソフトからの適正なライセンスを得ずに、本製品以外でこの技術の使用もしくは頒布を行うことは禁止されています。
- コンテンツ権利者は、Microsoft PlayReady™コンテンツアクセス技術によって、著作権で保護されたコンテンツを含む知的財産権を保護しています。本製品は、PlayReady技術を使用して、PlayReady及び／又は WMDRMにより保護されたコンテンツへのアクセスをします。本製品が、コンテンツ保護を適切に実施できない場合、当該コンテンツの権利者は、マイクロソフトに対し、PlayReadyによって保護されたコンテンツを使う本製品の機能の無効化を申し入れることができます。この無効化は、PlayReadyによって保護されていないコンテンツ及び他のコンテンツアクセス技術によって保護されているコンテンツに影響を与えてはなりません。コンテンツ権利者は、提供コンテンツにアクセスするためにPlayReadyのアップグレードを要求する場合があります。その場合、アップグレードを行わないと、当該提供コンテンツへのアクセスができなくなります。

- 本製品にはGNU General Public License(GPL v2), GNU Lesser General Public License(LGPL)その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPL v2またはLGPLに従い、複製、頒布及び改変することができます。
本製品の引渡から少なくとも3年間、パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社は以下の問い合わせ先にお問い合わせされた方に、配布に要する実費をご負担いただくことを条件として、機器による読取が可能なGPL v2／LGPLが適用されるソースコードの複製物を提供いたします。
＜お問い合わせ先＞
pmc-cs@gg.jp.panasonic.com
また、ソースコードは以下のウェブサイト経由で入手することもできます。
http://panasonic.jp/mobile/gpl/
なお、ソースコードの内容等についてのご質問にはお答えしかねますので、予めご了承ください。携帯電話からのダウンロードは行えません。ダウンロードはお手持ちのパソコンをご利用ください。
当該ソフトウェアに関する詳細（GPL v2／LGPLの各ライセンス文含む）は、ホーム画面▶[本体設定]▶[端末情報]▶[法的情報]の手順で確認することができます。
- 本製品には、上記の他、次のソフトウェアが含まれます。
・Apache License(v.2.0)の下で提供されるApache Software Foundationが開発したソフトウェア
・The Free Type Project Licenseの下で提供されるソフトウェア
・ICU License-ICU 1.8.1 and later
Copyright © 1995-2011 International Business Machines Corporation and others
・Anti-Grain Geometry-Version 2.4
Copyright © 2002-2005 Maxim Shemanarev (McSeem)
・MIT-Licenseの下で提供されるソフトウェア
・The Independent JPEG Groupによって開発されたソフトウェア
これらのソフトウェアに関する詳細（ライセンス文含む）は、ホーム画面▶[本体設定]▶[端末情報]▶[法的情報]の手順で確認することができます。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、LTE方式ではご利用になれません。また、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

索引

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

ワ

英数字

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。
spモードから　dメニュー▶「お客様サポート」▶「各種お申込・お手続き」（パケット通信料無料）
パソコンから　My docomo（http://www.mydocomo.com/）▶ 各種お申込・お手続き

※ spモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ spモードからご利用になる際は、一部有料となる場合があります。
※ パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、「総合お問い合わせ先」にご相談ください（☞P.339）。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●公共モード（電源OFF）
電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します（☞P.117）。

●バイブレーション
電話がかかってきたことを、振動でお知らせします（☞P.112）。

●マナーモード
着信音・タッチ操作音など本端末から鳴る音を消します（☞P.112）。
※ただし、シャッター音は消せません。

●伝言メモ
電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します（☞P.115）。

そのほかにも、留守番電話サービス（☞P.116）、転送でんわサービス（☞P.116）などのオプションサービスが利用できます。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

海外での紛失、盗難、故障および各種お問い合わせ先（24時間受付）

■ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号	**-81-3-6832-6600*（無料）**

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※P-03Eからご利用の場合は、＋81-3-6832-6600でつながります。（「＋」は[0]をロングタッチします。）

■一般電話などからの場合 <ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際識別番号	**-8000120-0151***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

- **紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。**
- **お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口にご持参ください。**

総合お問い合わせ先<ドコモ インフォメーションセンター>

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）151（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9：00～午後8：00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）113（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

Li-ion 00

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社

'13.6（第1版）
PXQX1038ZA/J1
F0613-0